

工 事 名	令和7年度成田公民館図書室等改修工事 仕様書(参考)		
金 額	一金 円也 (内消費税額 円)		
構 造 規 模	別紙のとおり		
仕 様 概 要	内装改修工事 1式、建具改修工事 1式、間仕切壁改修工事 1式、電気設備工事 1式、機械設備工事 1式		
項 目	摘 要	金 額	備 考
直 接 工 事 費			
共 通 仮 設 費			
純 工 事 費			
現 場 管 理 費			
工 事 原 価			
一 般 管 理 費			
工 事 価 格			
改 ム			
消 費 税			
総 合 計			

※この仕様書の数量は参考数量です。内容の如何にかかわらず、契約上何事の拘束をするものではありません。

名 称		規 格・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	令和7年度成田公民館図書室等改修工事						
A	建築工事		1.0	式			
B	電気設備工事		1.0	式			
C	機械設備工事		1.0	式			
D	解体工事		1.0	式			
	直接工事費						

名 称		規 格・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	木工事	※特記なき限り 付属金物・取付調整・運搬費共					
	WD-01 木製建具用枠	W2,940×H2,900 枠見込100 スギ集成材	1.0	か所			
	WD-02 木製建具用枠	W2,940×H2,900 枠見込100 スギ集成材	1.0	か所			
	WD-03 木製建具用枠	W2,940×H2,900 枠見込100 スギ集成材	1.0	か所			
	WD-04 木製建具用枠	W3,400×H2,900 枠見込100 スギ集成材	1.0	か所			
	WD-05 木製建具用枠	W5,850×H2,700 枠見込450 スギ集成材	1.0	か所			
	WD-06 木製建具用枠	W940×H2,640 枠見込100 スギ集成材	1.0	か所			
	壁 W-150 縦ログ構法パネル	150角 ログ現しサンダー掛け	63.3	m ²			
	小 計						

名 称		規 格・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(3)	ガラス	※特記なき限り 付属金物・取付調整・運搬費共					
	合わせガラス	フロート板厚5+フロート板厚5 4.00㎡以下	11.9	㎡			
	合わせガラス	フロート板厚5+フロート板厚5 6.00㎡以下	26.4	㎡			
	強化ガラス	強化ガラス厚12 W3,340×H2,690	9.5	㎡			
	複層ガラス	FL5+A6+FL5	3.5	㎡			
	ガラス留めシーリング	片面数量	111.0	m			
	ガラス清掃	片面数量	51.2	㎡			
	飛散防止フィルム		12.9	㎡			
	小 計						

名 称		規 格・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5	塗装工事						
	(内部)						
	木部OS塗り	素地ごしらえ共	130.0	m2			
	小 計						

名 称		規 格・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6	内外装工事						
	(内部)						
	LP-22T 遮音壁 TLD44	遮音パネルt9.5,GB-Ft12.5、LGS W75千鳥 チョタウーテ:ゼナジーウォール12C同等	35.8	m2			
	LPG-31.5T 遮音壁 TLD61	遮音パネルt9.5,GB-Ft21、LGS W90千鳥、GW16K100 チョタウーテ:ゼナジーウォール60同等	61.4	m2			
	耐火(隙間)4周処理	ロックフェルト+耐火シール	171.0	m			
	F07 複層ビニル床シート	厚2.5	77.4	m ²			
	F03 タイルカーペット	厚2.5 東リ:GA100同等	5.20	m ²			
	壁 ビニルクロス	ポード面	161	m ²			
	壁 メラミン化粧板	450角、厚4 ポード面	2.2	m ²			
	天井 岩綿吸音板	厚9+GB-R厚9.5	87.3	m ²			
	ビニル巾木	H=60	44.6	m			
	天井点検口		3.0	箇所			
	小 計						

名 称		規 格・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(1)	解体工事						
	衛生設備撤去	W2200×D550×H1000	1.0	箇所			
	壁面収納撤去	W5450×D500×H2860	1.0	箇所			
	天井撤去	岩綿吸音板t9、GB-Rt9.5	87.3	m2			
	天井撤去	LGS下地	28.8	m2			
	K1 舗装撤去		21.4	m2			
	K2 植栽土壌移設		31.4	m2			
	K3 窓撤去		1.0	箇所			
	パーティション移設労務費		1.0	式			
	壁撤去	LGS下地+有孔ボード	16.5	m2			
	小 計						

名 称		規 格・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(2)	発生材処理						
	(発生材積込)						
	発生材積込	木くず	0.8	m3			
	発生材積込	石膏ボード類	1.1	m3			
	発生材積込	ガラス陶磁器類	0.8	m3			
	発生材積込	混合廃材	1.3	m3			
	(発生材運搬)						
	発生材積込	木くず	0.8	m3			
	発生材積込	石膏ボード類	1.1	m3			
	発生材積込	ガラス陶磁器類	0.8	m3			
	発生材積込	混合廃材	1.3	m3			
	(発生材処分)						
	発生材積込	木くず	0.8	m3			
	発生材積込	石膏ボード類	1.1	m3			
	発生材積込	ガラス陶磁器類	0.8	m3			
	発生材積込	混合廃材	1.3	m3			
	小 計						

名 称		規 格・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1.	図書館						
1.	電灯設備		1.0	式			
2.	動力設備		1.0	式			
3.	拡声設備		1.0	式			
4.	火災報知設備		1.0	式			
5.	撤去		1.0	式			
	計						

名 称		規 格・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1.	図書館						
1.	電灯設備	1-1.一般照明	1.0	式			
		1-2.防災照明	1.0	式			
		1-3.コンセント・空調電源	1.0	式			
	計						
2.	動力設備		1.0	式			
3.	拡声設備		1.0	式			
4.	火災報知設備		1.0	式			
5.	撤去		1.0	式			
	計						

名 称		規 格・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2.	屋外						
1.	電灯設備工事		1.0	式			
	計						

名 称	規 格・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1. 図書館 1. 電灯設備						
1-1. 一般照明						
配線用遮断器	MCCB3P20A	1.0	個			
ケーブル	EM-EEF2.0-2C PF管内	3.4	m			
ケーブル	EM-EEF2.0-3C PF管内	12.2	m			
電線管	PF16 隠ぺい	3.4	m			
照明器具	BL1 LSS9-4-48 LN	10.0	台			
アウトレットボックス	102×102×44	10.0	個			
スイッチボックス	1個用	6.0	個			
タンブラスイッチ(金属スイッチ付)	1P15A×1	4.0	個			
タンブラスイッチ(金属スイッチ付)	1P15A×1+PL×1	2.0	個			
1-1 計						

名 称	規 格・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1-3. コンセント・空調電源						
配線用遮断器	MCCB3P20A	2.0	個			
配線用遮断器	ELCB3P50A	1.0	個			
壁付コンセント	2P15A×2	8.0	個			
家具用コンセント	2P15A×2	42.0	個			
ケーブル	EM-EEF2.0-3C ピット・天井	82.4	m			
ケーブル	EM-EEF2.0-3C PF管内	142	m			
電線管	PF16 隠ぺい	142	m			
アウトレットボックス	102×102×44	10.0	個			
ジャンクションボックス		1.0	個			
スイッチボックス	1個用	54.0	個			
1-3 計						

名 称	規 格・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2. 動力設備						
漏電遮断器	ELB3P40A	1.0	個			
プルボックス	SS形 防水(SUS)	0.6	m ²			
手元開閉器	MCCB3P40A	1.0	個			
電動機接続材	F2(30)	1.0	台			
プルボックス	SS形 錆止め塗装	0.5	m ²			
電極結線		1.0	組			
ケーブル	EM-CET14sq コロガン	22.3	m			
ケーブル	EM-CET14sq 管内	1.5	m			
電線	EM-IE5.5sq コロガン	22.3	m			
電線	EM-IE5.5sq 管内	1.5	m			
電線管	E39 隠ぺい	1.5	m			
	2 計					

名 称		規 格・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3.	拡声設備						
	天井埋込スピーカー		3.0	台			
	ケーブル	EM-HP1.2-3C 管内	17.4	m			
	電線管	PF16 隠ぺい	17.4	m			
	3計						

名 称		規 格・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4.	火災報知設備						
	感知器	差動式2種 埋込形 自動試験機能付き	4.0	台			
	消防検査立会費		1.0	式			
	ケーブル	EM-HP0.9-2C PF管内	13.6	m			
	電線管	PF16 隠ぺい	13.6	m			
	4 計						

名 称		規 格・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5.	撤去						
	照明器具(埋込灯撤去同等)	F 撤去	11.0	台			
	照明器具(埋込灯撤去同等)	F1 撤去	1.0	台			
	照明器具(埋込灯撤去同等)	T 撤去	2.0	台			
	非常用照明(埋込灯撤去同等)	g 再取付	2.0	台			
	天井埋込スピーカー	再取付	1.0	台			
	感知器	差動式2種 埋込形 自動試験機能付き 再取付	14.0	台			
	配線用遮断器撤去	MCCB3P50A撤去	1.0	個			
	5計						

名 称	規 格・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2. 屋外						
1. 電灯設備						
ケーブル	EM-EEF2.0-3C PF管内	3.0	m			
ケーブル	EM-EEF2.0-3C コロガシ	31.5	m			
電線管	FEP30 地中	22.2	m			
電線管	PF16 隠ぺい	3.0	m			
照明器具	BL1 根かせ共	6.0	台			
アウトレットボックス	102×102×44	6.0	個			
ケーブル	CE3.5-3C 地中	22.2	m			
	1-1 計					

名 称		規 格・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	改修工事						
	1-1.空気調和設備	(1)機器設備	1.0	式			
		(2)配管設備	1.0	式			
		(3)計装設備	1.0	式			
	小計						
	1-2.換気設備	(1)機器設備	1.0	式			
		(2)ダ'外設備	1.0	式			
		(3)総合調整費	1.0	式			
	小計						
	計						

名 称		規 格・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1.	改修工事						
1-1.	空気調和設備	(1)機器設備					
	業務用マルチエアコン 室外機	MAC-1 冷房能力22.0KW 暖房能力22.4KW	1.0	台			
	業務用マルチエアコン 室内機	MAC-1-1 形式:壁掛形 冷房能力4.5KW 暖房能力5.0KW	3.0	台			
	業務用マルチエアコン 室内機	MAC-1-2 形式:天井埋込カセット型(4方向) 冷房能力7.1KW 暖房能力8.0KW	1.0	台			
	機器据付費		1.0	式			
	機器搬入費		1.0	式			
	計						

名 称		規 格・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1-1.	空気調和設備	(2)配管設備					
	(冷媒管)						
	冷媒管(液管)	被覆銅管 6.4φ 保温厚10mm	6.0	m			
	冷媒管(液管)	被覆銅管 9.5φ 保温厚10mm	15.8	m			
	冷媒管(ガス管)	被覆銅管 12.7φ 保温厚20mm	6.0	m			
	冷媒管(ガス管)	被覆銅管 15.9φ 保温厚20mm	6.0	m			
	冷媒管(ガス管)	被覆銅管 22.2φ 保温厚20mm	9.9	m			
	冷媒配管化粧カバー	天井内 アルミガラスクロス 6.4×12.7	4.5	m			
	冷媒配管化粧カバー	天井内 アルミガラスクロス 9.5×15.9	5.5	m			
	冷媒配管化粧カバー	天井内 アルミガラスクロス 9.5×22.2	5.9	m			
	冷媒配管化粧カバー	外壁露出 カラー亜鉛鉄板 6.4×12.7	1.5	m			
	冷媒配管化粧カバー	外壁露出 カラー亜鉛鉄板 9.5×15.9	0.5	m			
	冷媒配管化粧カバー	外壁露出 カラー亜鉛鉄板 9.5×22.2	4.0	m			
	(ドレン管)						
	ドレン管	硬質塩化ビニル管 VP 屋内一般 16A	14.0	m			
	ドレン管	硬質塩化ビニル管 VP 屋内一般 25A	0.7	m			
	ドレン管	硬質塩化ビニル管 VP 屋内一般 40A	6.8	m			

名 称		規 格・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	ドレン管	硬質塩化ビニル管 VP 屋外架空 40A	2.9	m			
	ドレン管保温工事		1.0	式			
	計						

名 称		規 格・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1-1.	空気調和設備	(3)計装設備					
	ケーブル	EM-EEF1.6-2C PF管内	4.0	m			
	ケーブル	EM-EEF1.6-2C コロガシ	13.0	m			
	ケーブル	EM-IE1.6mm-1C 冷媒巻	19.3	m			
	ケーブル	EM-CEE1.25mm2-2C 冷媒巻	19.3	m			
	電線管	PF16mm 隠蔽	4.0	m			
	アウトレットBOXカバー付き	中形 44	4.0	個			
	空調用スイッチ(付属品)		4.0	個			
	計						

名 称		規 格・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	換気設備	(1)機器設備					
	ダクト外形換気扇	F-1天井埋込ダクト外形 DCブラシレスモーター 50CMH×50Pa 100φ	2.0	台			
	機器据付費		1.0	式			
	計						

名 称		規 格・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	(2)ダケ設備						
	スパイラルダケ	150φ	25.8	m			
	チャンバー	0.6mm	0.6	m ²			
	チャンバー	0.8mm	2.7	m ²			
	制気口	HS 1000×200	1.0	個			
	制気口	VHS 200×200	2.0	個			
	制気口	VHS 250×250	2.0	個			
	制気口	VHS 400×200	1.0	個			
	保温工事		1.0	式			
	計						

名 称		規 格・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	(2)換気設備						
	天井扇一時取り外し	F-2-2	2.0	台			
	扇風機撤去	F-7	2.0	台			
	計						

	名 称	規 格・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	(3)衛生器具設備						
	手洗器撤去	再使用しない	3.0	個			
	計						

名 称		規 格・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	(4)給水設備						
	(屋内給水)						
	給水管	水道用耐衝撃性塩ビ管 HIVP 屋内一般 20A	3.1	m			
	既設配管切断	20A	1.0	か所			
	計						

令和7年度成田公民館図書室等改修工事

閲覧特記事項書

1. 工事实績情報登録

工事实績情報の登録について、契約締結後10日以内に登録の手続きを行うとともに、登録されたことを証明する資料を監督職員に提出すること。

2. 官庁その他への手続き関係

イ) 工事施工に必要な諸手続き(建築確認申請手続きを除く)、仮設用電力・水道の引込手続き、道路、電線、その他第三者管理の土地等を使用する際や支障移設等の手続きは一切工事施工者にて行い、且つその費用を負担すること。

ロ) 本工事施工により生じた付近道路、その他建築物又は工作物の損傷は一切施工者の責任において誠意をもって復旧すること。

又、近隣との融和につとめ、本工事による苦情が発注者まで及ばぬよう施工者の責任において処理すること。

3. 下請負契約、雇用及び購入業者選定

下請負業者の選定や職業労働者の雇入れ及び使用機器材の購入にあたっては富谷市内の業者及び労働者雇用に配慮すること。

4. 建材等について

工事に使用する建材については、無石綿建材とすること。

5. 諸検査等について

関係機関等の諸検査・市の工事完成検査について工期に含むものとする。

6. 縮小図の提出

工事請負者は工事に先立ち、本工事設計図縮小製本(A-3版二つ折り製本)3部を提出すること。

7. 仮設計画について

当該工事の対象となる成田公民館及び現在建設中の富谷市民図書館等複合施設整備、隣接地、近隣住民への配慮(着手前に近隣住民へ工事のお知らせの配布、成田公民館の通常利用時の騒音やほこり対策、利用者と施工者の動線検討(仮設計画図への明記))や、道路への配慮(工事車両の搬出入による道路の汚れ防止対策、歩行者の安全確保)を徹底すること。

8. 施工について

当該工事の対象となる成田公民館の通常利用時の作業となるため、利用者の施設利用及び職員の業務に支障が無いよう作業を行うこと。

また、作業日・作業時間については施設管理者との協議により決定すること。

9. 仕様について

当該工事は現在建設中の富谷市民図書館等複合施設と一体的に整備するものであり、材料の仕様、サインのデザイン等については、当該複合施設準備室及び工事監理者との協議により決定すること。

- 施工条件明示書 -

工事番号	項目	工事名	令和7年度成田公民館図書室等改修工事	事務所名	富谷市役所
条件		内容		施工方法	備考
1 主任技術者又は監理技術者(以下配置技術者という。)の配置					
(1) 配置技術者の工事現場への専任を要しない期間	現場施工に着手する日の指定	<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> ない	令和 年 月 日 上記現場施工に着手する日の前日までの期間において、工事準備等を含め工事現場が不稼働であることが明確な場合は、配置技術者の工事現場への専任は要しない。		(出納局契約課ホームページ参照のこと: http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/keiyaku/kk50.html)
	工事現場が不稼働の期間		設計図書又は工事打合せ簿により配置技術者の工事現場への専任を要しない期間が明確になっている場合で、かつ、工事準備等の行為も含め工事現場が不稼働であることが明確である期間		
	完了検査後の期間		工事の完成検査が終了し、事務手続き、後片付けのみが残っている期間		
	工事中止の期間		工事を中止している場合その他これに類する期間		
	工場製作のみの期間		工場製作のみが稼働している期間		
2 特例監理技術者の配置					
		<input type="radio"/> 対象 <input checked="" type="radio"/> 対象外	建設業法第26条第3項ただし書の規程の適用を受ける監理技術者(特例監理技術者)の配置。 特例監理技術者を配置する場合は下記によるものとする		
<p>1 特例監理技術者を配置する場合は以下の(ア)～(イ)の要件を全て満たさなければならない。</p> <p>(ア)本工事の現場施工に着手する日までに、建設業法第26条第3項ただし書による監理技術者の職務を補佐する者(以下、「監理技術者補佐」という。)を専任で配置すること。</p> <p>(イ)監理技術者補佐は、一級施工管理技士補(令和3年4月1日施行予定)又は一級施工管理技士等の国家資格者、学歴や実務経験により監理技術者の資格を有するものであること。なお、監理技術者補佐の建設業法第27条の規定に基づく技術検定種目は、特例監理技術者に求める技術検定種目と同じであること。</p> <p>(ロ)監理技術者補佐は入札参加者と直接的かつ恒常的な雇用関係にあること。</p> <p>(ハ)同一の特例監理技術者が配置できる工事は、本工事を含め同時に2件までとする。(ただし、同一あるいは別々の発注者が、同一の建設業者と締結する契約工期の重複する複数の請負契約に係る工事であって、かつ、それぞれの工事の対象となる工作物等に一体性が認められるもの(当初の請負契約以外の請負契約が随意契約により締結される場合に限る。)については、これら複数の工事を一の工事とみなす。)</p> <p>(ニ)特例監理技術者が兼務できる工事は、本工事を所管する土木事務所(地域事務所)管内及び隣接土木事務所(地域事務所)管内の宮城県内で施行される工事で行わなければならない。</p> <p>(ホ)特例監理技術者は、施工における主要な会議への参加、現場の巡回及び主要な工程の立会等の職務を適正に遂行しなければならない。</p> <p>(ヘ)特例監理技術者と監理技術者補佐と間で常に連絡が取れる体制であること。</p> <p>(ヘ)監理技術者補佐が担う業務について、明らかにすること。</p> <p>(ト)専任補助者を配置しない工事であること。</p> <p>(チ)維持管理業務同士は兼務できない。</p> <p>※24時間体制で応急処理や緊急巡回等が必要な業務等</p> <p>(イ)配置技術者の追加専任を必要としないもの。</p> <p>2 本工事の監理技術者が特例監理技術者として兼務する場合、配置技術者届出書及び特例監理技術者の配置を予定している場合の確認事項を提出すること。</p> <p>3 本工事において、特例監理技術者及び監理技術者補佐の配置を行う場合又は配置を要さなくなった場合は適切にCORIINSへの登録を行うこと。</p>					
3 積算基準及び設計単価の適用期日					
(1) 積算基準及び設計単価の適用について		<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> ない	積算基準及び設計単価は公告日の前月の基準及び単価とする。		
4 工程関係					
(1) 関連工事による施工時期の調整		<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> ない			
(2) 施工時期による制限		<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> ない	施設管理者との協議による。		
(3) 関係機関等との協議の未成立		<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> ない			
(4) 関係機関等との協議結果、特定条件の付加		<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> ない			
5 公害対策関係					
(1) 一般事項			工事の施工にあたり、別表に示す排出ガス対策型建設機械を使用しなければならない。 また、騒音規制法、振動規制法等の関係法令を遵守し、必要な措置を講ずること。		
(2) 施工方法、機械施設、作業時間等の制限		<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> ない	作業時間は施設管理者との協議による。		
6 安全対策関係					
(1) 交通安全施設等の指定		<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> ない			
(2) 占用埋設物との近接工事による 施工方法、作業時間の制限		<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> ない			
(3) 定期安全研修・訓練等の実施		<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> ない	工事着手後、原則として作業員全員参加により、月当たり半日以上時間を割り当て安全に関する研修・訓練等を定期的実施する。		
7 排水工関係					
(1) 濁水、湧水処理のための特別な対策の必要性		<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> ない			
(2) 排水設備確認申請等の手続き		<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> ない	排水設備等の新設、増設又は改設を行う場合は、排水設備工事の確認(変更の確認を含む)を得てから工事に着手すること。		
8 建設副産物対策関係(建設発生土)					
(1) 建設発生土の処理・処分について		<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> ない	本工事の残土は、下記に運搬する。なお、下記より難い場合が生じたときは、監督職員の指示によるものと、設計変更の対象とする。		
(2) 建設発生土	処理・処分		特記仕様書による		
	現場外管理について		建設発生土現場管理者(複数可)を選任し、「施工計画書」に記載し、監督職員に提出すること。 「ダンプトラック等管理表」を工事着手前に監督職員に提出すること。 「建設発生土搬出等管理表」を搬出を行う日ごとに作成し、一週間毎の集計表を監督職員に提出すること。 建設発生土は受入地において、搬出先土量を管理するとともに、搬出先で土量を確認すること。		
9 建設副産物対策関係(建設発生土以外の建設副産物)					
(1) 建設発生土以外の建設副産物の処理・処分について		<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> ない	特記仕様書による 下記の処理・処分は設計積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、下記によらない場合は、監督職員と協議すること。また、処理・処分に先立ち処分場等の受入れの可否を確認すること。なお、廃棄物の処理に当たっては「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」を遵守すること(環境省または循環型社会推進課のHPを参照)。 工事現場内及び工事現場間で再利用する場合は、施工管理及び契約方法等について、施工計画打合せ時に監督職員と協議すること。		
(2) 建設発生土以外の 建設副産物	処理・処分		特記仕様書による		
(3) 再生材の利用			特記仕様書による		
(4) 建設副産物情報交換システム(COBRIS)への登録について			受注者は、施工計画時、工事完了時及び登録情報の変更が生じた場合は、速やかに建設副産物情報交換システムにデータの入力を行うこと。入力した工事については、当該システムにより再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を作成し、施工計画書に含め、かつ建設副産物情報交換システム工事登録証明書を監督職員に提出しなければならない。		
(5) 建設リサイクル法について		<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> ない	受注者は、分別解体等省令で定める様式第1号別表1～3のうち当該工事に該当する別表及び工程表を作成し、契約担当者等に説明書とともに提出するものとする。また、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条第3項に基づいて報告すること。		
10 工事現場のイメージアップ					
工事現場におけるイメージアップの推進のため、周辺環境などの現場条件及び労働者の作業環境などについて十分配慮すること。					
(1) 具体的協議事項		<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> ない	具体的内容: イメージアップの具体的な実施内容、実施期間については、施工計画書に明記し、監督職員と協議すること。		
11 資材関係					
(1) 特定調達物品の利用促進			グリーン購入促進条例(平成18年3月23日宮城県条例第22号)第10条第2項の特定調達物品について、利用の促進に努めなければならない。		
①特に使用する特定調達物品		<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> ない			
(2) 宮城県グリーン製品及び県産木材製品の活用			受注者は、使用資材の選定において、グリーン購入促進条例第14条第1項の宮城県グリーン製品(利用促進指針に基づく)及び県産木材製品の活用に努めなければならない。 なお、県産木材製品を使用する場合は、そのことを証明できる資料を添付し、監督職員に提出すること。 また、工事完了後に宮城県グリーン製品、県産木材製品の活用について、所定の様式により監督職員に報告(電子メール等)を行うこと。 循環型社会推進課HP参照(様式) https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/junkan/houkoku.html 受注者は、当該工事の施工において木材を使用する場合、原則として県産木材製品を1製品以上使用しなければならない。 本製工事を表示取極(既製品)を使用する場合は、原則として宮城県グリーン製品を使用しなければならない。 県産木材製品を使用する場合は、「優良品やぎ材」の認証を受けた木材とする。		
①特に使用を指定する宮城県グリーン製品		<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> ない			
②特に使用を指定する県産木材製品		<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> ない			

(3) 県内産製品の使用	特記仕様書による
(4) 生コンクリート	生コンクリートの使用に当たっては、「宮城県生コンクリート品質管理監査会議」が交付する「品質管理監査合格証」を有する工場の製品、又は、同等以上の品質管理を行っていることが認められる工場の製品を使用すること。
(5) 購入土	購入土を使用する場合は、材料承諾時に「採石法第33条による採取計画認可書の写し」、又は「砂利採取法第16条の採取計画認可書の写し」を提出すること。
12 工事経過記録の報告	工事履行報告書を、毎月1回監督職員に提出する。 内容:日誌、天候、工事進捗状況、工事進捗状況写真、その他監督職員の指示する事項
13 その他	
(1)「学校施設におけるシックハウス症候群発症防止指針」の適用	<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> ない
(2) 現場代理人の兼務の承認	「現場代理人の常駐義務の緩和措置について」(契約課ホームページ参照: http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/keiyaku/)に基づく条件に適合する工事で、工事現場の運営・安全管理等に支障がないと判断した場合、現場代理人の兼務を認める。
(3)「施工体制事前提出方式(オープンブック方式)」の適用	<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> ない ①この工事の入札は、施工体制事前提出方式(オープンブック方式)を適用する。オープンブック方式とは、工事請負契約締結に先立ち、応札者が自ら積算内容及び工事の施工体制を明らかにする方式であり、入札時において宮城県の指定様式である「工事費内訳書」に必要事項を記載して、電子入札システム内の入札書提出時に添付ファイルとして提出するものとする。(紙入札においてはCD-R等により、提出するものとする。) ②この工事を請け負った者は、工事請負契約書第7条及び宮城県建設工事元請・下請関係適正化要綱第7条第2項に基づく一部下請負承認額等の書類の記載内容等について、上記の「工事費内訳書」を使用して宮城県が行う調査に協力しなければならない。具体的な調査内容を記載した「公正な元請下請関係を築くための施工体制確認調査については、宮城県のホームページまたは宮城県建設工事等電子入札システムの入札情報サービスシステムからダウンロードできる。 ③この工事を請け負った者は、発注者の指示があった場合には、下請負人の協力を得て、最終変更請負契約締結後に配布される最終工事費内訳書に精算額等の必要事項を記載して、CD-R等により提出するものとする。
(4) 法定外の労災保険の付保について	本工事では、法定外の労災保険加入にかかる保険料を予定価格に反映しているため、本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。なお、加入後受注者は、工事請負契約書に基づき、証券又はこれに代わるものを直ちに発注者に提示すること。

※ 条件欄に「あり」と記入した場合は、必要に応じて内容、施工方法を記入すること。
※ 2 公害対策の別表は次ページ参照

別表 排出ガス対策型建設機械を使用する工種及びその機種

工種	建設機械名	備考
トンネル工事用排出ガス対策型建設機械(7機種)	・バックホウ ・大型ブローカー ・トラクタショベル ・コンクリート吹付機	・ドリルジャンボ ・ダンプトラック ・コンクリートミキサ
一般工事用建設機械	・バックホウ ・車輪式トラクタショベル ・ブルドーザ ・油圧ユニット 以下に示す基礎工事用機械のうち、ベースマシンとは別に、独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載しているもの: 油圧ハンマ、パイロハンマ、油圧式鋼管圧入・引抜機、アースオーガ、オールケーシング掘削機、リバースサーキュレーションドリル、アースドリル 地下連続壁施工機、全回転型オールケーシング掘削機 ・ロードローラ、タイヤローラ、振動ローラ ・ホイールクレーン	・可搬式発電機 ・可搬式空気圧縮機

なお、排出ガス対策型建設機械を使用できない場合は、平成7年建設技術評価制度公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」、又はこれと同等の開発目的で実施された民間開発建設技術の技術審査・証明事業により評価された排出ガス浄化装置を装着した建設機械(平成16年9月1日まで装着したものに限り)を使用することで、排出ガス対策型建設機械と同等と見なす。

特記事項

1 総合評価落札方式における「ICT施工・3次元化等の活用提案」の適用の有無			
(1)「ICT施工・3次元化等の活用提案」の適用工事	<input type="radio"/> 対象 <input checked="" type="radio"/> 対象外	1. 対象工事の場合、活用する技術については、「ICT施工・3次元化等の活用提案 工事計画書(一般土木工事の場合)」に基づき、該当する工種に関する提案を選択すること。 2. ICT施工・3次元化等の活用提案の適用の有無に係わらず、「ICT施工・3次元化等の活用提案 工事計画書」に記載の技術は、施工計画・技術提案等(いわゆる作文)の評価対象外とする(「簡易型(施工計画型)」、「標準型」、「高度型」の場合)。なお、「ICT施工・3次元化等の活用提案」の対象外工事の場合も、同様の取扱いとする。	
(2) 実施された技術についての費用計上(設計変更)	<input type="radio"/> 対象 <input checked="" type="radio"/> 対象外	設計変更の積算手法については、総合評価落札方式の手引きのとおりとする。なお、(1)が対象外の場合は、当該項目も対象外となる。	
2 週休2日工事等の適用の有無			
(1) 週休2日工事	対象 種別 区分	<input checked="" type="radio"/> 対象 <input type="radio"/> 対象外 <input type="radio"/> 現場閉所型 <input checked="" type="radio"/> 交替制 <input checked="" type="radio"/> 週期 <input type="radio"/> 月単位	種別または区分を変更する場合は受注者より工事着手前に監督職員と協議を行うこと。 現場閉所型:巡回・パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場事務所での事務作業を含めて1日を通して現場や現場事務所を閉所する。 交替制:現場閉所を行うことが困難な工事について、技術者及び技能労働者が交替しながら休日確保の取組を行う。 週期:対象期間全体で4週8休相当以上の休日を取得したと認められる状態 月単位:対象期間全体の月で4週8休相当以上の休日を取得したと認められる状態
(2) 女性活躍推進モデル工事		<input type="radio"/> 対象 <input checked="" type="radio"/> 対象外	特記仕様書による
(3) 遠隔臨場の取組み		<input type="radio"/> 対象 <input checked="" type="radio"/> 対象外	特記仕様書による
(4) 情報共有システムの取組み		<input type="radio"/> 対象 <input checked="" type="radio"/> 対象外	特記仕様書による

令和7年度成田公民館図書室等改修工事

2025年2月28日

図面リスト_意匠		図面リスト_意匠	
図番	図名	図番	図名
A-00	図面リスト	A-13	屋上庭園平面詳細図
A-01	建築・解体工事特記仕様書_1	A-14	展開図_1
A-02	建築・解体工事特記仕様書_2	A-15	展開図_2
A-03	建築・解体工事特記仕様書_3	A-16	1階天井伏図
A-04	建築・解体工事特記仕様書_4	A-17	2階天井伏図
A-05	建築・解体工事特記仕様書_5	A-18	建具キープラン
A-06	建築・解体工事特記仕様書_6	A-19	建具表
A-07	建築・解体工事特記仕様書_7	A-20	サイン詳細図_1
A-08	改修概要	A-21	自動ドア詳細図
A-09	内部仕上表・ALVS検討	A-22	解体 家具
A-10	1階平面詳細図	A-23	解体 壁・天井
A-11	2階平面詳細図	A-24	解体 屋上階平面図
A-12	屋上階平面詳細図	A-25	パーティション収納図

Project Title
令和7年度成田公民館図書室等改修工事

Architect
ナスカ+はりゅうウッドスタジオ設計共同体
Engineer 設備：Z O設計室

1級建築士事務所 有限会社ナスカ
東京都知事登録第39348号
東京都新宿区戸山3-15-1日本駐車ビル4階
一級建築士 八木佐千子 第215039号

株式会社はりゅうウッドスタジオ
福島県知事登録第16 (007)0239号
福島県南会津郡南会津町針生字鳥井戸1186
一級建築士 滑田光 第336277号 一級建築士 滑田崇志 第344323号

Date 2025年7月10日 木曜日
実施設計
Drawn by H.SAITO
Checkd by S.YAGI

Name of Drawing
図面リスト

scale
A1
A3

Drawing no
A-00

Table with columns for repair methods, materials, and specifications. Includes sections for waterproofing, sealant application, and material specifications.

Table detailing waterproofing and repair methods. Includes sections for resin injection, sealant application, and material specifications.

Table detailing tile replacement and repair methods. Includes sections for tile replacement, repair of damaged tiles, and material specifications.

Table detailing exterior wall repair and waterproofing methods. Includes sections for waterproofing, repair of damaged areas, and material specifications.

5 建具改修工事	⑤ アルミニウム製建具	性能値等 耐風圧性の等級 (・S-3) (1600pa) (建具符号: 建具表による) 気密性の等級 (・A-4) (2等級線) (建具符号: 建具表による) 水密性の等級 (・W-5) (500pa) (建具符号: 建具表による) 外部に面する建具の種類 ・A種 (建具符号: 建具表による) ・B種 (建具符号: 建具表による) ・C種 (建具符号: 建具表による) 枠の見込み寸法 (建具符号: 建具表による) 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 (・) (建具符号: 建具表による) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級 (・H-1) (建具符号: 建具表による) 材料 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443J1 ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL 形状及び仕上げ 表面処理 外部に面する建具 種類 ※BB-1、BB-2 (改修標準仕様書表5.2.2) 着色 ・標準色、・特注色 屋内の建具 種類 ※BC-1、BC-2 (改修標準仕様書表5.2.2) 着色 ・標準色、・特注色 結露水の処理方法 ・水貯め式、・排水式 工法 水切り板、ぜん板 ※図示による	<5.2.2~5><表5.2.2>	9. 鋼製軽量建具	材料 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443J1 ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL 形状及び仕上げ 鋼板類の厚さ ※改修標準仕様書表5.4.2による mm 使用箇所 標準型鋼製建具の形式及び寸法 ※建具表による 性能値等 簡易気密型ドアセット ※適用する (建具符号: 建具表による) ・適用しない 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 (・) (建具符号: 建具表による) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級 (・) (建具符号: 建具表による) 材料 鋼板 ・垂鉛めっき鋼板 ・ビニル被覆鋼板 ・カラー鋼板 ・ステンレス鋼板 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443J1 召合わせ、縦小口包み板の性質 ※鋼板 ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL 形状及び仕上げ 鋼板類の厚さ ※改修標準仕様書表5.5.1による mm 使用箇所 標準型鋼製軽量建具の形式及び寸法 ※建具表による	<5.2.2><5.5.2~4>	12. 建具用金物	・特殊加工 化粧合板 ・MDF 化粧加工の方法 ※プリント ・ポリエステル化粧合板 ・メラミン化粧合板 接着の程度 (・1類、・2類) 表面板の厚さ ※改修標準仕様書表5.7.6による 引戸の召合せかまちのいんろう付きの適用 ・適用しない、・適用する かまち戸 かまち樹種 () 鏡板樹種 () 見込み寸法 ※36mm (建具表による) ふすま 張りの種別 (・I型、・II型) 上張り (押入等の裏側以外) ・鳥の子 ※新鳥の子又はビニル紙程度 縁仕上げ ・塗り縁、・生地縁 (素地)、・生地縁 (ウレタンクリヤー塗装) 見込み寸法 ※19.5mm、建具表による 戸ふすま 表面板の仕上、建具表による 見込み寸法 ※30mm、建具表による 紙張り障子 見込み寸法 ※30mm、建具表による 枠、くつずりの材料 ・建具表による	<5.8.1~3>	15. 自閉式上吊り引戸装置	性能値等 ※改修標準仕様書表5.10.1 ・以下による 手動開き力 () 手動閉し力 () 閉じ速度の調整 () 制動区間 () 閉鎖返し () 耐衝撃性 ()	<5.10.3>
	6. 網戸等	種類 ・防虫網 ※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス (SUS316) 製 ・防鳥網 ステンレス (SUS304) 線材 材質 線径 網目	<5.2.3、5.3.3>	10. ステンレス製建具	性能値等 簡易気密型ドアセット ※適用する (建具符号: 建具表による) ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性の等級 (・) (建具符号: 建具表による) 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 (・) (建具符号: 建具表による) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級 (・H-4、H-5、H-6、H-7、H-8) (建具符号: 建具表による) 外部に面する建具の日射熱取得性の等級 枠の見込み寸法 ・建具表による 材料 ガラス ※複層ガラス ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL 形状及び仕上げ 表面色 ・標準色、・特注色 工法 水切り板、ぜん板 ※図示による	<5.2.2><5.3.2~5>	13. 鍵	マスターキー ・製作する ・製作しない ・既存のマスターキーに合わせる その他の鍵の製作本数 ※各室3本1組 (室名札付き) 鍵箱 ・無し、・有り	<5.8.4>	16. 重量シャッター	シャッターの種類 ・管理用シャッター ・外壁用防火シャッター ・屋内用防火シャッター ・防煙シャッター 外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度 () Pa 開閉方式の種類 ※電動式 (手動併用) ・手動式 安全装置 電動式シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置 (設置箇所、建具表による) 電動式シャッターの障害物感知装置 (設置箇所、建具表による) 屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止装置 (設置箇所、建具表による) 管理用シャッターのシャッターケース ※設ける、設けない スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 ※JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) ・JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板鋼帯) めっきの付着量 ※Z12又はF12 ガイドレール、まぐさ、雨掛りに用いる座板及び座板のカバー、雨掛りに用いるスイッチボックス類のふたの材質 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443J1	<5.11.2、3>
	7. 樹脂製建具	性能値等 耐風圧性の等級 () 気密性の等級 () 水密性の等級 () 外部に面する建具の種類 ・A種 (建具符号: 建具表による) ・B種 (建具符号: 建具表による) ・C種 (建具符号: 建具表による) 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 (・T-1、T-2) (建具符号: 建具表による) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級 (・H-4、H-5、H-6、H-7、H-8) (建具符号: 建具表による) 外部に面する建具の日射熱取得性の等級 枠の見込み寸法 ・建具表による 材料 ガラス ※複層ガラス ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL 形状及び仕上げ 表面色 ・標準色、・特注色 工法 水切り板、ぜん板 ※図示による	<5.2.2><5.4.2~4><表5.4.2>	11. 木製建具	建具材の加工、組立時の含水率 ※A種 ・建物内部の木製建具に使用する接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・フラッシュ戸 表面材のホルムアルデヒド放散量等 ※改修標準仕様書表5.7.2(2)(i)(a)による 表面材の合板の種類 合板の種類 規格等 備考 ・普通合板 表面の樹種、板面の品質 (※広葉樹1等)、接着の程度 (・1類、・2類) ・天然木化粧合板 樹種名、接着の程度 (・1類、・2類)	<5.7.2~4>	14. 自動ドア開閉装置	戸の開閉方式 ・建具表による 引き戸用駆動装置 性能値 ※改修標準仕様書表5.9.1による (防錆、適用する、適用しない) ・以下による 耐電圧 () 温度上昇 () 耐久性 (サイクル) () 防錆 () 電源 () 車椅子使用者用便所出入口引き戸用駆動装置 性能値 ※改修標準仕様書表5.9.2による (防錆、適用する、適用しない) ・以下による 耐電圧 () 温度上昇 () 耐久性 (サイクル) () 防錆 () 電源 () 引き戸用検出装置 性能値 ※改修標準仕様書表5.9.3による (防錆、適用する、適用しない) ・以下による 耐電圧 () 防錆 () 防滴 () 電源 () 引き戸用検出装置の種類及び必要性能項目 ・建具表による タッチスイッチの種類 ・無線式タッチスイッチ、・光線式タッチスイッチ	<5.9.2、3>	17. 軽量シャッター	開閉方式の種類 ※手動式 (手動併用) ・電動式 (手動併用) 耐風圧強度 () Pa 安全装置 電動シャッターの障害物感知装置 (設置箇所、建具表による) スラットの材質の種類 ※JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) めっきの付着量 (※Z06又はF06) ・JIS G 3322 (塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯) めっきの付着量 (※A290) スラットの形状 ・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形	<5.12.2~4>
	8. 鋼製建具	性能値等 簡易気密型ドアセット ※適用する (建具符号: 建具表による) ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性の等級 (・) (建具符号: 建具表による) 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 (・) (建具符号: 建具表による) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級 (・) (建具符号: 建具表による)	<5.2.2><5.4.2~4><表5.4.2>	18. オーバーヘッドドア	セクション材料による区分 ※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ 耐風圧性能区分 ・50 ・75 ・100 ・125 開閉方式による区分 ※バランス式 ・チェーン式 ・電動式 収納形式による区分 ※スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・パーチカル形 ガイドレールの材料 ※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板 電動式オーバーヘッドドアの障害物感知装置 (設置箇所、建具表による) フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類 ※建具表による 型板ガラスの厚さによる種類 ※建具表による 網入板又は線入板ガラスの網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ※建具表による 合わせガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ ※建具表による 落球衝撃はく離特性並びにショットバック衝撃特性による種類 ・I類、・II-1類、・II-2類、・III類 強化ガラス 形状による種類、材料板ガラスの種類による名称 ※建具表による 破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類 ・I類、・III類 熱線吸収板ガラス 板ガラスによる種類、厚さによる種類 性能による種類 ・1種、・2種	<5.13.2、3>	19. ガラス	性能値等 ※改修標準仕様書表5.9.2による (防錆、適用する、適用しない) ・以下による 耐電圧 () 温度上昇 () 耐久性 (サイクル) () 防錆 () 防滴 () 電源 () 引き戸用検出装置の種類及び必要性能項目 ・建具表による タッチスイッチの種類 ・無線式タッチスイッチ、・光線式タッチスイッチ	<3.7><5.14.2~4>			

5 建具改修工事
20. ガラス
ブロック積み
21. ガラス用
フィルム
・複層ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ
・建具表による
断熱性による区分
・T1 ・T2 ・T3 ・T4 ・T5 ・T6
日射取得性、日射遮蔽性による区分
・G
・S
乾燥気体の種類
・空気 ・アルゴン
熱線反射ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類
・建具表による
日射熱遮へい性による区分
・1種 ・2種 ・3種
耐久性による区分(日射熱遮へい性が2種の場合)
・A類 ・B類
倍強度ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類
・建具表による
ガラスの留め材及び溝の大きさ
建具の種類 ガラス留め材 ガラス溝の大きさ(mm)
アルミニウム製 シーリング材 グレージングチャンネル ※建具の製造所の仕様による
鋼製及び鋼製軽量 シーリング材 ※建具の製造所の仕様による
ステンレス製 シーリング材 ※建具の製造所の仕様による
樹脂製 グレージングガスケット ※建具の製造所の仕様による
呼び寸法(mm) 厚さ(mm) 色調 目地幅(mm) 伸縮調整目地位置(mm) 防火性能
・160×160 ・95
・200×200 ・95
壁用金属枠及び補強材 ※図示による
力骨 材質 ※ステンレス鋼(SUS304)
寸法 ※径5.5mm
形状 ※はしご形状複筋及び単筋
化粧目地モルタルの色(白 グレー) シーリングの種類(SR-1 PS-1) 金属製化粧カバー 材質 ※ステンレス製 アルミニウム製
寸法 ※図示による
形状 ※図示による
目地部の横力骨の納まり ※ガラスブロック製造所の仕様による
図示による
種類 記号 内貼り用外貼り用 その他性能等
・日射調整フィルム SC-1 SC-2
・低放射フィルム LE
・衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム GI-1 GI-2
・相関変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム GD-1 GD-1
・ガラス貫通防止フィルム SF
品質は、JIS A 5759による。

6 内装改修工事
1 改修範囲 <6.1.3>
既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲
※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
・図示による
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲
※壁面より両側 600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
・図示による
既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
※既存のまま
・図示による
2 既存床の撤去及び地下補修 <6.2.2>
ビニル床シート等の除去
※仕上材のみ(接着剤とも)
・下地モルタルとも(・図示による 除去範囲全て)
合成樹脂塗床材の除去工法
・機械的除去工法
・目荒し工法
既存のコンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4章外壁改修工事による。
改修後の床の清掃範囲
※図示による
3 既存壁の撤去及び地下補修 <6.3.2>
間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修
※改修標準仕様書4.3.10によるモルタル塗り(全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※図示による)
4 施工一般 <6.5.2>
材料ホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆又は改修標準仕様書6.5.2(1)(f)(b)による
5 製材 <6.5.2>
JAS 1083-5 製材-第5部に基づく下地用製材
施工箇所 寸法(mm) 等級 含水率 保存処理
※2級 ※A種 ・B種
※2級 ※A種 ・B種
JAS 1083-2 製材-第2部に基づく造作用製材
施工箇所 寸法(mm) 等級 含水率 保存処理
見え掛り面 ※上小節 ※A種 ・B種
見え掛り面以外 ※小節以上 ※A種 ・B種
JAS 1083-6 製材-第6部に基づく広葉樹製材
施工箇所 寸法(mm) 等級 含水率 保存処理
※1等 ※10%以下 ※A種 ・B種
※1等 ※10%以下 ※A種 ・B種
JAS 1083 (製材)以外の製材
施工箇所 寸法(mm) 材面の品質 防火処理 含水率
()
造作材の場合(※A種 ・B種) ・適用する ※A種 ・B種
造作材の場合(※A種 ・B種) ・適用する ※A種 ・B種
「集材材の日本農林規格」による造作用集材材 <6.5.2>
施工箇所 品名 樹種名 寸法(mm) 見付け材面 見付け材面の品質
※1等 ・2等
※1等 ・2等
「集材材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集材材
施工箇所 品名 材種名 寸法(mm) 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面 見付け材面の品質
化粧薄板: ※1等
芯材: ・2等
化粧薄板: ※1等
芯材: ・2等
「集材材の日本農林規格」以外の造作用集材材
施工箇所 材種名 寸法(mm) 見付け材面の品質 含水率
※15%以下
※15%以下
「集材材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集材材
施工箇所 材種名 寸法(mm) 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面の品質 含水率
化粧薄板: ※15%以下
芯材: ・
化粧薄板: ※15%以下
芯材: ・

7 造作用単板積層材 <6.5.2>
JAS 0701 に基づく造作用単板積層材
施工箇所 品名 寸法(mm) 表面の品質 防火処理
・適用する
・適用しない
・適用する
・適用しない
JAS 0701 以外の造作用単板積層材
施工箇所 寸法(mm) 表面の品質 含水率 防火処理
※14%以下 ・適用する
・適用しない
※14%以下 ・適用する
・適用しない
JAS 3079 に基づく直交集成板
施工箇所 品名 強度等級 種別 接着性能(使用環境) 樹種名 寸法(mm)
「合板の日本農林規格」による普通合板 <6.5.2>
施工箇所 厚さ(mm) 単板の樹種名 接着の程度 板面の品質 防火処理
※5.5 ※1類 ・2類 広葉樹 ※2等以上 ・1等 針葉樹 ※C-D以上
「合板の日本農林規格」による構造用合板
施工箇所 等級 単板の樹種名 板面の品質 厚さ(mm) 防火処理 強度等級
※2級以上 ・1級 ※1類 ・特類 ※C-D以上 ※12 適用する 適用する
・適用しない
「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板
施工箇所 厚さ(mm) 単板の樹種名 接着の程度 防火処理
1類 ・特類 ・適用する
・適用しない
「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板
施工箇所 化粧ばりに使用する単板の樹種名 厚さ(mm) 接着の程度 防火処理
1類 ・2類 ・適用する
・適用しない
「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板
施工箇所 厚さ(mm) 接着の程度 単板の樹種名 化粧加工の方法 防火処理
1類 ・2類 ・適用する
・適用しない
パーティクルボード
施工箇所 表裏面の状態による区分 曲げ強さによる区分 耐水性による区分 難燃性による区分 厚さ(mm)
※T3タイプ ※P又はM ※15
JAS 0360 に基づく構造用パネル
施工箇所 寸法(mm)
MDF
施工箇所 厚さ(mm) 表裏面の状態による区分 曲げ強さによる区分 接着剤による区分 難燃性による区分
造作材の化粧面の釘打ち <6.5.3>
※隠し釘打ち
・釘頭埋め木
・つぶし頭釘打ち
・釘頭現し
諸金物
※かすがい、座金、箱金物、短冊金物
(改修標準仕様書表6.5.3~5に示す程度の市販品 表8.20.1のF種程度)
形状: 寸法: 材質:
接着剤のホルムアルデヒド放散量 <6.5.3.4>
※F☆☆☆☆
防腐・防蟻処理 <6.5.5>
薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理
適用部材 保存処理性能区分
K2 ・K3 ・K4
K2 ・K3 ・K4
K2 ・K3 ・K4

12 内部間仕切軸組及び床組
・薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理
適用部材 処理の方法 薬剤の種類
※薬剤の製造所の仕様による ※JIS K 1571に適合又は同等品
・薬剤の接着材への混入による防腐・防蟻処理
適用部位()
・合板等の加圧注入処理の適用
適用部位()
13 窓、出入口その他
・窓、出入口その他に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合) <6.5.6>
※杉又は松
・床組みに用いる木材の樹種名(製材を用いる場合)
※杉又は松
・窓、出入口その他に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合) <6.5.7>
※吊元梓、水掛りの下枠及び敷居はひのき、その他は松又は杉
14 軽量鉄骨天井下地 <6.6.2~4>
野縁等の種類
屋外 ※25形 ・19形
屋内 ※19形 ・25形
屋外の形式及び寸法
野縁受、つりボルト及びインサートの間隔
・図示による
・周辺部の端からの間隔
・図示による
野縁の間隔
・図示による
既存の埋込みインサート
・使用する ・使用しない
あと施工アンカーの施工後の確認試験
・行う
試験箇所数 ※屋内の場合、当該階において3箇所()箇所
引張試験にて確認する強度 ※吊りボルト受け等の間隔が900mm程度以下かつ天井面積構成部材等の単位面積あたりの質量が20kg/m²以内の天井の場合は400N程度()N
※行わない
・つりボルトの間隔が900mmを超える場合(補強方法 ※図示による)
・天井のふところが3.0mを超える場合(補強方法 ※図示による)
・天井下地材における耐震性を考慮した補強(補強箇所 ※図示による)
(補強方法 ※図示による)
15 軽量鉄骨壁下地 <6.7.3、4>
スタッド、ランナーの種類 <6.7.3、4>
※改修標準仕様書表6.7.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類
・図示による
スタッドの高さが5.0mを超える場合
※図示による
出入口及びこれに準ずる開口部の補強
※改修標準仕様書6.7.4(5)による
16 ビニル床シート <6.8.2、3>
種類の記号 色柄 厚さ(mm) 備考
※FS(複層ビニル床シート) ※無地 ※2.0
・マーブル柄
・柄物
・柄物
接合部の処理
※熱溶接工法
17 ビニル床タイル <6.8.2>
種類の記号 色柄 寸法(mm) 厚さ(mm) 備考
※KT(コンポジションビニル床タイル) ・無地 ※300×300 ※2.0
・柄物 ・450×450 ・3.0
・TT(単層ビニル床タイル) ・無地 ・300×300 ・2.0
・柄物 ・450×450
・FT(複層ビニル床タイル) ・無地 ・300×300 ・2.0
・柄物 ・450×450 ・2.5
・3.0
・FOA(置ききビニル床タイル) ・無地 ・500×500 ・4.0
・柄物
・柄物
18 特殊機能床材 <6.8.2>
帯電防止床シート
種類()
性能()
厚さ(mm)()
帯電防止床タイル
種類()
性能()
寸法(mm)() × ()
厚さ(mm)()
視覚障害者用床タイル
ブロック等の突起の形状・寸法及びその配列はJIS T 9251による。
種類()
形状()
耐動荷重性床シート
種類()
厚さ(mm)()

6 内装改修工事	19. ビニル幅木	<ul style="list-style-type: none"> 防滑性床シート種類 () 厚さ(mm) () 防滑性床タイル種類 () 寸法(mm) () × () 厚さ(mm) () <p>材質の種類 ※軟質 硬質 <6. 8. 2> 高さ(mm) ※60 75 100 厚さ(mm) ※1. 5以上</p>	23. フローリング張り	<p>フローリングのホルムアルデヒドの放散量等 ※改修標準仕様書6. 11. 2(2)による <6. 11. 2~6></p> <p>各工法に使用する接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆☆</p> <ul style="list-style-type: none"> 単層フローリング (フローリングボード1等) 工法 <ul style="list-style-type: none"> 釘留め工法 (・根太張り ・直張り) 接着工法 樹種 ※なら 単層フローリング (フローリングブロック1等) 樹種 厚さ (mm) 大きさ 複合フローリング 工法 <ul style="list-style-type: none"> 釘留め工法 (・根太張り ・直張り) 接着工法 樹種 ※なら 種別 ・A種 ・B種 ・C種 <p>接着工法の場合の不陸緩和材 ※合成樹脂発泡シート</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場塗装仕上げ ※ウレタン樹脂ワニス塗り オイルステインの上、ワックス塗り 生地のままワックス塗り 	<p>せつこうボード</p> <table border="1"> <tr> <td>せつこうボード (GB-R)</td> <td>※12. 5(不燃) ・ 15(不燃)</td> </tr> <tr> <td>・シーリングせつこうボード (GB-S)</td> <td>・ 12. 5(・不燃 ・準不燃)</td> </tr> <tr> <td>・強化せつこうボード (GB-F)</td> <td>・ 12. 5(不燃) ・ 15(不燃)</td> </tr> <tr> <td>・せつこうボード (GB-L)</td> <td>・ 9. 5</td> </tr> <tr> <td>・不燃積層せつこうボード (GB-NC)</td> <td>・ 9. 5 (不燃)</td> </tr> </table> <p>合板類</p> <ul style="list-style-type: none"> 普通合板 表板の樹種名: ※図示による 板面品質: 防虫処理: 行う ・行わない 天然木化粧合板 化粧板の樹種名: ※図示による 防虫処理: 行う ・行わない 特殊加工化粧合板 化粧加工の方法: ※図示による ・オーバーレイ ・プリント ・塗装 表面性能: 防虫処理: 行う ・行わない <p>天井のボード類(ロックワール吸音板を除く)の重ね張りを行う場合 ※図示による</p> <p>合板類の張付け</p> <ul style="list-style-type: none"> A種 B種 <p>せつこうボードの目地工法等</p> <p>目地工法の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ※仕上げによる 突付け工法及び目透し工法のエッジの種類 ・ペベルエッジ ・スクエアエッジ 化粧加工の方法 (・オーバーレイ ・プリント ・塗装) 	せつこうボード (GB-R)	※12. 5(不燃) ・ 15(不燃)	・シーリングせつこうボード (GB-S)	・ 12. 5(・不燃 ・準不燃)	・強化せつこうボード (GB-F)	・ 12. 5(不燃) ・ 15(不燃)	・せつこうボード (GB-L)	・ 9. 5	・不燃積層せつこうボード (GB-NC)	・ 9. 5 (不燃)	<p>壁紙張り</p> <p>ホルムアルデヒド放散量 <6. 14. 2, 3> ※F☆☆☆☆</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th colspan="4">壁紙の種類</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>紙</th> <th>繊維</th> <th>塩化ビニル</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>図示による</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>防火性能</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・不燃 ・準不燃 ・難燃</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・不燃 ・準不燃 ・難燃</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・不燃 ・準不燃 ・難燃</td> </tr> </table> <p>モルタル及びせつこうプaster一面の素地ごしらえの種別 ※B種 ・A種</p> <p>コンクリート一面の素地ごしらえの種別 ※B種 ・A種</p> <p>せつこうボード面及びその他のボード面の素地ごしらえの種別 ※B種 ・A種</p>	施工箇所	壁紙の種類				備考	紙	繊維	塩化ビニル	その他	図示による	・	・	・	・	防火性能		・	・	・	・	・不燃 ・準不燃 ・難燃		・	・	・	・	・不燃 ・準不燃 ・難燃		・	・	・	・	・不燃 ・準不燃 ・難燃	<p>壁タイル張りの工法</p> <ul style="list-style-type: none"> 内装タイル <ul style="list-style-type: none"> 密着張り 改良圧着張り 内装タイル以外のユニットタイル <ul style="list-style-type: none"> マスク張り モザイクタイル張り 有機系接着剤によるタイル(セラミックタイル)張り タイルの形状、寸法等 <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">形状/寸法(mm)</th> <th rowspan="2">再生材料の適用</th> <th colspan="3">吸水率</th> <th colspan="3">うわぐすり</th> <th rowspan="2">役物</th> <th rowspan="2">色</th> <th rowspan="2">耐凍害性</th> <th rowspan="2">耐滑</th> </tr> <tr> <th>I類</th> <th>II類</th> <th>III類</th> <th>無ゆづり</th> <th>ゆづり</th> <th>有</th> <th>無</th> <th>標準</th> <th>特注</th> <th>有</th> <th>無</th> <th>り性</th> </tr> <tr> <td></td> </tr> </table> <p>備考欄</p> <p>標準的な曲がりの役物は一体成形とする</p> <p>内装タイル接着剤張りの接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆</p> <p>塗厚 (mm) <6. 17. 2, 3></p>	施工箇所	形状/寸法(mm)	再生材料の適用	吸水率			うわぐすり			役物	色	耐凍害性	耐滑	I類	II類	III類	無ゆづり	ゆづり	有	無	標準	特注	有	無	り性																																																																																																													
	せつこうボード (GB-R)	※12. 5(不燃) ・ 15(不燃)																																																																																																																																																																																							
・シーリングせつこうボード (GB-S)	・ 12. 5(・不燃 ・準不燃)																																																																																																																																																																																								
・強化せつこうボード (GB-F)	・ 12. 5(不燃) ・ 15(不燃)																																																																																																																																																																																								
・せつこうボード (GB-L)	・ 9. 5																																																																																																																																																																																								
・不燃積層せつこうボード (GB-NC)	・ 9. 5 (不燃)																																																																																																																																																																																								
施工箇所	壁紙の種類				備考																																																																																																																																																																																				
	紙	繊維	塩化ビニル	その他																																																																																																																																																																																					
図示による	・	・	・	・	防火性能																																																																																																																																																																																				
	・	・	・	・	・不燃 ・準不燃 ・難燃																																																																																																																																																																																				
	・	・	・	・	・不燃 ・準不燃 ・難燃																																																																																																																																																																																				
	・	・	・	・	・不燃 ・準不燃 ・難燃																																																																																																																																																																																				
施工箇所	形状/寸法(mm)	再生材料の適用	吸水率			うわぐすり			役物	色	耐凍害性	耐滑																																																																																																																																																																													
			I類	II類	III類	無ゆづり	ゆづり	有					無	標準	特注	有	無	り性																																																																																																																																																																							
	20. ゴム床タイル	<p>種類 <6. 8. 2></p> <ul style="list-style-type: none"> 単層品 積層品 <p>色柄 () 厚さ(mm) ・ 3. 0 ・ 4. 5 ・ 6. 0 ・ 9. 0 寸法(mm) () × ()</p>	24. 畳敷き	<p>種類 <6. 12. 2></p> <ul style="list-style-type: none"> A種 B種 C種 D種 (畳表: ・KT-I ・KT-II ・KT-III ・KT-K ・KT-N) <p>下地の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> 標準仕様書表12. 6. 1による床組 ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロン) <p>畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びビステレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。衝撃緩和型畳 (畳表: ・C1 ・C2)</p>	<p>モルタル塗り</p> <p>モルタル <6. 15. 3, 5, 6></p> <p>現場調査材料</p> <ul style="list-style-type: none"> 既調査材料 既製目地材 設ける 施工箇所 () 形状 (※図示による) 設けない 床の目地 設ける 目地割り ※2m程度 (最大目地間隔3m程度) 目地の種類 ※押し目地 設けない 壁面の仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の下地処理 図示による <p>伸縮目地の位置 <6. 16. 2~4></p> <p>床タイル</p> <ul style="list-style-type: none"> ※縦、横とも4m以内ごと 図示による <p>床タイル以外</p> <ul style="list-style-type: none"> 図示による <p>伸縮調整目地のシーリング材、目地法は改修特記仕様書第3章による</p> <p>見本焼き</p> <ul style="list-style-type: none"> 行う (施工箇所:) ・行わない <p>試験張り</p> <ul style="list-style-type: none"> 行う (範囲、仕様等は図示による) ・行わない セメントモルタルによるタイル(セラミックタイル)張り タイルの形状、寸法等 <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">形状/寸法(mm)</th> <th rowspan="2">再生材料の適用</th> <th colspan="3">吸水率</th> <th colspan="3">うわぐすり</th> <th rowspan="2">役物</th> <th rowspan="2">色</th> <th rowspan="2">耐凍害性</th> <th rowspan="2">耐滑</th> </tr> <tr> <th>I類</th> <th>II類</th> <th>III類</th> <th>無ゆづり</th> <th>ゆづり</th> <th>有</th> <th>無</th> <th>標準</th> <th>特注</th> <th>有</th> <th>無</th> <th>り性</th> </tr> <tr> <td></td> </tr> </table> <p>備考欄</p> <p>標準的な曲がりの役物は一体成形とする</p>	施工箇所	形状/寸法(mm)	再生材料の適用	吸水率			うわぐすり			役物	色	耐凍害性	耐滑	I類	II類	III類	無ゆづり	ゆづり	有	無	標準	特注	有	無	り性														<p>7 塗装改修工事</p> <p>① 材料</p> <p>屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 <7. 1. 3> ※F☆☆☆☆</p> <p>防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 (箇所:)</p> <p>② 下地調整</p> <p>塗替えRB種の場合の既存塗膜の除去範囲 <7. 2. 1~7> ※劣化部分は除去し、活膜部分は残す</p> <p>図示による</p> <p>既存錆止め塗料の鉛含有量調査</p> <ul style="list-style-type: none"> 行う (箇所) 行わない <p>下地調整</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">下地面の種類</th> <th colspan="2">下地調整の種別</th> <th rowspan="2">ひび割れ部の補修</th> </tr> <tr> <th>塗替え</th> <th>種別</th> </tr> <tr> <td>木部</td> <td>※不透明塗料塗りの場合</td> <td>※RB種</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>※RB種</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>垂鉛めっき鋼面</td> <td>※RB種</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>垂鉛めっき鋼面 (鋼製建具等)</td> <td>※RB種</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>モルタル面及びせつこうプaster一面</td> <td>※RB種</td> <td>・</td> <td>・行う ・行わない</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面 (DP以外)</td> <td>※RB種</td> <td>・</td> <td>・行う ・行わない</td> </tr> <tr> <td>ALCパネル面</td> <td>・RA種 ・RB種</td> <td>・</td> <td>・行う ・行わない</td> </tr> <tr> <td>押出成形セメント板面</td> <td>・RC種</td> <td>・</td> <td>・行う ・行わない</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面 (DP)</td> <td>・RB種 ・RC種</td> <td>・</td> <td>・行う ・行わない</td> </tr> <tr> <td>せつこうボード面及びその他ボード面</td> <td>※RB種</td> <td>・</td> <td>—</td> </tr> </table> <p>③ 素地ごしらえ <7. 3. 2~7></p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">下地面等</th> <th colspan="3">塗装の種類</th> <th rowspan="2">種別</th> </tr> <tr> <th>不透明塗料塗りの場合</th> <th>透明塗料塗りの場合</th> <th>種別</th> </tr> <tr> <td>木部</td> <td>※A種</td> <td>※B種</td> <td>※C種</td> <td>・A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面 (DP以外)</td> <td>※B種</td> <td>※A種</td> <td>※C種</td> <td>・A種 ・B種 ・C種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面 (DP)</td> <td>※B種</td> <td>※A種</td> <td>※C種</td> <td>・A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td>垂鉛めっき鋼面</td> <td>※A種</td> <td>※B種</td> <td>—</td> <td>・A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td>モルタル面及びせつこうプaster一面</td> <td>※B種</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面 (DP以外) 及びALCパネル面</td> <td>※B種</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td>押出成形セメント板面及びコンクリート面 (DP)</td> <td>・A種</td> <td>・B種</td> <td>・</td> <td>・A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面 (DPのみ)</td> <td>※B種</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td>せつこうボード面及びその他ボード面</td> <td>※B種</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・A種 ・B種</td> </tr> </table> <p>④ 錆止め塗料塗り <7. 4. 2, 3></p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">素地面</th> <th colspan="3">塗装の種類</th> <th rowspan="2">塗料の種別</th> <th rowspan="2">工程の種別</th> </tr> <tr> <th>SOP (工程の種別は表7. 4. 3)</th> <th>塗替え</th> <th>新規見え隠れ</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">鉄鋼面</td> <td>EP-G (工程の種別は表7. 4. 3)</td> <td>塗替え</td> <td>新規見え隠れ</td> <td>※A種 ・A種</td> <td>※C種 ・</td> </tr> <tr> <td>DP (工程の種別は表7. 4. 4)</td> <td>塗替え</td> <td>新規見え隠れ</td> <td>※B種 ・A種</td> <td>※A種 ・</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">垂鉛めっき鋼面</td> <td>SOP (工程の種別は表7. 4. 5)</td> <td>塗替え</td> <td>新鋼製建具等規その他</td> <td>※A種 ・B種</td> <td>※A種 ・</td> </tr> <tr> <td>EP-G (工程の種別は表7. 4. 5)</td> <td>塗替え</td> <td>新鋼製建具等規その他</td> <td>※B種 ・</td> <td>※B種 ・</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">DP (工程の種別は表7. 4. 6)</td> <td>SOP (工程の種別は表7. 4. 6)</td> <td>塗替え</td> <td>新鋼製建具等規その他</td> <td>C種</td> <td>※A種 ・</td> </tr> <tr> <td>新規</td> <td>塗替え</td> <td>新鋼製建具等規その他</td> <td>B種</td> <td>—</td> </tr> </table>	下地面の種類	下地調整の種別		ひび割れ部の補修	塗替え	種別	木部	※不透明塗料塗りの場合	※RB種	—	鉄鋼面	※RB種	—	—	垂鉛めっき鋼面	※RB種	—	—	垂鉛めっき鋼面 (鋼製建具等)	※RB種	—	—	モルタル面及びせつこうプaster一面	※RB種	・	・行う ・行わない	コンクリート面 (DP以外)	※RB種	・	・行う ・行わない	ALCパネル面	・RA種 ・RB種	・	・行う ・行わない	押出成形セメント板面	・RC種	・	・行う ・行わない	コンクリート面 (DP)	・RB種 ・RC種	・	・行う ・行わない	せつこうボード面及びその他ボード面	※RB種	・	—	下地面等	塗装の種類			種別	不透明塗料塗りの場合	透明塗料塗りの場合	種別	木部	※A種	※B種	※C種	・A種 ・B種	鉄鋼面 (DP以外)	※B種	※A種	※C種	・A種 ・B種 ・C種	鉄鋼面 (DP)	※B種	※A種	※C種	・A種 ・B種	垂鉛めっき鋼面	※A種	※B種	—	・A種 ・B種	モルタル面及びせつこうプaster一面	※B種	・	・	・A種 ・B種	コンクリート面 (DP以外) 及びALCパネル面	※B種	・	・	・A種 ・B種	押出成形セメント板面及びコンクリート面 (DP)	・A種	・B種	・	・A種 ・B種	コンクリート面 (DPのみ)	※B種	・	・	・A種 ・B種	せつこうボード面及びその他ボード面	※B種	・	・	・A種 ・B種	素地面	塗装の種類			塗料の種別	工程の種別	SOP (工程の種別は表7. 4. 3)	塗替え	新規見え隠れ	鉄鋼面	EP-G (工程の種別は表7. 4. 3)	塗替え	新規見え隠れ	※A種 ・A種	※C種 ・	DP (工程の種別は表7. 4. 4)	塗替え	新規見え隠れ	※B種 ・A種	※A種 ・	垂鉛めっき鋼面	SOP (工程の種別は表7. 4. 5)	塗替え	新鋼製建具等規その他	※A種 ・B種	※A種 ・	EP-G (工程の種別は表7. 4. 5)	塗替え	新鋼製建具等規その他	※B種 ・	※B種 ・	DP (工程の種別は表7. 4. 6)	SOP (工程の種別は表7. 4. 6)	塗替え	新鋼製建具等規その他	C種	※A種 ・	新規	塗替え	新鋼製建具等規その他	B種	—
施工箇所	形状/寸法(mm)	再生材料の適用	吸水率						うわぐすり			役物	色	耐凍害性					耐滑																																																																																																																																																																						
			I類	II類	III類	無ゆづり	ゆづり	有	無	標準	特注				有	無	り性																																																																																																																																																																								
下地面の種類	下地調整の種別		ひび割れ部の補修																																																																																																																																																																																						
	塗替え	種別																																																																																																																																																																																							
木部	※不透明塗料塗りの場合	※RB種	—																																																																																																																																																																																						
鉄鋼面	※RB種	—	—																																																																																																																																																																																						
垂鉛めっき鋼面	※RB種	—	—																																																																																																																																																																																						
垂鉛めっき鋼面 (鋼製建具等)	※RB種	—	—																																																																																																																																																																																						
モルタル面及びせつこうプaster一面	※RB種	・	・行う ・行わない																																																																																																																																																																																						
コンクリート面 (DP以外)	※RB種	・	・行う ・行わない																																																																																																																																																																																						
ALCパネル面	・RA種 ・RB種	・	・行う ・行わない																																																																																																																																																																																						
押出成形セメント板面	・RC種	・	・行う ・行わない																																																																																																																																																																																						
コンクリート面 (DP)	・RB種 ・RC種	・	・行う ・行わない																																																																																																																																																																																						
せつこうボード面及びその他ボード面	※RB種	・	—																																																																																																																																																																																						
下地面等	塗装の種類			種別																																																																																																																																																																																					
	不透明塗料塗りの場合	透明塗料塗りの場合	種別																																																																																																																																																																																						
木部	※A種	※B種	※C種	・A種 ・B種																																																																																																																																																																																					
鉄鋼面 (DP以外)	※B種	※A種	※C種	・A種 ・B種 ・C種																																																																																																																																																																																					
鉄鋼面 (DP)	※B種	※A種	※C種	・A種 ・B種																																																																																																																																																																																					
垂鉛めっき鋼面	※A種	※B種	—	・A種 ・B種																																																																																																																																																																																					
モルタル面及びせつこうプaster一面	※B種	・	・	・A種 ・B種																																																																																																																																																																																					
コンクリート面 (DP以外) 及びALCパネル面	※B種	・	・	・A種 ・B種																																																																																																																																																																																					
押出成形セメント板面及びコンクリート面 (DP)	・A種	・B種	・	・A種 ・B種																																																																																																																																																																																					
コンクリート面 (DPのみ)	※B種	・	・	・A種 ・B種																																																																																																																																																																																					
せつこうボード面及びその他ボード面	※B種	・	・	・A種 ・B種																																																																																																																																																																																					
素地面	塗装の種類			塗料の種別	工程の種別																																																																																																																																																																																				
	SOP (工程の種別は表7. 4. 3)	塗替え	新規見え隠れ																																																																																																																																																																																						
鉄鋼面	EP-G (工程の種別は表7. 4. 3)	塗替え	新規見え隠れ	※A種 ・A種	※C種 ・																																																																																																																																																																																				
	DP (工程の種別は表7. 4. 4)	塗替え	新規見え隠れ	※B種 ・A種	※A種 ・																																																																																																																																																																																				
垂鉛めっき鋼面	SOP (工程の種別は表7. 4. 5)	塗替え	新鋼製建具等規その他	※A種 ・B種	※A種 ・																																																																																																																																																																																				
	EP-G (工程の種別は表7. 4. 5)	塗替え	新鋼製建具等規その他	※B種 ・	※B種 ・																																																																																																																																																																																				
DP (工程の種別は表7. 4. 6)	SOP (工程の種別は表7. 4. 6)	塗替え	新鋼製建具等規その他	C種	※A種 ・																																																																																																																																																																																				
	新規	塗替え	新鋼製建具等規その他	B種	—																																																																																																																																																																																				
	21. カーペット敷き	<p>・織じゅうたん <6. 9. 2, 3>表6. 9. 1</p> <table border="1"> <tr> <th>織り方</th> <th>バイル形状</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・ウィルトンカーペット</td> <td>・カットバイル</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ダブルフェースカーペット</td> <td>・ループバイル</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・アキスミンスターカーペット</td> <td>・カット/ループバイル</td> <td></td> </tr> </table> <p>色柄 ※模様のない無地</p> <p>バイル糸の織維種等 ※無地の織りじゅうたんの種別 (・A種 ・B種 ・C種)</p> <p>帯電性</p> <ul style="list-style-type: none"> 適用する 適用しない <p>織じゅうたんの接合方法 ※ヒートボンド工法</p> <ul style="list-style-type: none"> つづり縫い <p>下敷き材 ※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種1号 呼び厚さ 8mm</p> <p>・タフテッドカーペット</p> <table border="1"> <tr> <th>バイル形状</th> <th>バイル長さ (mm)</th> <th>工法</th> <th>帯電性</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・カットバイル</td> <td>・5~7</td> <td>※全面接着工法</td> <td>・適用</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ループバイル</td> <td>・4~6</td> <td>・グリッパ工法</td> <td>・非適用</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・カット、ループ併用</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>下敷き材 (グリッパ工法の場合) ※反毛フェルト (JIS L 3204) の第212号 呼び厚さ 8mm</p> <p>タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆</p> <p>・タイルカーペット</p> <table border="1"> <tr> <th>バイルの形状</th> <th>種類</th> <th>施工箇所</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>総厚さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※ループバイル</td> <td>※第一種</td> <td></td> <td>※500×500</td> <td>※6. 5</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・第二種</td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・カットバイル</td> <td>・第一種</td> <td></td> <td>※500×500</td> <td>※6. 5</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・第二種</td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・カット・ループ併用</td> <td>・第一種</td> <td></td> <td>※500×500</td> <td>※6. 5</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・第二種</td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> </tr> </table> <p>タイルカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆</p> <p>タイルカーペットの敷き方</p> <p>平場</p> <ul style="list-style-type: none"> ※市松敷き 模様流し <p>階段部分</p> <ul style="list-style-type: none"> ※模様流し 市松敷き <p>見切り、押え金物</p> <p>材質 ()</p> <p>種類 ()</p> <p>形状等</p> <p>※図示による</p>	織り方	バイル形状	備考	・ウィルトンカーペット	・カットバイル		・ダブルフェースカーペット	・ループバイル		・アキスミンスターカーペット	・カット/ループバイル		バイル形状	バイル長さ (mm)	工法	帯電性	備考	・カットバイル	・5~7	※全面接着工法	・適用		・ループバイル	・4~6	・グリッパ工法	・非適用		・カット、ループ併用					バイルの形状	種類	施工箇所	寸法 (mm)	総厚さ (mm)	備考	※ループバイル	※第一種		※500×500	※6. 5			・第二種		・	・		・カットバイル	・第一種		※500×500	※6. 5			・第二種		・	・		・カット・ループ併用	・第一種		※500×500	※6. 5			・第二種		・	・		25. せつこうボードその他のボード及び合板張り	<p>MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 <6. 13. 2, 3> ※F☆☆☆☆</p> <p>合板のホルムアルデヒド放散量 ※改修標準仕様書6. 13. 2(2) (イ)の(a)~(d)のいずれか</p> <p>接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆</p> <p>表面への化粧張り等の加工 ※図示による</p> <table border="1"> <tr> <th>種類等</th> <th>厚さ (mm)、規格等</th> </tr> <tr> <td>木質系セメント板</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・木毛セメント板</td> <td>※図示による</td> </tr> <tr> <td>・硬質 (HW) ・中質 (MW) ・普通 (NW)</td> <td>・ 15 ・ 20 ・ 25</td> </tr> <tr> <td>・木片セメント板</td> <td>※図示による</td> </tr> <tr> <td>・硬質 (HF) ・普通 (NF)</td> <td>・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ 21 ・ 30</td> </tr> <tr> <td>繊維強化セメント板</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・けい酸カルシウム板 (タイプ2)</td> <td>※図示による</td> </tr> <tr> <td>普通ボード 0. 8FK</td> <td>・ 6 ・ 8</td> </tr> <tr> <td>火山性ガラス質複層板</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・火山性ガラス質複層板</td> <td>※図示による</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>※図示による</td> </tr> </table> <p>繊維板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミディアム密度ファイバーボード (MDF) ※図示による ・3 ・ 7 ・ 9 ・ 12 <p>・ハードボード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スタンダードボード (無処理) ・素地ハードボード <ul style="list-style-type: none"> ・未研磨板 (RN) ・研磨板 (RS) ・内装用化粧ハードボード (DI) ※図示による ・2. 5 ・ 3. 5 ・ 5 ・ 7 ・テーパーボード (処理) ・素地ハードボード <ul style="list-style-type: none"> ・未研磨板 (RN) ・研磨板 (RS) ・外用化粧ハードボード (DE) <p>・インジュレーションボード <6. 10. 2, 3></p> <ul style="list-style-type: none"> ・A級インジュレーションボード (A-IB) ※図示による ・9 ・ 12 ・ 15 ・ 18 ・天井上げ材 ・内装仕上げ材 <p>パーティクルボード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単板張りパーティクルボード ※図示による ・10 ・ 12 ・ 15 ・ 18 ・無研磨板 (VN) ・研磨板 (VS) <p>・化粧パーティクルボード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単板オーバーレイ (DV) ※図示による ・10 (難燃) ・ 12 (難燃) ・ラステックオーバーレイ (DO) ・塗装 (DC) <p>吸音材料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロックウール化粧吸音板 (DR) ・ 9 (不燃) ・ 12 (不燃) ・フラットタイプ ・ 12 (不燃) ・ 15 (不燃) ・凹凸タイプ ・ロックウール吸音ボード (1号) ※図示による ・25 ・グラスウール吸音ボード (32K) ・ 25 (ガラスウール包み) 	種類等	厚さ (mm)、規格等	木質系セメント板		・木毛セメント板	※図示による	・硬質 (HW) ・中質 (MW) ・普通 (NW)	・ 15 ・ 20 ・ 25	・木片セメント板	※図示による	・硬質 (HF) ・普通 (NF)	・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ 21 ・ 30	繊維強化セメント板		・けい酸カルシウム板 (タイプ2)	※図示による	普通ボード 0. 8FK	・ 6 ・ 8	火山性ガラス質複層板		・火山性ガラス質複層板	※図示による	種類	※図示による																																																																																			
織り方	バイル形状	備考																																																																																																																																																																																							
・ウィルトンカーペット	・カットバイル																																																																																																																																																																																								
・ダブルフェースカーペット	・ループバイル																																																																																																																																																																																								
・アキスミンスターカーペット	・カット/ループバイル																																																																																																																																																																																								
バイル形状	バイル長さ (mm)	工法	帯電性	備考																																																																																																																																																																																					
・カットバイル	・5~7	※全面接着工法	・適用																																																																																																																																																																																						
・ループバイル	・4~6	・グリッパ工法	・非適用																																																																																																																																																																																						
・カット、ループ併用																																																																																																																																																																																									
バイルの形状	種類	施工箇所	寸法 (mm)	総厚さ (mm)	備考																																																																																																																																																																																				
※ループバイル	※第一種		※500×500	※6. 5																																																																																																																																																																																					
	・第二種		・	・																																																																																																																																																																																					
・カットバイル	・第一種		※500×500	※6. 5																																																																																																																																																																																					
	・第二種		・	・																																																																																																																																																																																					
・カット・ループ併用	・第一種		※500×500	※6. 5																																																																																																																																																																																					
	・第二種		・	・																																																																																																																																																																																					
種類等	厚さ (mm)、規格等																																																																																																																																																																																								
木質系セメント板																																																																																																																																																																																									
・木毛セメント板	※図示による																																																																																																																																																																																								
・硬質 (HW) ・中質 (MW) ・普通 (NW)	・ 15 ・ 20 ・ 25																																																																																																																																																																																								
・木片セメント板	※図示による																																																																																																																																																																																								
・硬質 (HF) ・普通 (NF)	・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ 21 ・ 30																																																																																																																																																																																								
繊維強化セメント板																																																																																																																																																																																									
・けい酸カルシウム板 (タイプ2)	※図示による																																																																																																																																																																																								
普通ボード 0. 8FK	・ 6 ・ 8																																																																																																																																																																																								
火山性ガラス質複層板																																																																																																																																																																																									
・火山性ガラス質複層板	※図示による																																																																																																																																																																																								
種類	※図示による																																																																																																																																																																																								

15. カーテンレール 材料による区分 ・アルミニウム及びアルミニウム合金の押し成型材 ※ステンレス製 強さによる区分 ※10-90 仕上げ ※アルマイト 形状 ※角形

16. ブラインドボックス及びカーテンボックス 材種 ・集成材 (仕上げ) ※アルミニウム製 押し型材 (市販品) 標準仕様書表14.2.1による種別 ※BC-1種 ・BC-2種 色合い ・標準色 () ・特注色 () ・鋼製 (仕上げ)

17. 天井点検口 材種 寸法 形式 外枠 内枠 ※アルミニウム製 ※450×450 ・600×600 一般形 屋内外用 額縁タイプ 額縁タイプ 屋内用 ※目地タイプ ※目地タイプ 気密形

18. 床点検口 材種 寸法 形式 備考 ※アルミニウム製 ・450×450 ・ステンレス製 ※600×600 一般形 屋内外用 鍵付き 密閉形 屋内用

19. くつぶきマット 材種 受け枠 備考 ※塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼 (SUS304)製 ※ステンレス鋼 (SUS304)製 ・硬質アルミニウム合金

20. 流し台ユニット 材種 寸法 (mm) W D H 備考 ・流し台 ・1200 ・550 ・800 市販品 ・1500 ・600 ・850 トラップ付き 天板ステンレス製 ・1800 ・650 ・コンロ台 ・600 ・550 ・620 市販品 ・600 ・600 ・670 バックガード有り 天板ステンレス製 ・つり戸棚 ・1200 ・450 ・500 市販品 ・900 ・700 ・水切り ・1200 ・900 ・600 市販品 ステンレス製 ・1段式

21. 旗竿 材種 形式 高さ(m) 操作方法 固定方法 備考 ※アルミニウム合金製 ※テーパ式 ・同一断面式 ※ハンドル式 ・ロープ式 ・埋込式 ・ベース式 ・バンド式

22. 旗竿受金物 材種 ・ステンレス製 (SUS 304)

23. 車止めさく 形式 材種 柱径、肉厚(mm) 高さ(mm) ・上下式鎖内蔵式・標準品 ・ステンレス製 ・スプリング式

24. フェンス フェンスの種類 ・ビニル被覆エキスパンドフェンス ・樹脂塗装メッシュフェンス ・鋼管フェンス ・アルミフェンス 高さ ・図示による

25. 間知石及びコンクリート間知ブロック積み (20.4.2、3) 材種 種類 質量区分 備考 ・間知石 ・花こう岩 ・凝灰岩 ・コンクリート間知ブロック ・A ・B

26. 鋼製書架及び物品棚 種類 規格等 JISによる種類 ・鋼製書架 ・鋼製物品棚 JIS S 1039 の規格による ・1種 ・2種 ・3種 ・4種 ・5種 ・6種

27. 屋内掲示板 枠の材質 ※アルミニウム製 表面の材質 ※塩ビ発泡シート張り

28. 洗面カウンター 材種 ・メラミン樹脂化粧板張り (心材:集成材) ・人工大理石 奥行き(mm) ・約450 ・約600

29. 防煙垂れ壁 固定式 材質 厚さ(mm) 高さ(mm) 備考 ※ 納入り磨き板ガラス ※6.8 ※500 アルミ製枠付き ・ 線入り磨き板ガラス

30. 屋外掲示板 種類 材質 高さ(mm) 備考 ・垂直降下式 (巻取り型) ※不燃布 (不燃認定品) ※500 ・800 ガイドレール ※固定式 (壁埋込型) ・可動式 (天井収納型) ・回転降下式 鋼板製又はアルミ製 ※500 ・800 表面仕上げ ※天井材張り

31. 収納家具 合板類、MDF 及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆☆ 材質、形状、寸法 ※図示による

11 総揮発性有機化合物(TVOC) 測定仕様書 1. 一般事項 試料採取および測定は、厚生労働省の「室内空气中化学物質の採取方法及び測定方法」(以下「厚労省の測定方法」という。)の新築住宅の例に準拠して行う。

2. 測定対象化学物質 測定対象化学物質は、下記4 1)、2)の区分に従い、表の①から⑭の14物質及びTVOC又は表の①から⑨の9物質及びTVOCとする。

3. 測定方法 1) クロマトグラム上で「n-ヘキサン」から「n-ヘキサデカン」までの部分に検出される物質のピーク値を「トルエン」に換算した値をTVOC濃度とする。 2) トルエン換算で2.0µg/m3未満のピークは測定の対象としない。 3) 上位10ピークについて物質を特定して濃度の測定を行う。

化学物質名	室内濃度指針値
①ホルムアルデヒド	100 µg/m3 0.08 ppm
②トルエン	260 µg/m3 0.07 ppm
③キシレン	200 µg/m3 0.05 ppm
④エチルベンゼン	3,800 µg/m3 0.88 ppm
⑤スチレン	220 µg/m3 0.05 ppm
⑥パラジクロロベンゼン	240 µg/m3 0.04 ppm
⑦テトラデカン	330 µg/m3 0.04 ppm
⑧アセトアルデヒド	48 µg/m3 0.03 ppm
⑨ノナナール	(暫定)41 µg/m3 0.007 ppm
⑩フタル酸ジ-n-ブチル	17 µg/m3 0.0015 ppm
⑪フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	100 µg/m3 0.0063 ppm
⑫コルピリホス	1 µg/m3 0.00007 ppm
⑬ダイアジノン	0.29 µg/m3 0.00002 ppm
⑭フェノアカルブ	33 µg/m3 0.0038 ppm
⑮総揮発性有機化合物(TVOC)	400 µg/m3 (暫定目標値)

4. 測定する室 1) 14物質及びTVOC濃度を測定する室等 ・ 室名: 2) 9物質及びTVOC濃度を測定する室 ・ 室名: 屋外(周囲の建物から離れた場所1か所)

5. 測定結果等報告書の提出 次の事項を記載した報告書を2部提出する。 1) 測定結果(アセトアルデヒドについては、試料採取時の気温が20℃に満たない場合には、「厚労省の測定方法」に定める計算式で20℃、湿度50%に、ホルムアルデヒドについては25℃、湿度50%に補正した濃度を報告すること。) 2) 試料採取時の状況(気温・湿度(屋外、室内)、天候、風の状況、日射進入状況、採取年月日・時間、窓の開閉状況、機械換気量、工事完成から試料採取までの日数) 3) 試料採取方法、測定方法、使用した測定機器 4) TVOC濃度の算出に使用したクロマトグラムの写し

6. その他 表の化学物質①から⑭のうち、いずれかの物質の濃度が室内濃度指針値を超える場合は、工事事務所の引渡しを受けない。 TVOCの測定の結果、暫定目標値を超える場合は、発生原因の究明及び汚染物質の発生を低減するための対策について、協議を行うこと。

建築物解体工事特記仕様書【令和6年4月版】

工事概要 1 工事番号・名称 令和6年度成田公民館図書室等改修工事 2 工事場所 宮城県富谷市成田1丁目1-1 3 用途地域等 都市計画区域(内・外)用途地域(近隣商業)防火地域等(防火・準防火)指定なし(2.2条)その他の地域・地区() 4 主要用途 集会場(公民館) 5 敷地面積 13,418.18m2 m² 6 工事の概要 建築工事 一式 電気設備工事 一式 機械設備工事 一式 解体工事 一式 構造:鉄筋コンクリート造 階数:2階建 床面積:2,453.79m2

7 別途工事 備品工事、図書館システムに関する備品、防犯カメラ

8 その他

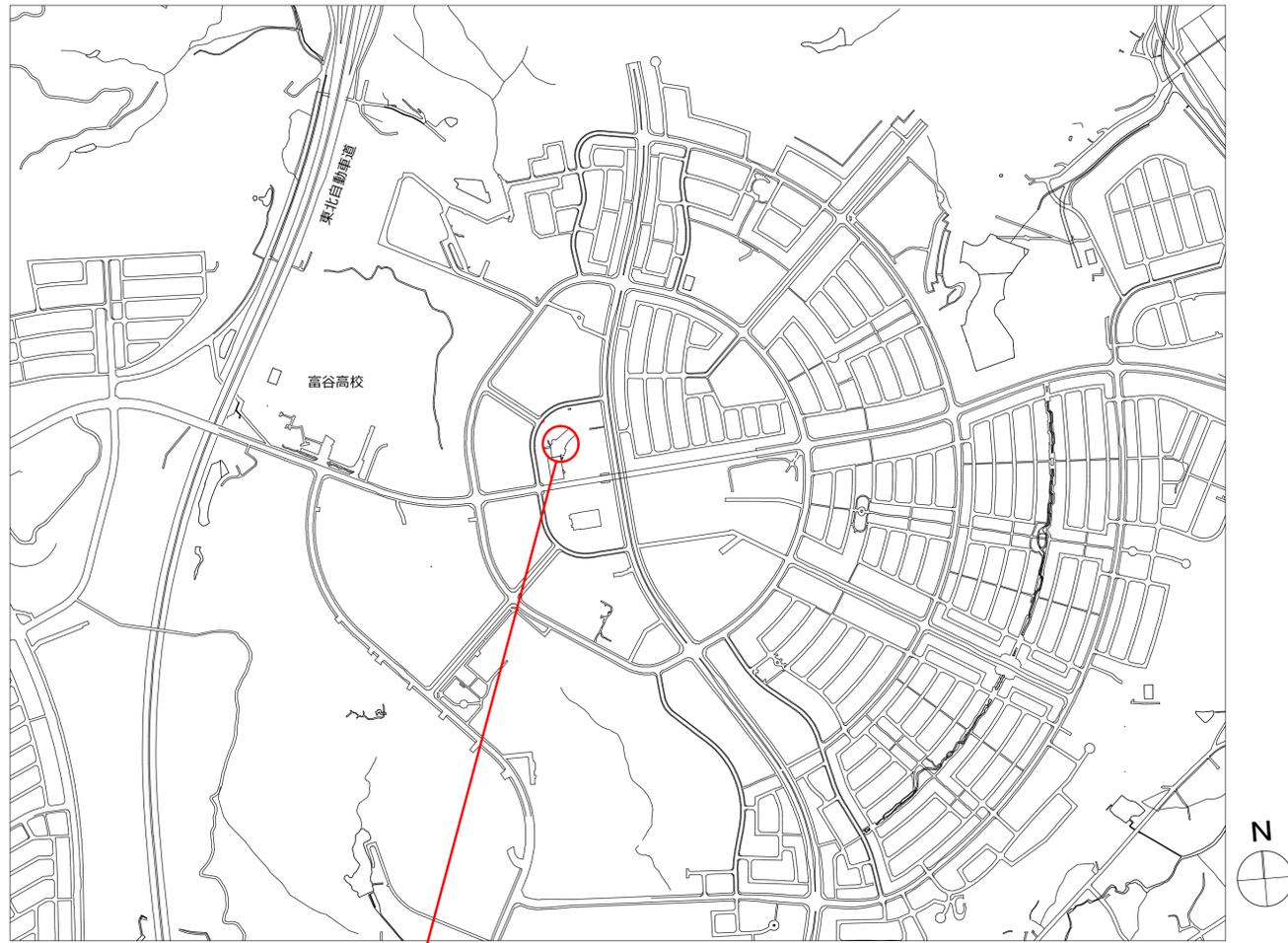
9 特記仕様書の範囲 特記仕様書は、本特記仕様書のほか以下の○印のもので構成する。 ○ 外構工事特記仕様書 ○ 植栽工事特記仕様書 ○ 電気設備工事特記仕様書 ○ 機械設備工事特記仕様書

建築工事仕様 1. 共通仕様 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「建築物解体工事共通仕様書(令和4年版)」(以下、「解体共通仕様書」という。)による。ただし、「解体共通仕様書」に記載されていない事項は、「公共建築工事標準仕様書(令和4年版)」(以下「標準仕様書」という。)及び「公共建築改修工事標準仕様書(令和4年版)」(以下「改修標準仕様書」という。)による。 なお、施工条件明示書は特記仕様書に含める。 2. 特記仕様 1) 項目は、番号に○印のついたものを適用する。 2) 特記事項は、○印のついたものを適用する。○印のつかない場合は※印のついたものを適用する。○印と◎印のついた場合は、共に適用する。 3) 特記事項に記載の[]、()及び< >内の表示番号は、それぞれ「解体共通仕様書」、「標準仕様書」及び「改修標準仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。

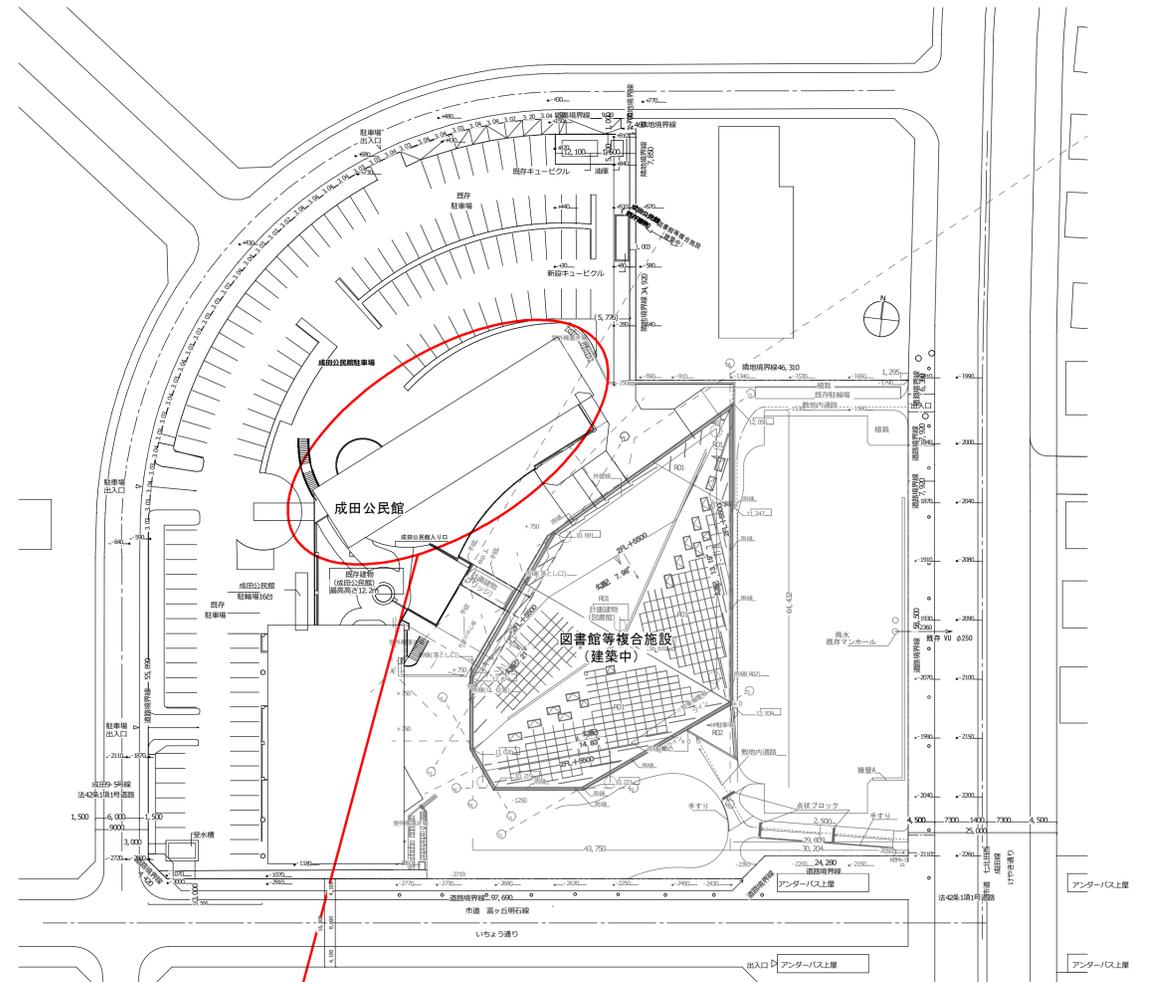
項目	特記事項
① 一般事項	○ 工事中に予期せぬ事態や疑義が生じた場合には、監督職員に報告の上、指示に従うこと。 ○ 請負業者は、監督職員と随時打合せを行い、工程の確認・調整及び工事の円滑な進捗をはかること。 ○ 解体工事現場に掲示すること。 ○ 工事着手前及び完成時に、以下に示す調査範囲の近隣家屋等の内外の状況(地盤、壁、内外壁、床、建具等)を調査・記録し、報告書を監督職員に提出すること。 ※工事に伴う環境調査要領 平成28年4月(東京都建設局編集)による ※調査に先立って調査計画書を作成し監督職員の確認を受けること 調査範囲 ※ 図示
② 適用基準等	○ 建設工事執行規則(昭和39年3月宮城県規則第9号) ○ 宮城県建設工事元請・下請関係適正化要綱 ○ 営繕工事写真撮影要領(国土交通省大臣官房官庁営繕部 令和5年版)及び工事写真撮影ガイドブック(国土交通大臣官房官庁営繕部監修 令和5年版)
③ 工事実績情報(CORINS)の登録	※ 適用する(請負精算額が500万円以上の場合) [1.1.4] 受注時、変更時及び工事完成時にあらかじめ監督職員の確認を受け、契約締結後及び工事完成後10日以内に登録手続きを行い、工事カルテの受領書を、監督職員に提出すること。 ・ 適用しない
④ 電気保安技術者	・ 適用する ※ 適用しない [1.3.3]
⑤ 事故報告	[1.3.8] 工事の施工中に事故が発生した場合は、直ちに監督職員に通報するとともに、監督職員から指示があった場合は「事故報告書」を指示する期日までに監督職員に提出する。
⑥ 技能士	[1.6.2] ・ 下表で技能士を適用することとした職種に、1級又は単一級技能士を配置する。 ※ 下表で技能士を適用することとした職種に、1級、2級又は単一級技能士を配置する。
工事種目	技能検定職種(技能検定作業)
以下の該当工事	・ 該当する作業がある以下の職種(作業)の全て
仮設工事	・ とび(とび作業)
鉄筋工事	・ 鉄筋施工(鉄筋組立作業)
コンクリート工事	・ 型枠施工(型枠工事作業) ・ コンクリート圧送施工(コンクリート圧送工事作業)
鉄骨工事	・ 鉄工(構造物鉄工作業)
コンクリートブロック・丸ひねル・押出成形セメント板工事	・ ブロック建築(コンクリートブロック工事作業) ・ ALCパネル施工(ALCパネル工事作業)

区分	内容
防水工事	・ 防水施工 (・ アスファルト防水工事作業 ・ ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・ アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・ 合成ゴムシート防水工事作業 ・ 塩化ビニルシート防水工事作業 ・ セメント系防水工事作業 ・ シーリング防水工事作業 ・ 改質アスファルトシート防水工事作業 ・ FRP防水工事作業)
石工事	・ 石材施工(石張り作業)
タイル工事	・ タイル張り(タイル張り作業)
木工事	・ 建築大工(大工工事作業)
屋根及びとい工事	・ 建築板金(内外装板金作業) ・ かわらぶき(かわらぶき作業)
金属工事	・ 内装仕上施工(鋼製下地工事作業) ・ 建築板金(内外装板金作業) ・ バルコニー施工(金属バルコニー工事作業)
左官工事	・ 左官(左官作業)
建具工事	・ サッシ施工(ビル用サッシ施工作業) ・ ガラス施工(ガラス工事作業) ・ 自動ドア施工(自動ドア施工作業)
カーテンウォール工事	・ カーテンウォール施工(金属製カーテンウォール工事作業) ・ サッシ施工(ビル用サッシ施工作業) ・ ガラス施工(ガラス工事作業)
塗装工事	・ 塗装(建築塗装作業)
内装工事	・ 内装仕上施工 (・ プラスチック系床仕上げ工事作業 ・ カーペット系床仕上げ工事作業 ・ 木質系床仕上げ工事作業 ・ ボード仕上げ工事作業) ・ 表装(壁装作業)
排水工事	・ 配管(建築配管作業)
舗装工事	・ 路面表示施工 (・ 溶融ハイドロマーク工事作業 ・ 加熱ハイドロマーク作業)
植栽工事	・ 造園(造園工事作業)
⑦ 完成図等	営繕工事完成引渡要領(令和6年4月1日宮城県土木部営繕課・設備課)により作成する。 ※ 白焼A4版折製本(黒表紙金文字) 1部 ※ 白焼縮小(A3版)2つ折製本 1部 ※ 敷地の完成図面 JWW形式又はDXF形式のCADデータ及びPDFデータ DVD-R等2部
⑧ 完成写真	※ 作成する 営繕工事写真撮影要領により、完成届に添付する完成写真とは別に次のものを原本(電子媒体)とともに監督職員に提出する。 なお、原本は、DVD-R等で提出すること。 分類 サイズ 撮影箇所数 部数 提出様式 ※カラー ※L ※営繕工事写真撮影要領 1部 ※工事用アルバムA4版 ・白黒 ・2L ・撮写真程度 1部 ・ポケット式程度 ・白黒 ・六切り ・完成写真程度 箇所枚 ・フリーアルバム (台紙寸法323×270程度)
⑨ 火災保険等	アルバムは、監督職員との協議により紙媒体又は電子媒体とする。 工事事務物の及び工事材料等について、次により保険に付す。 保険の種類 ※ 火災保険 ※ 建設工事保険 保険期間 ※ 工事着手日から工事事務物の引き渡しまで
2 仮囲い	※ 設ける (位置、延長等は図示) ・ 万能鋼板 (H=) ・ 波形鉄板 (H=) ・ 単管シート (H=) ・ 防音シート (H=) ・ 防音パネル (H=) ・ パネルゲート (W= H=) × 箇所 ・ シートゲート (W= H=) × 箇所 ・ 設けない
② 騒音、防塵等の対策	※ 設ける (適用範囲、高さ等は図示) [2.2.1] ・ 防音パネル ・ 防音シート ・ 養生シート ・ 設けない
③ 交通誘導員	※ 配置する (日 × 人 = 人日) ・ 配置しない
④ 監督職員事務所	・ 設ける [2.3.1] ・ 既存建物内の一部を使用する。 ・ 構内に新設する (規模 m程度) ・ 備え付ける備品 () ※ 設けない
⑤ 工事表示板	営繕工事における工事及びコスト表示要領(令和6年4月1日宮城県土木部営繕課・設備課制定)により設置する。 ※ 工事表示板 設置枚数 1枚 ・ 事業コスト表示板 設置枚数 2枚 ※ 建設リサイクル法による標識を設置する。
⑥ 工事用水	構内既存の施設 ※ 利用できる (※ 有償 ・ 無償) ・ 利用できない
⑦ 工事用電力	構内既存の施設 ※ 利用できる (※ 有償 ・ 無償) ・ 利用できない
⑧ 工事用通路	※ 指定しない ・ 指定する (図示)
9. 足場等	外部足場 ・ 設置する (設置範囲 ・ 工事に必要な範囲 <2.2.4>) ・ 設置しない 防護シート ・ 設置する (設置範囲 ・ 工事に必要な範囲) ・ 設置しない

6 ア ス ベ ス ト 含 有 建 材 の 除 去	① 石綿含有建材の除去工事	<p>施工調査</p> <p>※石綿含有建材の事前調査</p> <p>工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等によって石綿を含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査する。</p> <p>調査範囲 (※施工範囲全て 図示)</p> <p>貸与資料 ()</p> <p>・分析による石綿含有建材の調査</p> <p>分析対象 アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソライト、クロシドライト、トレモライト</p> <p>分析方法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">材 料 名</th> <th colspan="2">定性分析方法</th> <th colspan="2">定量分析方法</th> </tr> <tr> <td colspan="2">JIS A 1481 または JIS A 1481-2</td> <td colspan="2">JIS A1481-3または JIS A 1481-4</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>箇所</td> <td>・</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>箇所</td> <td>・</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>箇所</td> <td>・</td> <td>箇所</td> </tr> </tbody> </table> <p>サンプル数 1箇所あたり3サンプル 採取箇所 図示</p> <p>・石綿粉じん濃度測定 <9.1.1></p> <p>測定点 測定時期、場所及び測定箇所数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用</th> <th>測定名称</th> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>測定箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td>測定1</td> <td>処理作業前</td> <td>処理作業室内</td> <td>・計 点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定2</td> <td></td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>・計 点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定3</td> <td></td> <td>処理作業室内</td> <td>・計 点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定4</td> <td></td> <td>セキュリティゾーン入口</td> <td>・計 点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定5</td> <td>処理作業中</td> <td>集じん・排気装置の排出口 (処理作業室外の場合)</td> <td>出口吹出し風速 1m/sec以下の位置</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定6</td> <td></td> <td>処理作業室外 ・施工区画周辺 ・敷地境界</td> <td>・計 点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定7</td> <td>処理作業後 (シート養生中)</td> <td>処理作業室内</td> <td>・計 点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定8</td> <td>処理作業後シート</td> <td>処理作業室内</td> <td>・計 点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定9</td> <td>撤去後1週間以降</td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>・計 点</td> </tr> </tbody> </table> <p>測定方法</p> <p>・自動測定器による測定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>測定名称</th> <th>測定方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・測定4</td> <td>粉じん相対濃度計 (デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器 (リアルタイムファイバーモニター) 等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定</td> </tr> <tr> <td>・測定5</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・JIS K 3850-1に基づいた測定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>測定名称</th> <th>メンブレンフィルタ直径 (mm)</th> <th>試料の吸引流量 (L/min)</th> <th>試料の吸引時間 (min)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・測定4</td> <td>25</td> <td>5</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>・測定5</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・測定</td> <td>25</td> <td>10</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>・測定</td> <td>47</td> <td>10</td> <td>240</td> </tr> <tr> <td>・測定</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>石綿含有建材の処理</p> <p>・石綿含有吹き付け材の除去 除去対象範囲 図示 除去工法 図示 ※9.1.3(2)(7)による 除去した石綿含有吹き付け材等の飛散防止措置 ※湿潤化 固形化 除去した石綿含有吹き付け材等の処分 ・埋立処分 (管理型最終処分場) ・中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)</p> <p>・石綿含有保温材等の除去 除去対象範囲 図示 除去工法 破砕して除去 手ばらし 除去した石綿含有保温材等の飛散防止 ※湿潤化 固形化 除去した石綿含有保温材等の処分 ・埋立処分 (管理型最終処分場) ・中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)</p> <p>・石綿含有成形板の除去 除去対象範囲 図示 除去した石綿含有成形板の処分 ・石綿含有せっこうボード ※埋立処分 (管理型最終処分場) ・石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板 ・埋立処分 (安定型最終処分場) ・中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)</p> <p>作業場所周辺養生 ・行う 行わない</p>	材 料 名	定性分析方法		定量分析方法		JIS A 1481 または JIS A 1481-2		JIS A1481-3または JIS A 1481-4		・	・	箇所	・	箇所	・	・	箇所	・	箇所	・	・	箇所	・	箇所	適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所数	・	測定1	処理作業前	処理作業室内	・計 点	・	測定2		調査対象室外部の付近	・計 点	・	測定3		処理作業室内	・計 点	・	測定4		セキュリティゾーン入口	・計 点	・	測定5	処理作業中	集じん・排気装置の排出口 (処理作業室外の場合)	出口吹出し風速 1m/sec以下の位置	・	測定6		処理作業室外 ・施工区画周辺 ・敷地境界	・計 点	・	測定7	処理作業後 (シート養生中)	処理作業室内	・計 点	・	測定8	処理作業後シート	処理作業室内	・計 点	・	測定9	撤去後1週間以降	調査対象室外部の付近	・計 点	測定名称	測定方法	・測定4	粉じん相対濃度計 (デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器 (リアルタイムファイバーモニター) 等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定	・測定5		測定名称	メンブレンフィルタ直径 (mm)	試料の吸引流量 (L/min)	試料の吸引時間 (min)	・測定4	25	5	30	・測定5				・測定	25	10	120	・測定	47	10	240	・測定				<p>・石綿含有仕上塗材の除去</p> <p>除去対象範囲 図示</p> <p>工法 集じん装置付き超高压水洗工法 (100Mpa以上) 湿式集じん装置付きディスクグラインダー工法 乾式集じん装置付きディスクグラインダー工法 剥離剤 (薬品) 工法 超音波ケレン工法</p> <p>除去した石綿含有仕上塗材の処分 ・埋立処分 (安定型最終処分場) ・中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)</p>					
		材 料 名		定性分析方法		定量分析方法																																																																																																										
			JIS A 1481 または JIS A 1481-2		JIS A1481-3または JIS A 1481-4																																																																																																											
		・	・	箇所	・	箇所																																																																																																										
		・	・	箇所	・	箇所																																																																																																										
		・	・	箇所	・	箇所																																																																																																										
		適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所数																																																																																																										
		・	測定1	処理作業前	処理作業室内	・計 点																																																																																																										
		・	測定2		調査対象室外部の付近	・計 点																																																																																																										
		・	測定3		処理作業室内	・計 点																																																																																																										
・	測定4		セキュリティゾーン入口	・計 点																																																																																																												
・	測定5	処理作業中	集じん・排気装置の排出口 (処理作業室外の場合)	出口吹出し風速 1m/sec以下の位置																																																																																																												
・	測定6		処理作業室外 ・施工区画周辺 ・敷地境界	・計 点																																																																																																												
・	測定7	処理作業後 (シート養生中)	処理作業室内	・計 点																																																																																																												
・	測定8	処理作業後シート	処理作業室内	・計 点																																																																																																												
・	測定9	撤去後1週間以降	調査対象室外部の付近	・計 点																																																																																																												
測定名称	測定方法																																																																																																															
・測定4	粉じん相対濃度計 (デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器 (リアルタイムファイバーモニター) 等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定																																																																																																															
・測定5																																																																																																																
測定名称	メンブレンフィルタ直径 (mm)	試料の吸引流量 (L/min)	試料の吸引時間 (min)																																																																																																													
・測定4	25	5	30																																																																																																													
・測定5																																																																																																																
・測定	25	10	120																																																																																																													
・測定	47	10	240																																																																																																													
・測定																																																																																																																



改修工事場所



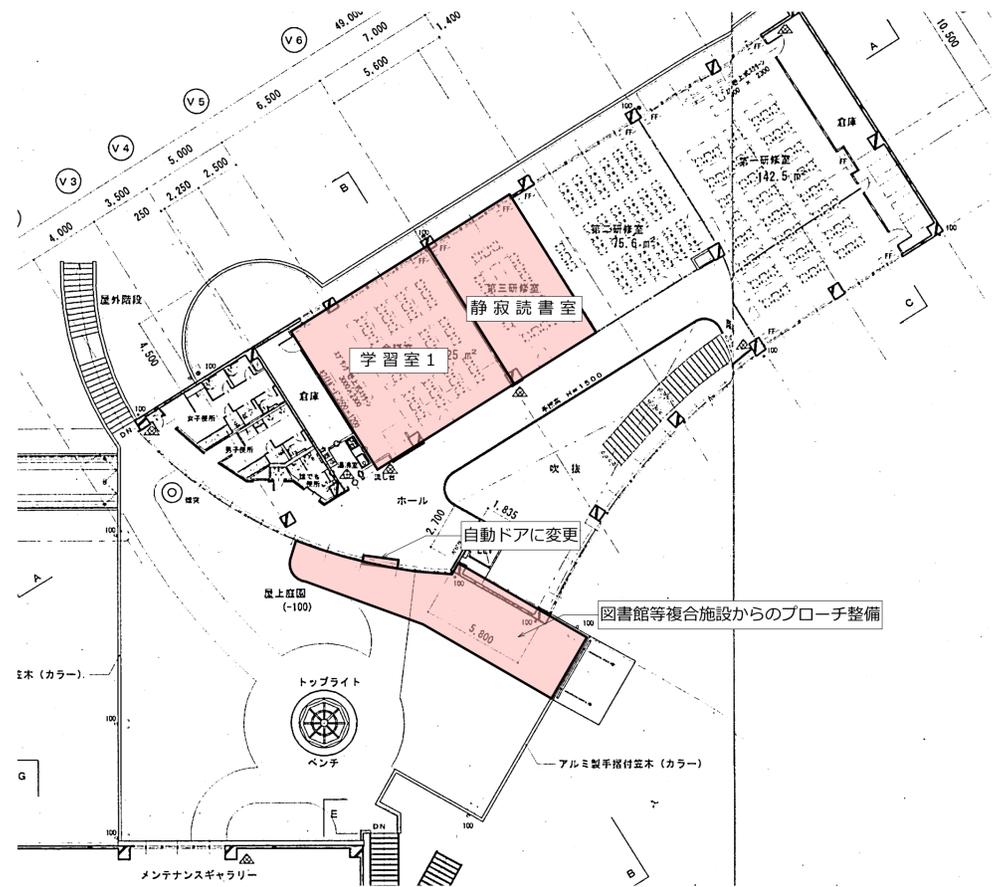
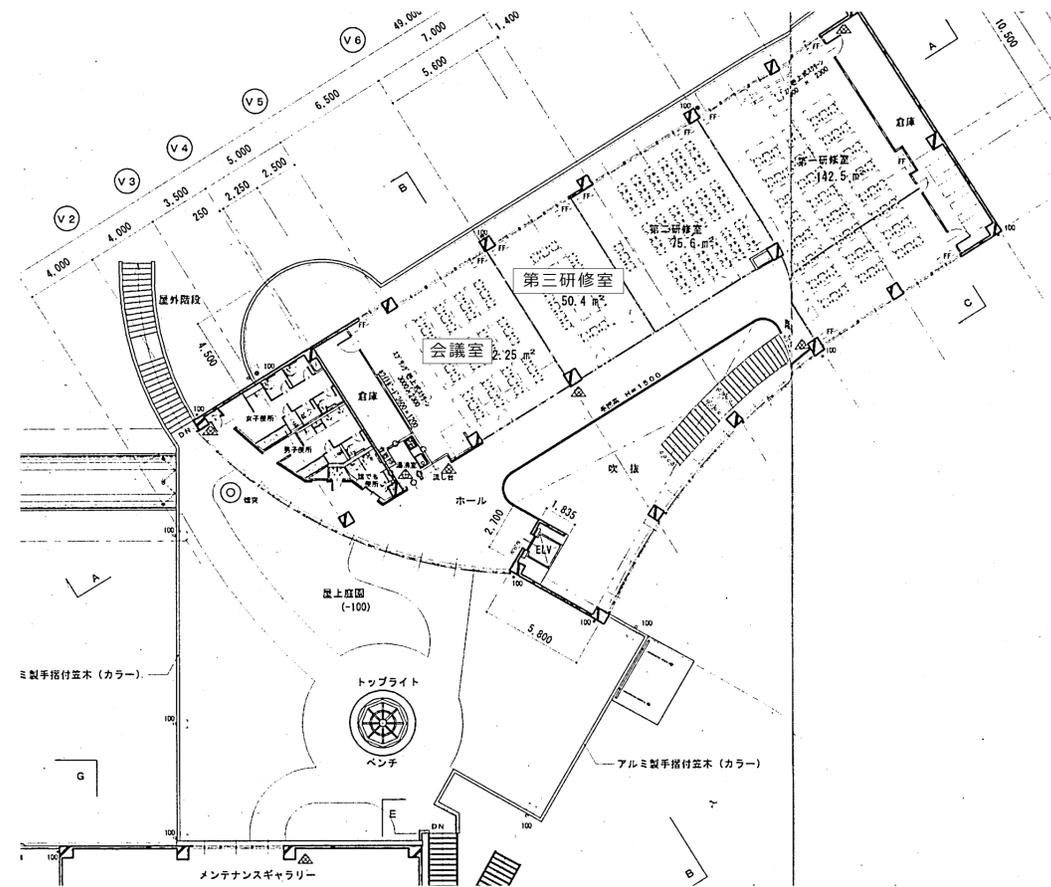
改修工事場所

<p>Project Title 令和7年度成田公民館図書室等改修工事</p>	<p>Architect ナスカ+はりゅうウッドスタジオ設計共同体 Engineer 設備：Z O設計室</p>	<p>1級建築士事務所 有限会社ナスカ 東京都知事登録第39348号 東京都新宿区戸山3-15-1日本駐車ビル4階 一級建築士 八木佐千子 第215039号</p>	<p>株式会社はりゅうウッドスタジオ 福島県知事登録第16 (007)0239号 福島県南会津郡南会津町針生字烏井戸1186 一級建築士 滑田光 第336277号 一級建築士 滑田崇志 第344323号</p>	<p>Date 2025年7月10日 木曜日 実施設計 Drawn by H.SAITO Checked by S.YAGI</p>	<p>Name of Drawing 付近見取り図・配置図</p>	<p>scale A1 N.S. A3</p>	<p>Drawing no A-08-0</p>
---	--	--	---	--	---------------------------------------	---------------------------------	------------------------------

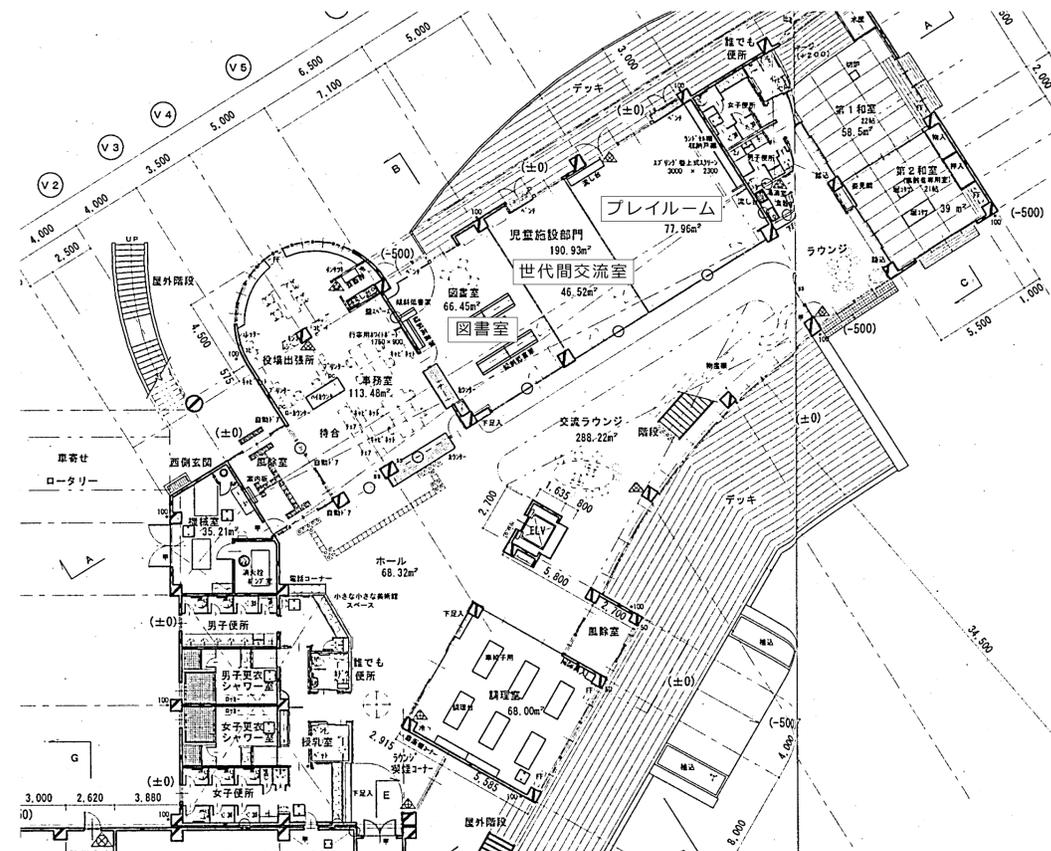
改修前

改修後

2階



1階



Project Title
令和7年度成田公民館図書室等改修工事

Architect
ナスカ+はりゅうウッドスタジオ設計共同体
Engineer 設備: Z O設計室

1級建築士事務所 有限会社ナスカ
東京都知事登録第39348号
東京都新宿区戸山3-15-1日本駐車ビル4階
一級建築士 八木佐千子 第215039号

株式会社はりゅうウッドスタジオ
福島県知事登録第16 (007)0239号
福島県南会津郡南会津町生字烏井戸1186
一級建築士 滑田光 第336277号 一級建築士 滑田志志 第344323号

Date 2025年7月10日 木曜日
実施設計
Drawn by H.SAITO
Checkd by S.YAGI

Name of Drawing
改修概要

scale
A1 N.S.
A3

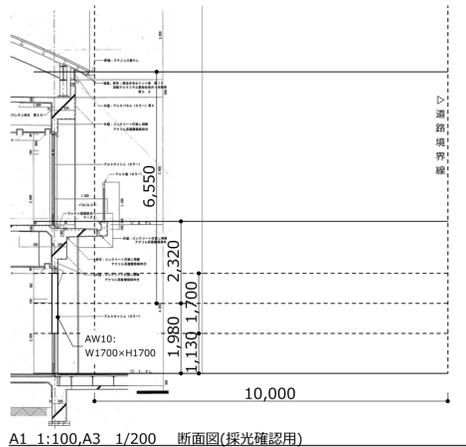
Drawing no
A-08-1

室名	天井高さ	室区分	FL	SL	床			巾木		腰壁		壁			天井				備考
					下地(1)	下地(2)	仕上	材質	高さ	材質	高さ	下地(1)	下地(2)	仕上	下地(1)	下地(2)	仕上	ブライントボックス	
2, 1FL																			
会議室1	2900	居室	±0		鋼製床組・RC(既存)	構造用合板t12(既存)	複合フローリング t15(既存)						RC(既存)	GB(R)t12.5(既存)	ビニールクロス張り	LGS(既存)	GB(R)t9.5(既存)	岩綿吸音板t=9(既存)	
会議室2	2900	居室	+6		鋼製床組・RC(既存)	複合フロアt15,構造用合板t12(既存)	複層ビニル床シートt2.5						RC(既存)	GB(R)t12.5(既存)	450角メラミン化粧板 t4 ビニールクロス張り	LGS(既存)	GB(R)t9.5(既存)	岩綿吸音板t=9(既存)	
学習室2	2900	居室	±0		鋼製床組・RC(既存)	構造用合板t12(既存)	タイルカーペット t6.5 複合フローリング t15(既存)						RC(既存)	GB(R)t12.5(既存)	ビニールクロス張り	LGS(既存)	GB(R)t9.5	岩綿吸音板t=9	
ブース	2900	居室	±0		鋼製床組・RC(既存)	構造用合板t12(既存)	複合フローリング t15(既存)	ソフト巾木	60				LGS	遮音ボード t9.5,GB(F)t12.5	ビニールクロス張り ビニールクロス張り(遮音壁TLD44)	LGS(既存)	GB(R)t9.5	岩綿吸音板t=9	
風除室	2700	非居室	±0		RC+モルタル	-	300角磁器タイル(既存)						RC(既存)	-	300×600角人造砂岩(既存)	LGS(既存)	-	化粧石膏ボードt=9.5(既存)	天井点検口(450角)
3, 2FL																			
学習室1	2700	居室	±0		-	RCスラブ(既存)	複合フローリング t15(既存)	ソフト巾木	60				RC(既存)	GB(R)t12.5(既存)	ビニールクロス張り(既存)	LGS(既存)	GB(R)t9.5(既存)	岩綿吸音板t=9(既存)	
静寂読書室	2700	居室	±0		-	RCスラブ(既存)	複合フローリング t15(既存)	ソフト巾木	60				LGS,GW16Kt100	遮音ボード t9.5,GB(F)t21	縦口φ150角 ビニールクロス張り	LGSLGS(既存)	GB(R)t9.5 GB(R)t9.5(既存)	岩綿吸音板t=9 岩綿吸音板t=9(既存)	
廊下	2700	非居室	±0		-	RCスラブ(既存)	長尺塩ビシート(既存)									LGS(既存)	GB(R)t9.5(既存)	岩綿吸音板t=9(既存)	天井点検口(450角)
3, 外部																			
外通路			±0		人工土壌(既存)	再生クラッシュヤーン(RC-40)t=150	コンクリート洗い出しt=80												

ALVS検討(ブース1.2.3)

- 排煙(ブース1.2.3) :平12建告1436号四号へ5
- 採光(ブース1.2) :無窓居室
- 換気(ブース1.2.3) :換気設備(機械換気設備)

採光計算										開口部の面積							
室名	床面積	採光必要係数	建具符号	d	h	d/h	a	β	D	A(仮)	A(補正值)	有効幅	有効高さ	有効面積	必要採光面積	有効採光面積	判定
ブース3	12.24	1/20	AW10	10	6.55	1.526	8	1.0	5	11.208	3	1.7	1.7	2.89	0.612	8.67	OK



■内装制限凡例	
不	下地仕上共不燃材使用
準不1	壁、天井の仕上を準不燃材以上
準不2	FL+1.2m以上の壁、天井の仕上を準不燃材以上
難1	壁、天井の仕上を難燃材以上
難2	FL+1.2m以上の壁、天井の仕上を難燃材以上
難3	天井の仕上を準不燃材、壁の仕上を木材等又は難燃材以上(国土交通省告示1439号)

■排煙設備凡例			
自排	自然排煙		【一】 令126条の2 1項 第一号 病院、ホテル、共同住宅
機排	機械排煙	設備図参照	【二】 令126条の2 1項 第二号 学校等
(1)	建設省告示第1436号 四-(1)	31m以下 内装準不燃 防火設備以上の非居室	【三】 令126条の2 1項 第三号 階段室、昇降路、PS、EPS
(2)	建設省告示第1436号 四-(2)	31m以下 100m2以下 防煙区画の非居室	【四】 令126条の2 1項 第四号 機械製作工場 不燃性物品保管倉庫
(3)	建設省告示第1436号 四-(3)	31m以下 100m2以内 内装準不燃 防火設備以上の居室	
(4)	建設省告示第1436号 四-(4)	31m以下 100m2以内 内装下地共不燃の居室	

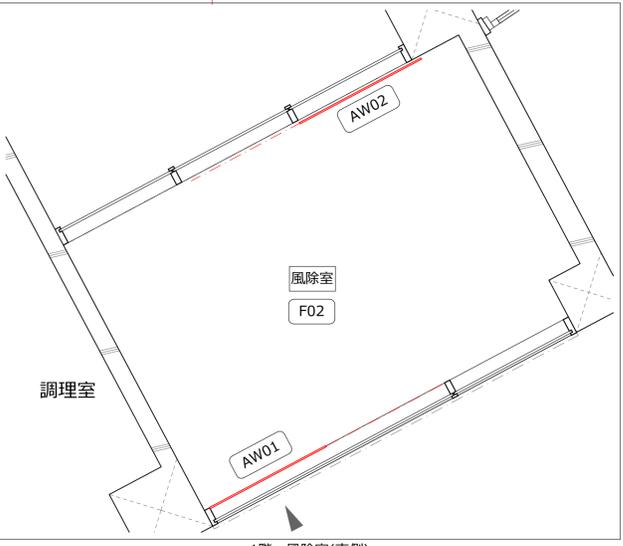
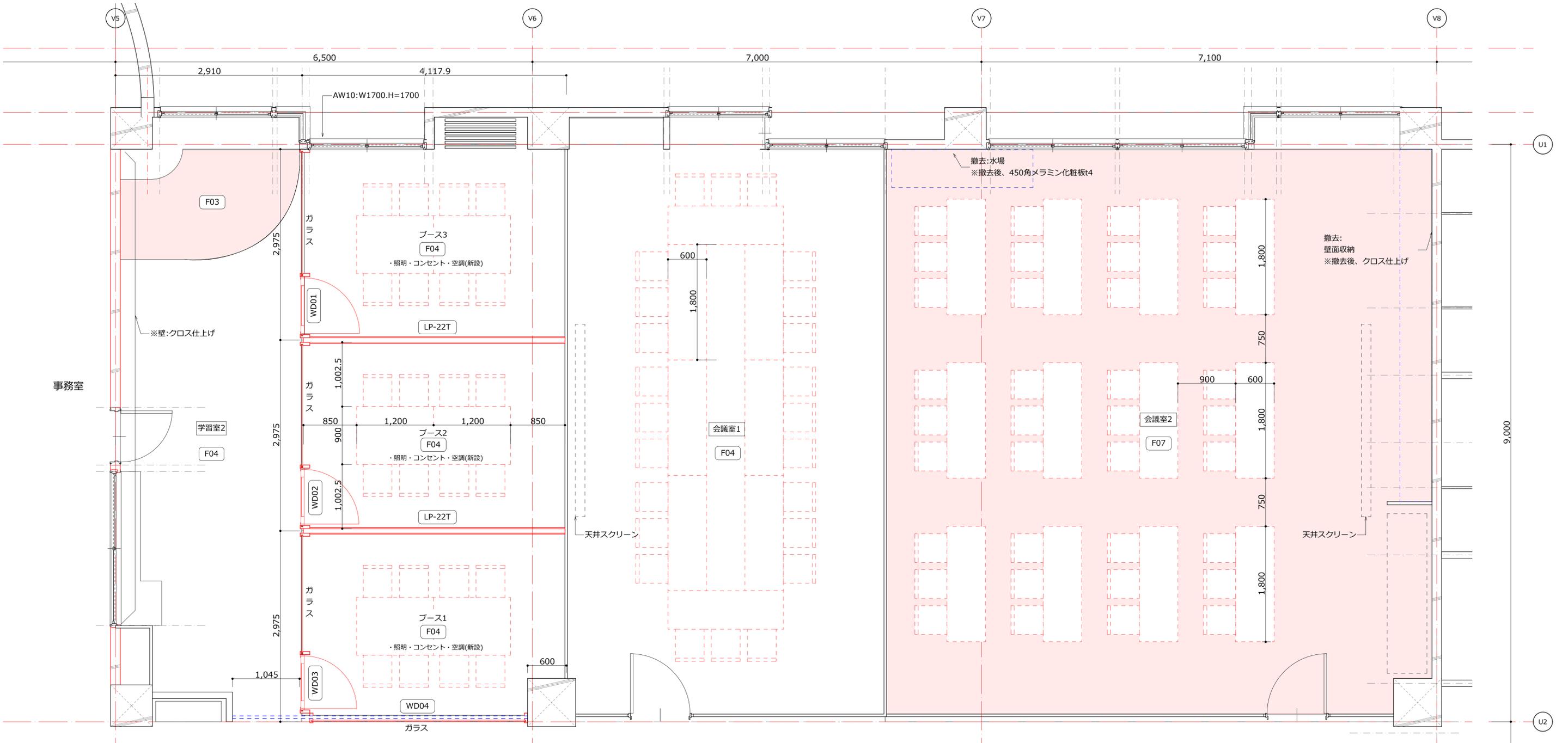
■塗装凡例			
OS	オイルフィニッシュ	EP-G	つや有合成樹脂エポキシ樹脂
OC	オイルフィニッシュ	EP-M	多彩模様塗料
SOP	合成樹脂調合ペイント	EP-T	合成樹脂エポキシ樹脂塗料
FE	フッ素樹脂塗料	NAD	アクリル樹脂系非水分散形塗料
UE	ウレタン樹脂塗料	EXP	エポキシ樹脂塗料
UC	ウレタン樹脂塗料	TEXP	エポキシ樹脂塗料
LE	珪酸エポキシ樹脂塗料	GP	塩化エポキシ樹脂塗料
CL	クリアコート	ASE	アクリル樹脂塗料
VE	塩化エポキシ樹脂塗料	ASC	アクリル樹脂塗料
AE	アクリル樹脂塗料	FUE	常温乾燥形ウレタン樹脂塗料
AC	アクリル樹脂塗料	FUC	常温乾燥形ウレタン樹脂塗料
EP	合成樹脂エポキシ樹脂	WP	無公害木材保護着色塗料

■特記事項	
・各凡例、一覧表に記載の符号等は、本表以外の設計図にも適用する。	
・「緑化」発散建築材料は、特記なき限りF☆☆☆☆仕様とする。	
・「ビニルクロス」は特記なき限り準不燃仕様とする。	
・水ががりの恐れのある部分に使用する石膏ボードは、耐水タイプとする。	
・火気使用室は無し	

■認定番号一覧表(不燃)類略号一覧表										
GB-R9.5	石膏ボードt=9.5	QM-9828	GB-F	強化石膏ボードt=12.5,15,21	NM-8615	GW	ガラス繊維強化石膏板	NM-8605	吹付けロックウールt=10以上	NM-8601
GB-R12.5	石膏ボードt=12.5	NM-8619	GB-H	硬質石膏ボードt=9.5,12.5,15	NM-9645	GW-D	ガラス繊維強化石膏板	NM-8606	不燃化粧板	NM-2439
GB-R15	石膏ボードt=15	NM-8612	GB-P	吸音用穴あき石膏ボードt=9.5	QM-9827				ガラス繊維強化石膏板	NM-8606
GB-D9.5	化粧石膏ボードt=9.5	QM-9824	SGB8	スチール石膏ボードt=8	NM-8315				有孔繊維強化石膏板	NM-9028
GB-D12.5	化粧石膏ボードt=12.5	NM-8614	DR	防炎化粧石膏ボードt=9~19	NM-8599				突板塗装不燃化粧板	NM-1739
GB-NC9.5	不燃石膏ボードt=9.5	NM-8613	FK	けい酸化粧石膏ボードt=6,8	NM-8578				ビニルクロス	QM-9411
GB-D(不)	不燃化粧石膏ボードt=9.5	NM-1864	FK-D	化粧けい酸化粧石膏ボードt=6	NM-8577				不燃化粧石膏ボードt=12	NM-9904
GB-D(W)	化粧石膏ボード(木目)t=9.5	QM-9824	FK-H5	硬質化粧石膏ボードt=5	NM-8577					QM-0527
GB-S	シーリング石膏ボードt=9.5,12.5	QM-9826	F	ルネックス石膏ボード	NM-8576					
GB-S(不)	不燃シーリング石膏ボードt=12.5	NM-9639	WB15	木毛化粧石膏ボードt=15	建告1401					

■略号凡例			
FL	床仕上面の基準レベル	AL	アルミ
SL	FLからの高さの基準レベル	SUS	ステンレス
CH	天井高	LGS	軽量鉄骨
t	材厚	V	塩化ビニル
RC	コンクリート	CB	コンクリートブロック
LC	軽量コンクリート	TB	テラゾーブロック
MT	珪藻土	ALC	ALCパネル
S	石膏	ECP	押出成形石膏板
W	木	PC	プレキャストコンクリート

Project Title 令和7年度成田公民館図書室等改修工事	Architect ナスカ+はりゅうウツスタジオ設計共同体 Engineer 設備: Z O設計室	1級建築士事務所 有限会社ナスカ 東京都知事登録第39348号 東京都新宿区戸山3-15-1日本駐車ビル4階 一級建築士 八木佐千子 第215039号	株式会社はりゅうウツスタジオ 福島県知事登録第16 (007)0239号 福島県南会津郡南会津町針生字烏井戸1186 一級建築士 滑田光 第336277号 一級建築士 滑田崇志 第344323号	Date 2025年7月10日 木曜日 実施設計 Drawn by H.SAITO Checkd by S.YAGI	Name of Drawing 内部仕上表・ALVS検討 scale A1 N.S. A3 Drawing no A-09
-------------------------------------	---	--	--	---	---



仕上げ表床				
要素ID	部位	下地	仕上	
F01	既存	床	-	RCスラブ(既存)
F02	既存	床	RC+モルタル	-
F03	既存	床	鋼製床組・RC(既存)	構造用合板t12(既存)
F04	既存	床	鋼製床組・RC(既存)	構造用合板t12(既存)
F05	既存	床	-	RCスラブ(既存)
F06	新規	床	人工土壌(既存)	再生クラッシュラン(RC-40)t=150
F07	新規	床	鋼製床組・RC(既存)	複合フロアt15, 構造用合板t12(既存)

LP-22T	LPG-31.5T	W-150
遮音壁TLD44 (両面張)	遮音壁TLD61 (両面張)	縦口壁
LGS65形(千鳥) 遮音ボード t=9.5 GB-F t=12.5 9.5 12.5 12.5 9.5	LGS90形(千鳥) 遮音ボード t=9.5 GB-F t=21 9.5 11 21 9.5	M12 全ネジボルト 構造用合板 L=260 150x150 150
ボード、下地: 床~天井	ボード、下地: スラブ~スラブ	ボード、下地: スラブ~天井

凡例・備考

赤線: 新設
青線: 解体・移設
黒点線: 既存

01 展開方向

02

03

04

ボードを示す部分の凡例

●: ボード種別
○: 仕上厚(2重張り時はトータル厚)
■: 薄塗補修
▲: ボード範囲
△: 両面張り・スラブまで
□: 片面張り・天井まで
◇: 片面張り・天井まで

壁符号凡例

○: 下地種別
□: LGS配置方法
△: 遮音材・断熱材種別
◇: 遮音材・断熱材種別
○: 仕上厚・増張り(天井まで)
□: 一般配置
△: 遮音材・断熱材種別
◇: 遮音材・断熱材種別

下地を示す部分の凡例

○: 下地種別
□: LGS配置方法
△: 遮音材・断熱材種別
◇: 遮音材・断熱材種別

仕上げ・増張りを示す部分の凡例

○: 仕上厚・増張り(天井まで)
□: 一般配置
△: 遮音材・断熱材種別
◇: 遮音材・断熱材種別

Project Title
令和7年度成田公民館図書室等改修工事

Architect
ナスカ+はりゅうウッドスタジオ設計共同体
Engineer 設備: Z O設計室

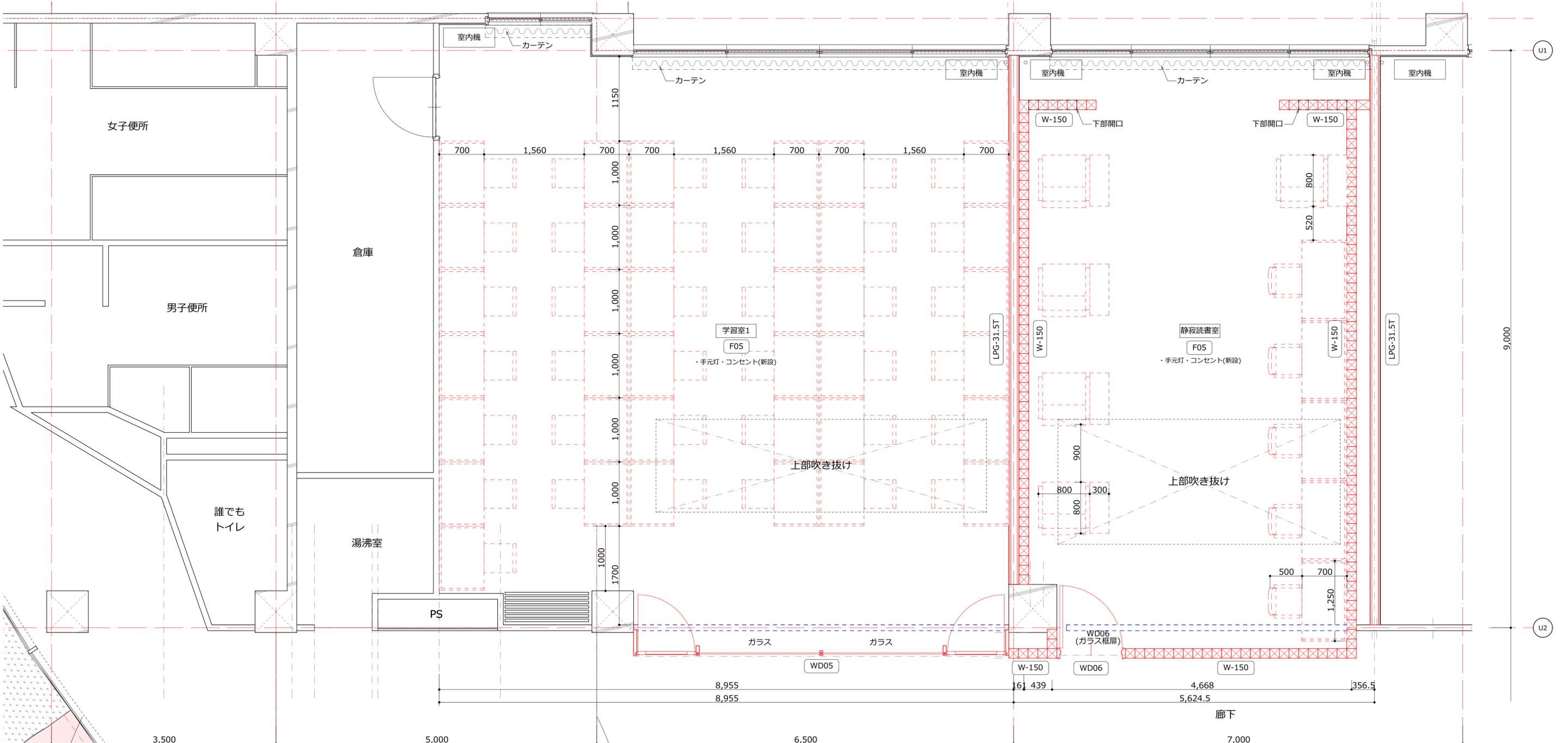
1級建築士事務所 有限会社ナスカ
東京都知事登録第39348号
東京都新宿区戸山3-15-1日本駐車ビル4階
一級建築士 八木佐千子 第215039号

株式会社はりゅうウッドスタジオ
福島県知事登録第16 (007)0239号
福島県南会津郡南会津町針生字鳥井戸1186
一級建築士 滑田光 第336277号 一級建築士 滑田崇志 第344323号

Date 2025年7月10日 木曜日
実施設計
Drawn by H.SAITO
Checked by S.YAGI

Name of Drawing
1階平面詳細図

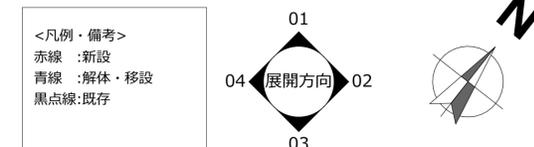
scale
A1 1:30,
A3 1:60
Drawing no
A-10



要素ID	部位	下地	仕上
F01	既存	床	RCスラブ(既存)
F02	既存	床	RC+モルタル
F03	既存	床	鋼製床組・RC(既存)
F04	既存	床	鋼製床組・RC(既存)
F05	既存	床	RCスラブ(既存)
F06	新規	床	人工土壌(既存)
F07	新規	床	鋼製床組・RC(既存)

LP-22T	LPG-31.5T	W-150
遮音壁TLD44 (両面張)	遮音壁TLD61 (両面張)	縦口壁
LGS65形(千鳥) 遮音ボード t=9.5 GB-F t=12.5 9.5 12.5 12.5 9.5	LGS90形(千鳥) 遮音ボード t=9.5 GB-F t=21 9.5 11 21 9.5	M12 全ネジボルト 構造用ビス L=260 ログ(ナール(杉)) 150*150 150
ボード、下地:床~天井	ボード、下地:スラブ~スラブ	ボード、下地:スラブ~天井

ボード種別	仕上厚(2重張りはトータル厚)	ボード範囲	下地種別	仕上厚	ボード範囲	下地範囲	下地種別	仕上・増張り
●:GB-R	●:仕上厚(2重張り)	▲:ボード範囲	○:LGS	○:仕上厚	▲:ボード範囲	○:LGS	○:仕上厚	○:仕上厚
○:GB-F	○:薄塗補修	■:両面張り・スラブまで	□:LGS	□:仕上厚	■:両面張り・スラブまで	□:LGS	□:仕上厚	□:仕上厚
△:GB-R-H	△:6:けい酸カルシウム板 t=6	S:片面張り・天井まで	△:LGS	△:仕上厚	S:片面張り・天井まで	△:LGS	△:仕上厚	△:仕上厚
◇:GB-S	◇:8:けい酸カルシウム板 t=8	T:両面張り・天井まで	◇:LGS	◇:仕上厚	T:両面張り・天井まで	◇:LGS	◇:仕上厚	◇:仕上厚
■:GB-S	■:9:せっこうボード t=9.5	ST:片面張り・天井まで	■:LGS	■:仕上厚	ST:片面張り・天井まで	■:LGS	■:仕上厚	■:仕上厚
■:GB-NC	■:12:せっこうボード t=12.5	●:下地範囲	●:LGS	●:仕上厚	●:下地範囲	●:LGS	●:仕上厚	●:仕上厚
■:GB-N	■:15:せっこうボード t=15	▲:下地範囲と同じ	▲:LGS	▲:仕上厚	▲:下地範囲と同じ	▲:LGS	▲:仕上厚	▲:仕上厚
■:GB-K	■:21:せっこうボード t=21	A:下地のみスラブまで	■:LGS	■:仕上厚	A:下地のみスラブまで	■:LGS	■:仕上厚	■:仕上厚
■:GB-P	■:22:せっこうボード t=22		○:LGS	○:仕上厚		○:LGS	○:仕上厚	○:仕上厚
■:GB-P	■:21:せっこうボード t=21		○:LGS	○:仕上厚		○:LGS	○:仕上厚	○:仕上厚
■:GB-P	■:15:せっこうボード t=15		○:LGS	○:仕上厚		○:LGS	○:仕上厚	○:仕上厚
■:GB-P	■:9:せっこうボード t=9.5		○:LGS	○:仕上厚		○:LGS	○:仕上厚	○:仕上厚
■:GB-P	■:+せっこうボード t=12.5		○:LGS	○:仕上厚		○:LGS	○:仕上厚	○:仕上厚



Project Title
 令和7年度成田公民館図書室等改修工事

Architect
 ナスカ+はりゅうウッドスタジオ設計共同体
 Engineer 設備: Z O設計室

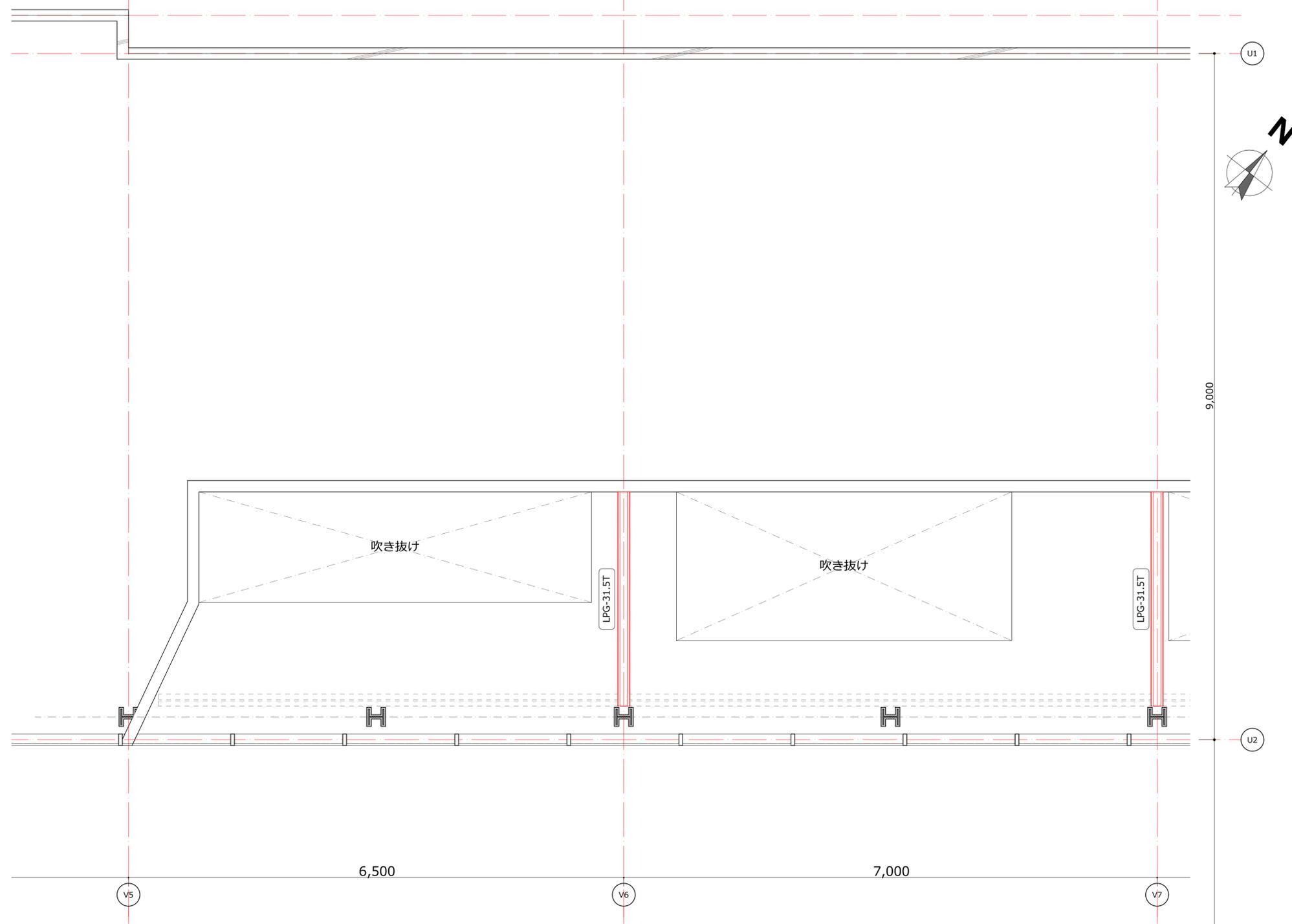
1級建築士事務所 有限会社ナスカ
 東京都知事登録第39348号
 東京都新宿区戸山3-15-1日本駐車ビル4階
 一級建築士 八木佐千子 第215039号

株式会社はりゅうウッドスタジオ
 福島県知事登録第16 (007)0239号
 福島県南会津郡南会津町針生字鳥井戸1186
 一級建築士 滑田光 第336277号 一級建築士 滑田崇志 第344323号

Date 2025年7月10日 木曜日
 実施設計
 Drawn by H.SAITO
 Check by S.YAGI

Name of Drawing
 2階平面詳細図

scale
 A1 1:30,
 A3 1:60
 Drawing no
 A-11

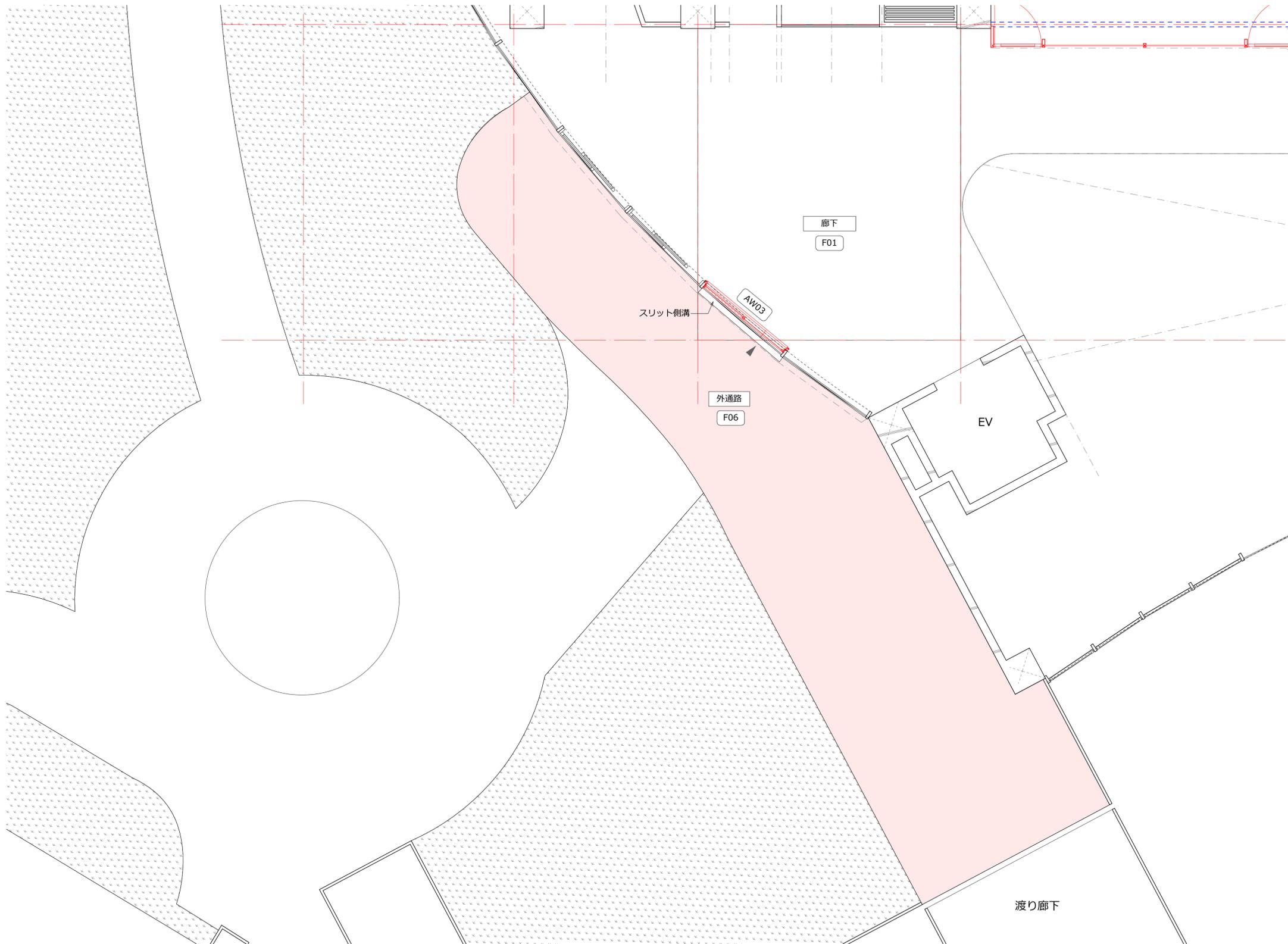


仕上げ表床				
要素ID	部位	下地	仕上	
F01	既存	床	-	RCスラブ(既存)
F02	既存	床	RC+モルタル	-
F03	既存	床	鋼製床組・RC(既存)	構造用合板t12(既存)
F04	既存	床	鋼製床組・RC(既存)	構造用合板t12(既存)
F05	既存	床	-	RCスラブ(既存)
F06	新規	床	人工土壌(既存)	再生クラッシャーラン(RC-40)t=150
F07	新規	床	鋼製床組・RC(既存)	複合フロアt15, 構造用合板t12(既存)

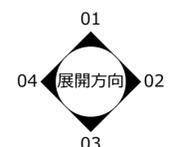
<凡例・備考>
 赤線 : 新設
 青線 : 解体・移設
 黒点線: 既存



LP-22T	LPG-31.5T	W-150	ボードを示す部分の凡例		壁符号凡例	下地を示す部分の凡例		仕上げ・増張りを示す部分の凡例	
遮音壁TLD44 (両面張) LGS65形(千鳥) 遮音ボード t=9.5 GB-F t=12.5 9.5 12.5 12.5 9.5 119	遮音壁TLD61 (両面張) LGS90形(千鳥) 遮音ボード t=9.5 GB-F t=21 9.5 21 21.5 161	縦口壁 M12 全ネジボルト 構造ビス L=260 ログパネル(杉) 150*150 150	●ボード種別 無:GB-R せつころボード F:GB-F 強化せつころボード H:GB-R-H 硬質せつころボード S:GB-S シーリングせつころボード N:GB-NC 不燃構造せつころボード K:けい酸カルシウム板 P:合板	■仕上厚(2重張りとはトータル厚) 0:素地 5:薄塗補修 6:けい酸カルシウム板 t=6 8:けい酸カルシウム板 t=8 9:せつころボード t=9.5 12:せつころボード t=12.5 15:せつころボード t=15 21:せつころボード t=21 22:せつころボード t=9.5 +せつころボード t=12.5	▲ボード範囲 無:両面張り・スラブまで S:片面張り・スラブまで T:両面張り・天井まで ST:片面張り・天井まで	◆下地範囲 無:ボード範囲と同じ A:下地のみスラブまで	○下地種別 L:LGS R:RC S:鉄骨 W:木軸 A:ALC E:ECF P:FRP間柱 AL:アルミパネル T:LGS (オクジューP125TW程度) O:無し	△遮音材・断熱材種別 無:無し G:グラスウール 16K100mm充填 R:ロックウール 80kg/m3充填 U:ウレタンフォーム吹付	◎仕上げ・増張り(天井まで) 無:塗装・クロス(厚み無し) +T:タイル +K:けい酸カルシウム板 t=6 +D:化粧けい酸カルシウム板 t=6 +N:練付化粧合板 t=6 +C:カラーガラス t=5 +G:グラスウール 32kg/m3 カラスクロス押え t=50 +I:石 t=30 +H:硬質塩ビタックシート
ボード、下地:床~天井	ボード、下地:スラブ~スラブ	ボード、下地:スラブ~天井							



<凡例・備考>
 赤線 :新設
 青線 :解体・移設
 黒点線:既存



仕上げ表_床				
要素ID	部位	下地	仕上	
F01	既存	床	-	RCスラブ(既存)
F02	既存	床	RC+モルタル	-
F03	既存	床	鋼製床組・RC(既存)	構造用合板t12(既存)
F04	既存	床	鋼製床組・RC(既存)	構造用合板t12(既存)
F05	既存	床	-	RCスラブ(既存)
F06	新規	床	人工土壌(既存)	再生クラッシャーラン(RC-40)t=150
F07	新規	床	鋼製床組・RC(既存)	複合フロアt15,構造用合板t12(既存)

LP-22T	LPG-31.5T	W-150
遮音壁TLD44 (両面張)	遮音壁TLD61 (両面張)	縦口壁
ボード、下地：床～天井	ボード、下地：スラブ～スラブ	ボード、下地：スラブ～天井

ボードを示す部分の凡例	
●ボード種別 無:GB-R せつころボード F:GB-F 強化せつころボード H:GB-R-H 硬質せつころボード S:GB-S ショーキングせつころボード N:GB-NC 不燃構造せつころボード K:けい酸カルシウム板 P:合板	■仕上厚(2重張りはトータル厚) 0:素地 5:薄塗補修 6:けい酸カルシウム板 t=6 8:けい酸カルシウム板 t=8 9:せつころボード t=9.5 12:せつころボード t=12.5 15:せつころボード t=15 21:せつころボード t=21 22:せつころボード t=9.5 +せつころボード t=12.5

壁符号凡例	
遮音材・断熱材種別 下地種別	ボード種別 下地範囲

下地を示す部分の凡例	
○下地種別 L:LGS R:RC S:鉄骨 W:木軸 A:ALC E:ECF P:FRP間柱 AL:アルミパネル T:LGS (オクジュ- P125TW程度) O:無し	△遮音材・断熱材種別 無:無し G:グラスウール 16K100mm充填 R:ロックウール 80kg/m3充填 U:ウレタンフォーム吹付

仕上げ・増張りを示す部分の凡例	
◎仕上げ・増張り(天井まで) 無:塗装・クロス(厚み無し) +T:タイル +K:けい酸カルシウム板 t=6 +N:練付(化粧)合板 t=6 +C:カラーガラス t=5 +G:グラスウール 32kg/m3 ガラスクロス押え t=50 +I:石 t=30 +H:硬質塩ビタックシート	

Project Title
 令和7年度成田公民館図書室等改修工事

Architect
 ナスカ+はりゅうウッドスタジオ設計共同体
 Engineer 設備: Z O設計室

1級建築士事務所 有限会社ナスカ
 東京都知事登録第39348号
 東京都新宿区戸山3-15-1日本駐車場ビル4階
 一級建築士 八木佐千子 第215039号

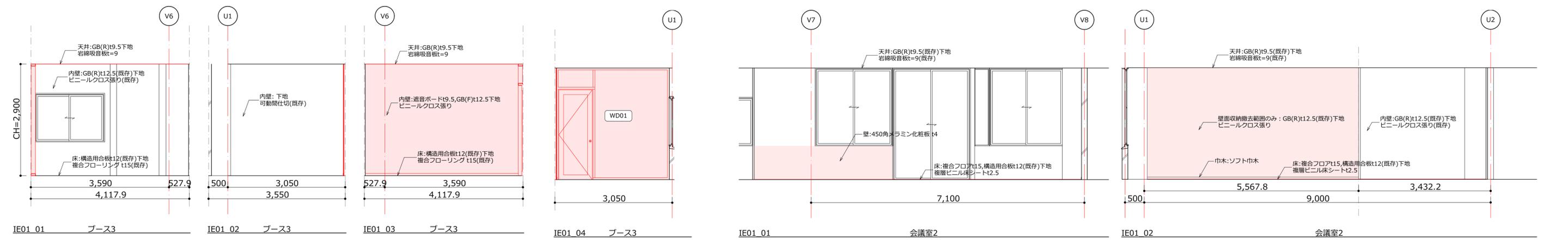
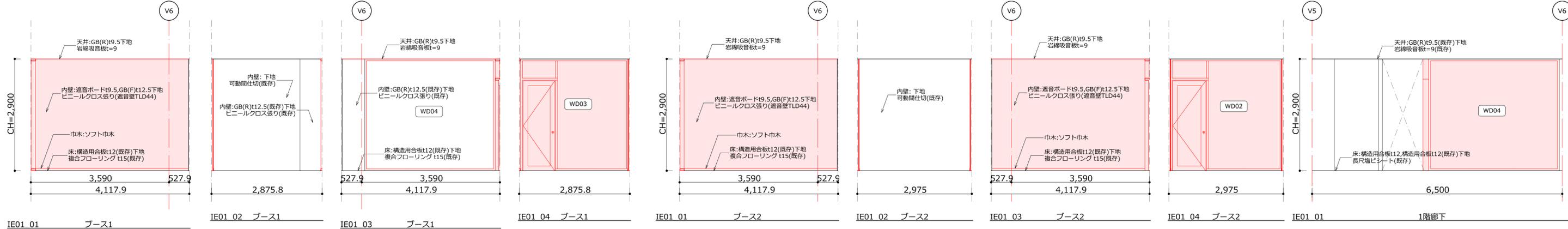
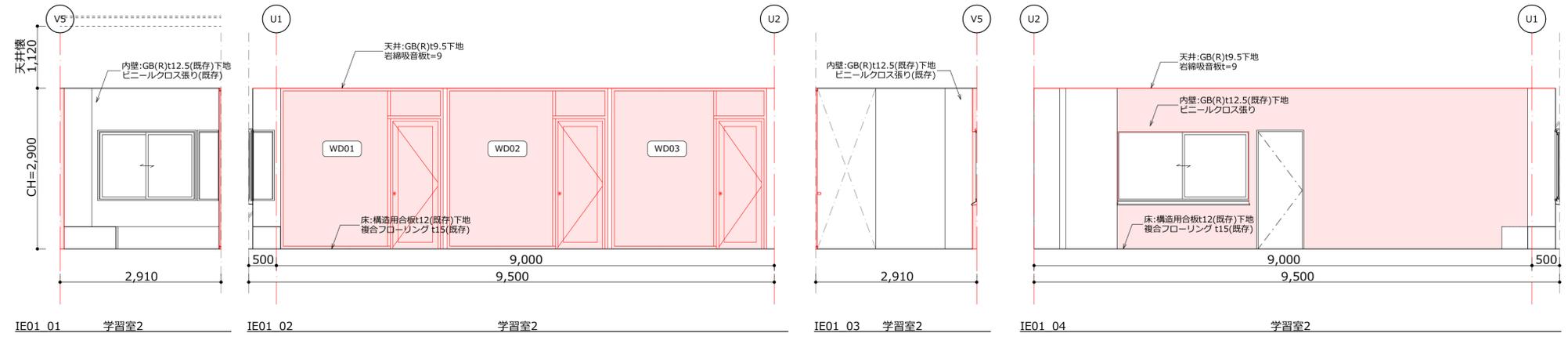
株式会社はりゅうウッドスタジオ
 福島県知事登録第16 (007)0239号
 福島県南会津郡南会津町針生字鳥井戸1186
 一級建築士 滑田光 第336277号 一級建築士 滑田崇志 第344323号

Date 2025年7月10日 木曜日
 実施設計
 Drawn by H.SAITO
 Checkd by S.YAGI

Name of Drawing
 屋上庭園平面詳細図

scale
 A1 1:30,
 A3 1:60
 1:1
 Drawing no
 A-13

室名	学習室2	ブース	
天井高さ	2900	2900	
室区分	居室	居室	
FL	±0	±0	
SL			
床	下地(1)	鋼製床組・RC(既存)	鋼製床組・RC(既存)
	下地(2)	構造用合板t12(既存)	構造用合板t12(既存)
巾木	仕上	タイルカーベット t6.5	複合フローリング t15(既存)
	材質	複合フローリング t15(既存)	ソフト巾木
壁	下地(1)	RC(既存)	LGS
	下地(2)	GB(R)t12.5(既存)	遮音ボード
天井	下地(1)	LGS(既存)	LGS(既存)
	下地(2)	GB(R)t9.5	GB(R)t9.5
備考			



Project Title
 令和7年度成田公民館図書室等改修工事

Architect
 ナスカ+はりゅうウッドスタジオ設計共同体
 Engineer 設備: Z O設計室

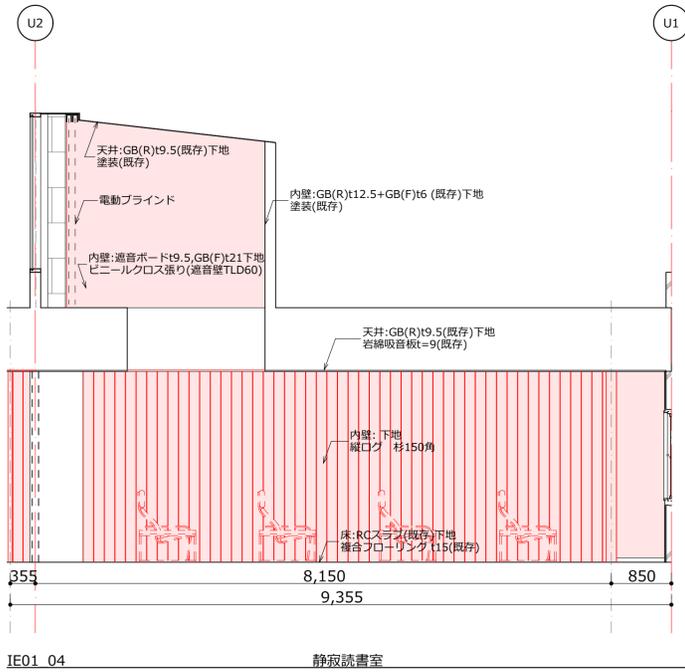
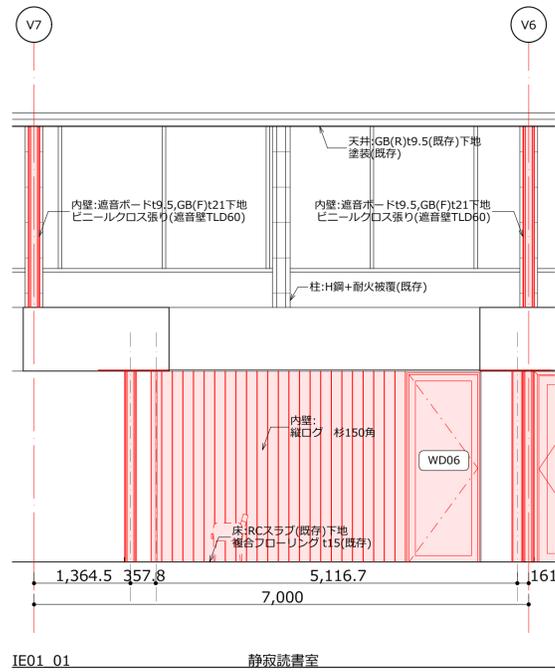
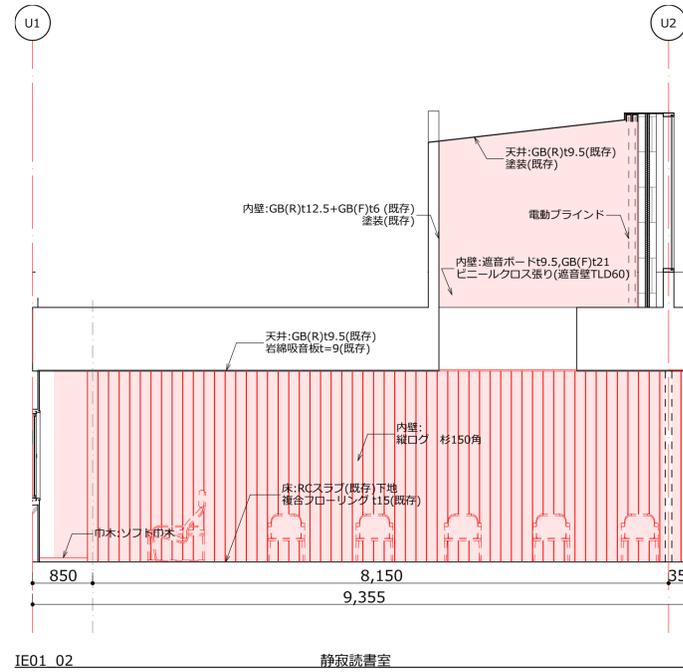
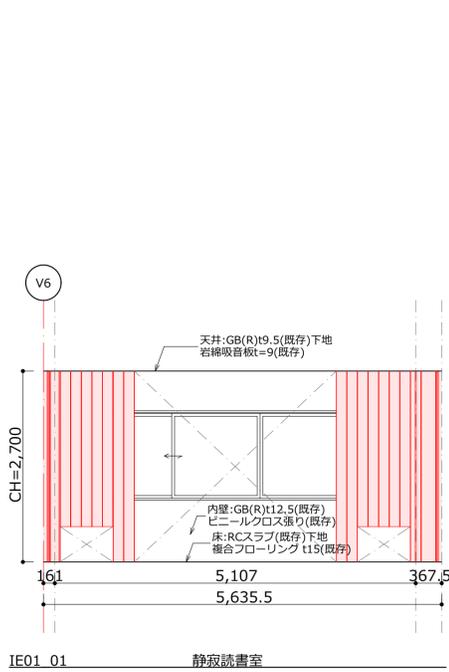
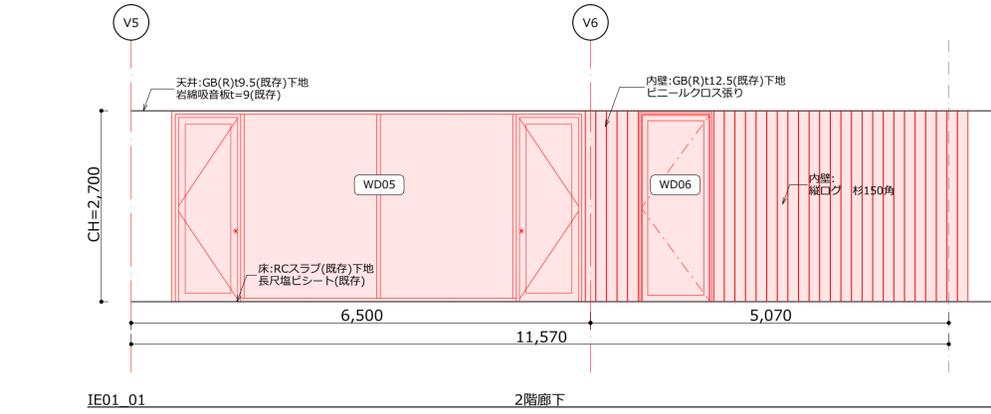
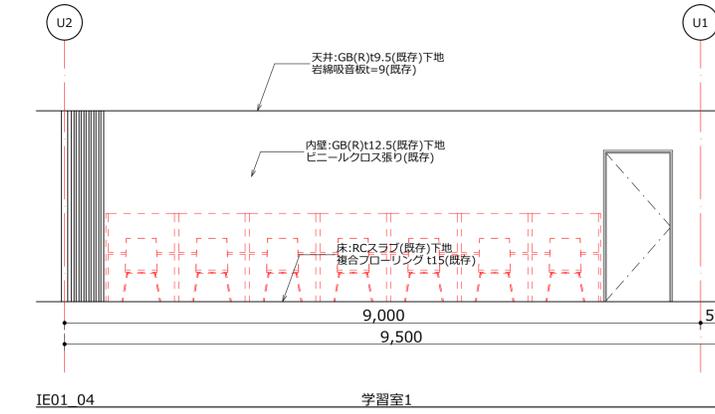
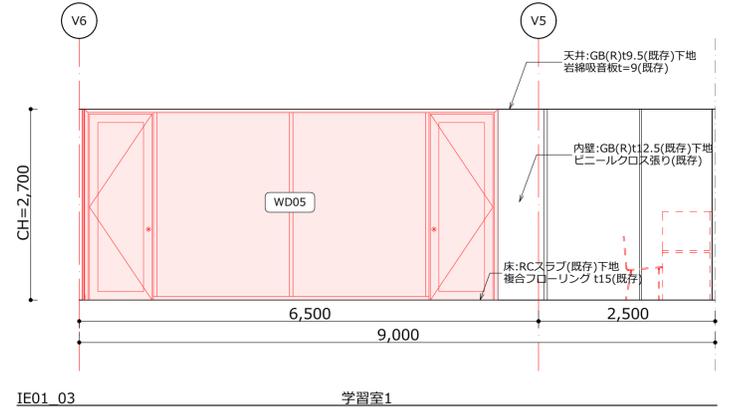
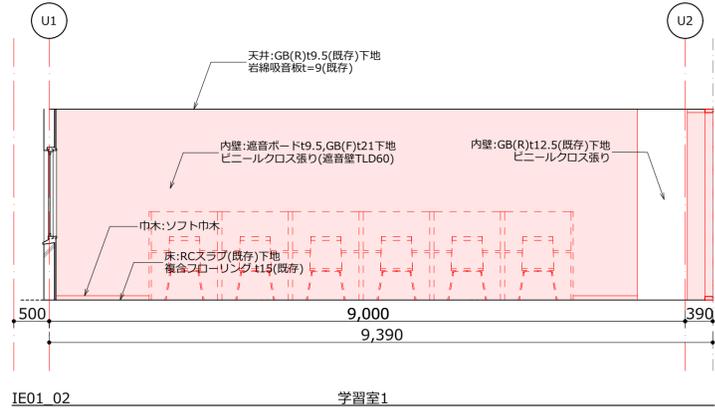
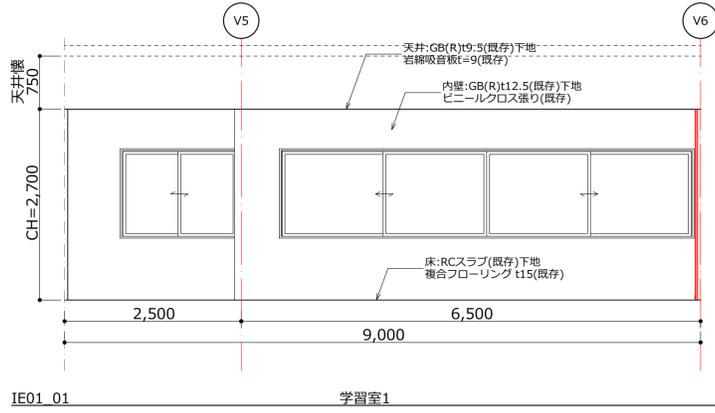
1級建築士事務所 有限会社ナスカ
 東京都知事登録第39348号
 東京都新宿区戸山3-15-1日本駐車ビル4階
 一級建築士 八木佐千子 第215039号

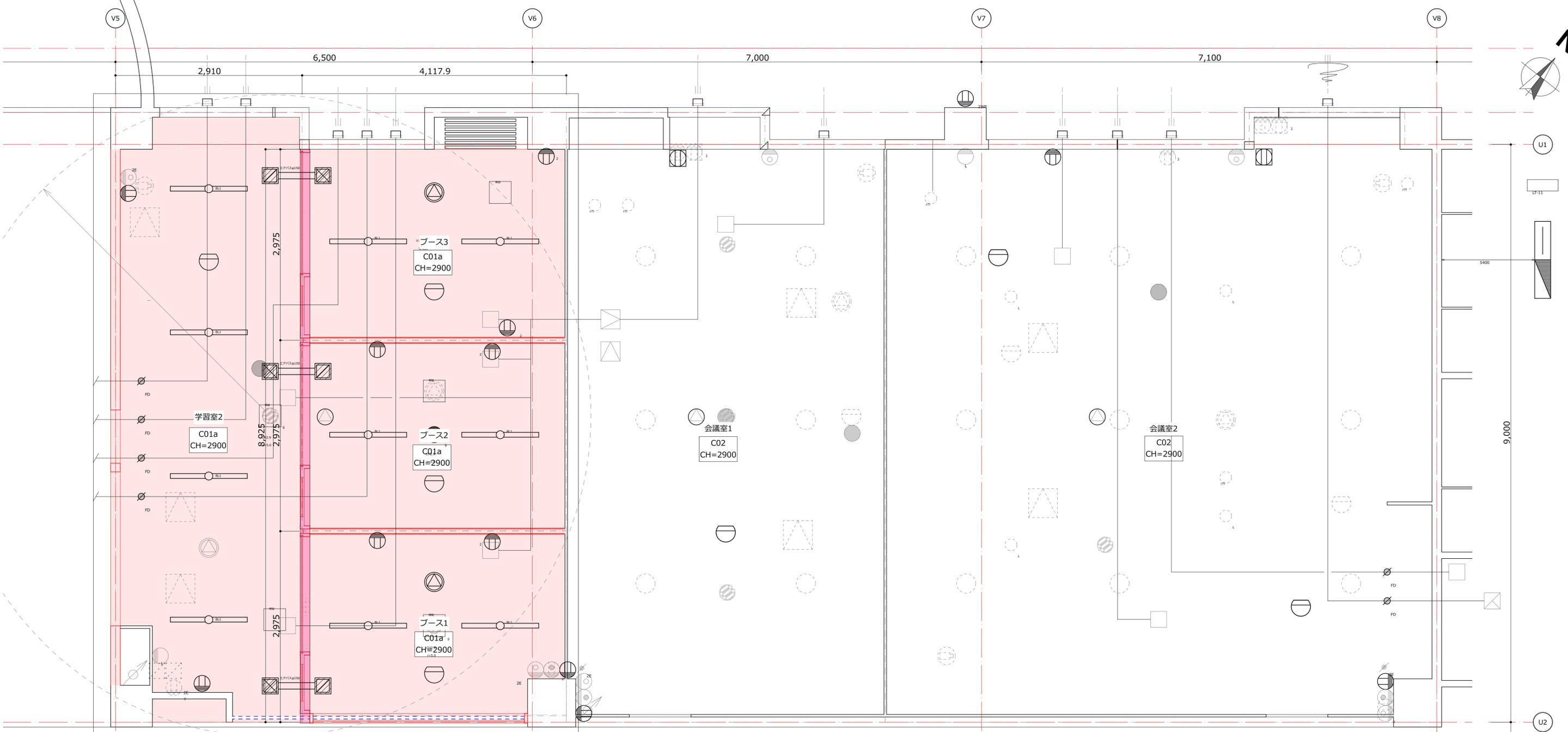
株式会社はりゅうウッドスタジオ
 福島県知事登録第16 (007)0239号
 福島県南会津郡南会津町針生字鳥井戸1186
 一級建築士 滑田光 第336277号 一級建築士 滑田崇志 第344323号

Date 2025年7月10日 木曜日
 実施設計
 Drawn by H.SAITO
 Checkd by S.YAGI

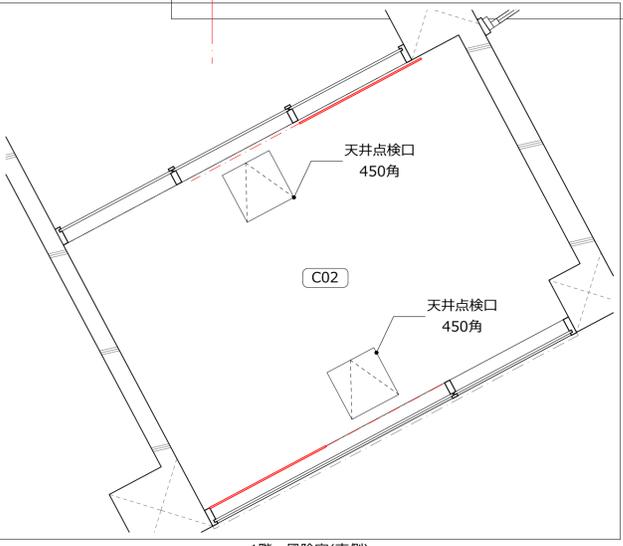
Name of Drawing
 展開図_1
 scale
 A1 1:50
 A3 1:100
 Drawing no
 A-14

室名	学習室1	静寂読書室	
天井高さ	2700	2700	
室区分	居室	居室	
FL	±0	±0	
SL			
床	下地(1)	-	-
	下地(2)	RCスラブ(既存)	RCスラブ(既存)
巾木	仕上	複合フローリング t15(既存)	複合フローリング t15(既存)
	材質	ソフト巾木	ソフト巾木
壁	高さ	60	60
	下地(1)	RC(既存)	LGS,GW16kt100
天井	下地(2)	GB(R)t12.5(既存)	遮音ボード t9.5,GB(F)t21
	仕上	ビニルクロス張り(既存)	縦口150角 ビニルクロス張り
備考	下地(1)	LGS(既存)	LGS,LGS(既存)
	下地(2)	GB(R)t9.5(既存)	GB(R)t9.5 GB(R)t9.5(既存)
仕上	岩綿吸音板t=9(既存)	岩綿吸音板t=9 岩綿吸音板t=9(既存)	





1階天井伏図



1階 風除室(南側)

<凡例・備考>
 赤線 :新設
 青線 :解体・移設
 黒点線:既存

:天井下地は下記の仕様とする。
 C型鋼 100×50×20 t=2.3
 吊筋 W=3/8@800(振止@1600)
 既存のRCスラブに取り付け

仕上表_天井				
No	リノベーション ステータス	部位	下地	仕上
C01a	新規	天井	LGS(既存)	GB(R)t9.5 岩綿吸音板t=9
C01b	新規	天井	LGS	GB(R)t9.5 岩綿吸音板t=9
C02	既存	天井	LGS(既存)	GB(R)t9.5(既存) 岩綿吸音板t=9(既存)
C03	既存	天井	LGS(既存)	- 化粧石膏ボードt=9.5(既存)

Project Title
 令和7年度成田公民館図書室等改修工事

Architect
 ナスカ+はりゅうウッドスタジオ設計共同体
 Engineer 設備: Z O設計室

1級建築士事務所 有限会社ナスカ
 東京都知事登録第39348号
 東京都新宿区戸山3-15-1日本駐車ビル4階
 一級建築士 八木佐千子 第215039号

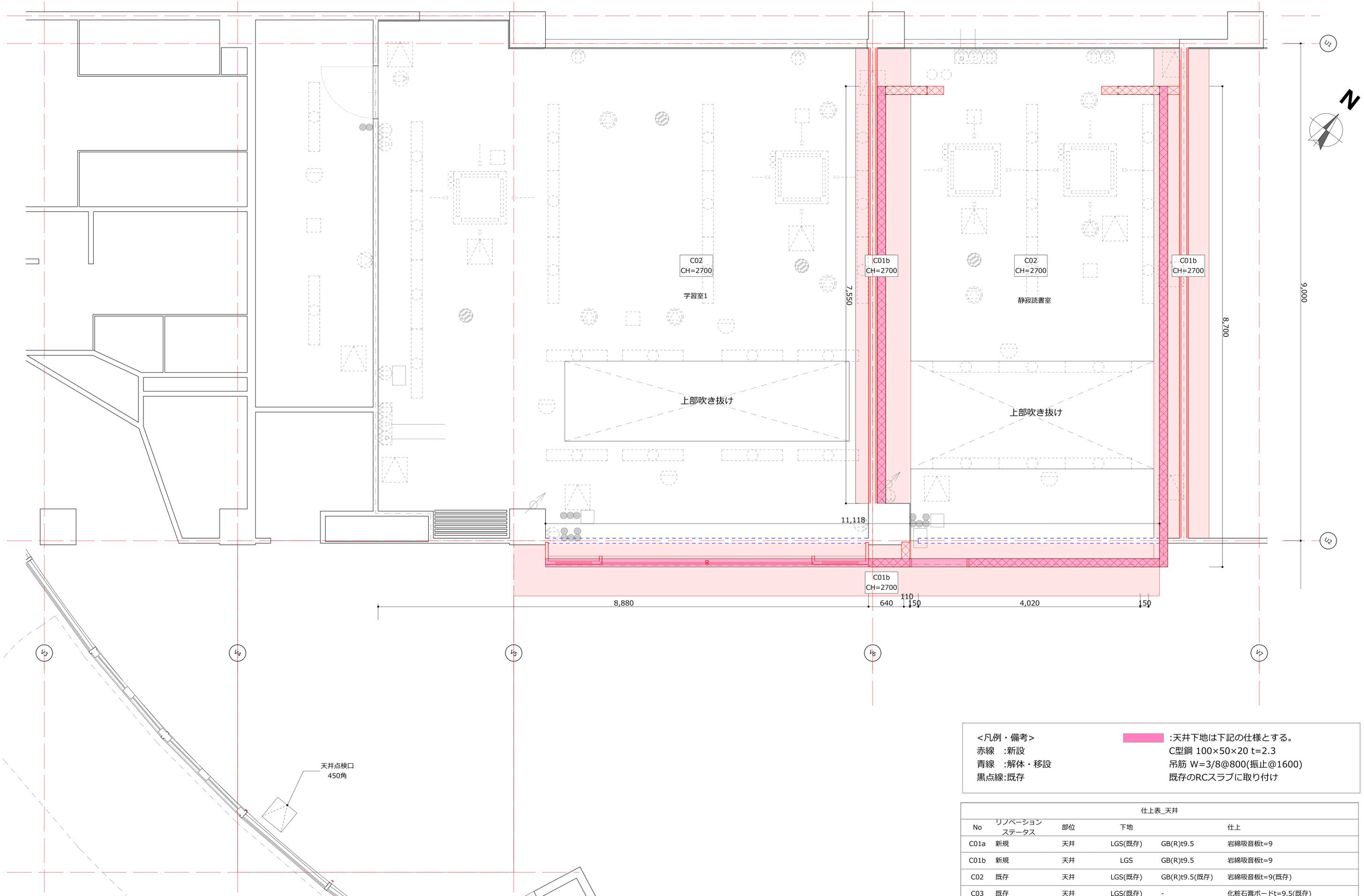
株式会社はりゅうウッドスタジオ
 福島県知事登録第16 (007)0239号
 福島県南会津郡南会津町針生字鳥井戸1186
 一級建築士 滑田光 第336277号 一級建築士 滑田崇志 第344323号

Date 2025年7月10日 木曜日
 実施設計
 Drawn by H.SAITO
 Checkd by S.YAGI

Name of Drawing
 1階天井伏図

scale
 A1 1:30
 A3 1:60

Drawing no
 A-16



天井点検口
450角

<凡例・備考>
 赤線 : 新設
 青線 : 解体・移設
 黒点線: 既存

■ : 天井下地は下記の仕様とする。
 C型鋼 100×50×20 t=2.3
 吊筋 W=3/8@800(振止@1600)
 既存のRCスラブに取り付け

仕上表_天井					
No	リノベーション ステータス	部位	下地	仕上	
C01a	新規	天井	LGS(既存)	GB(R)t9.5	岩綿吸音板t=9
C01b	新規	天井	LGS	GB(R)t9.5	岩綿吸音板t=9
C02	既存	天井	LGS(既存)	GB(R)t9.5(既存)	岩綿吸音板t=9(既存)
C03	既存	天井	LGS(既存)	-	化粧石膏ボードt=9.5(既存)

Project Title
 令和7年度成田公民館図書室等改修工事

Architect
 ナスカ+はりゅうウッドスタジオ設計共同体
 Engineer 設備: Z O設計室

1級建築士事務所 有限会社ナスカ
 東京都知事登録第39348号
 東京都新宿区戸山3-15-1日本駐車ビル4階
 一級建築士 八木佐千子 第215039号

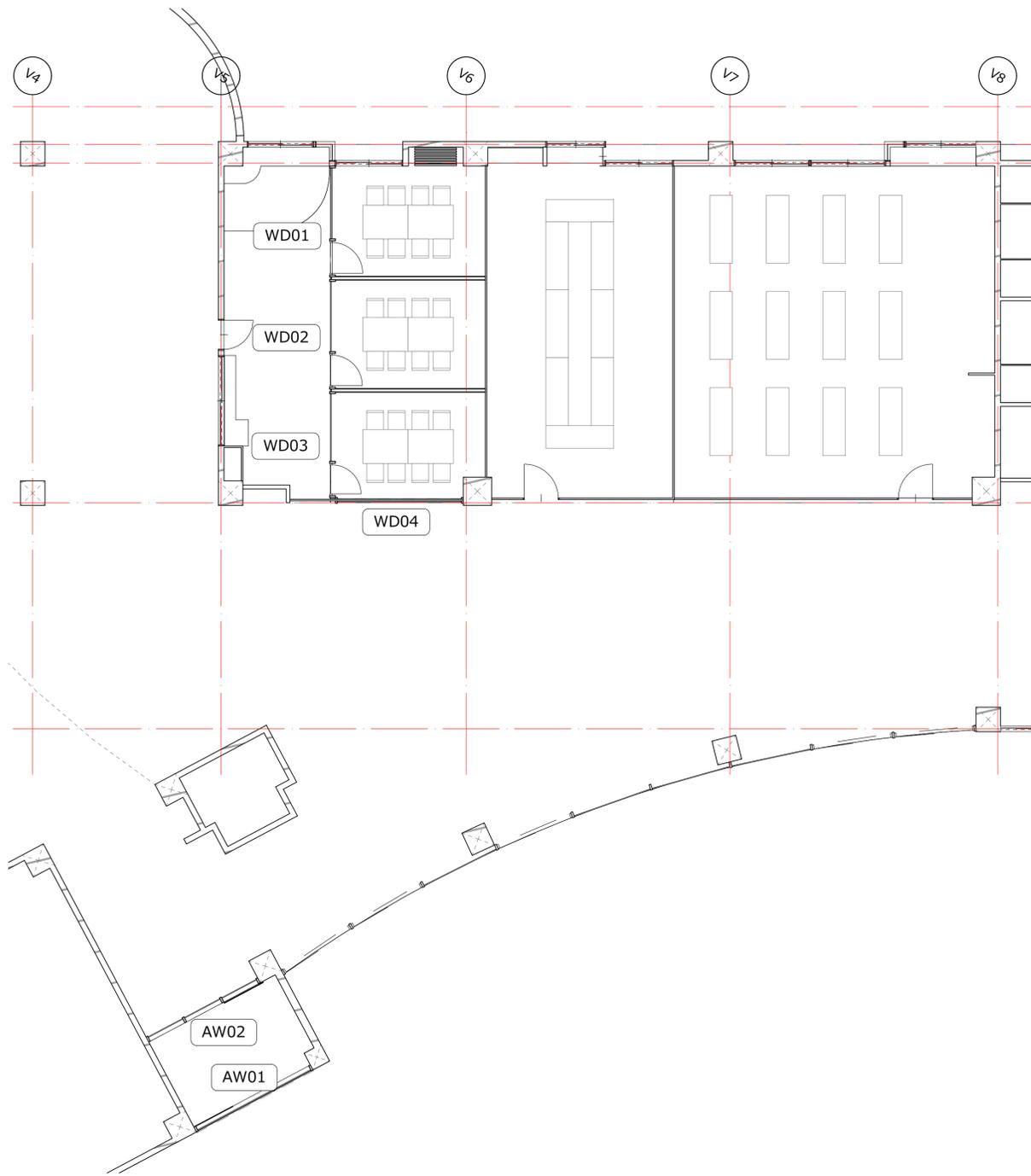
株式会社はりゅうウッドスタジオ
 福島県知事登録第16 (007)0239号
 福島県南会津郡南会津町針生字烏井戸1186
 一級建築士 滑田光 第336277号 一級建築士 滑田崇志 第344323号

Date 2025年7月10日 木曜日
 実施設計
 Drawn by H.SAITO
 Checkd by S.YAGI

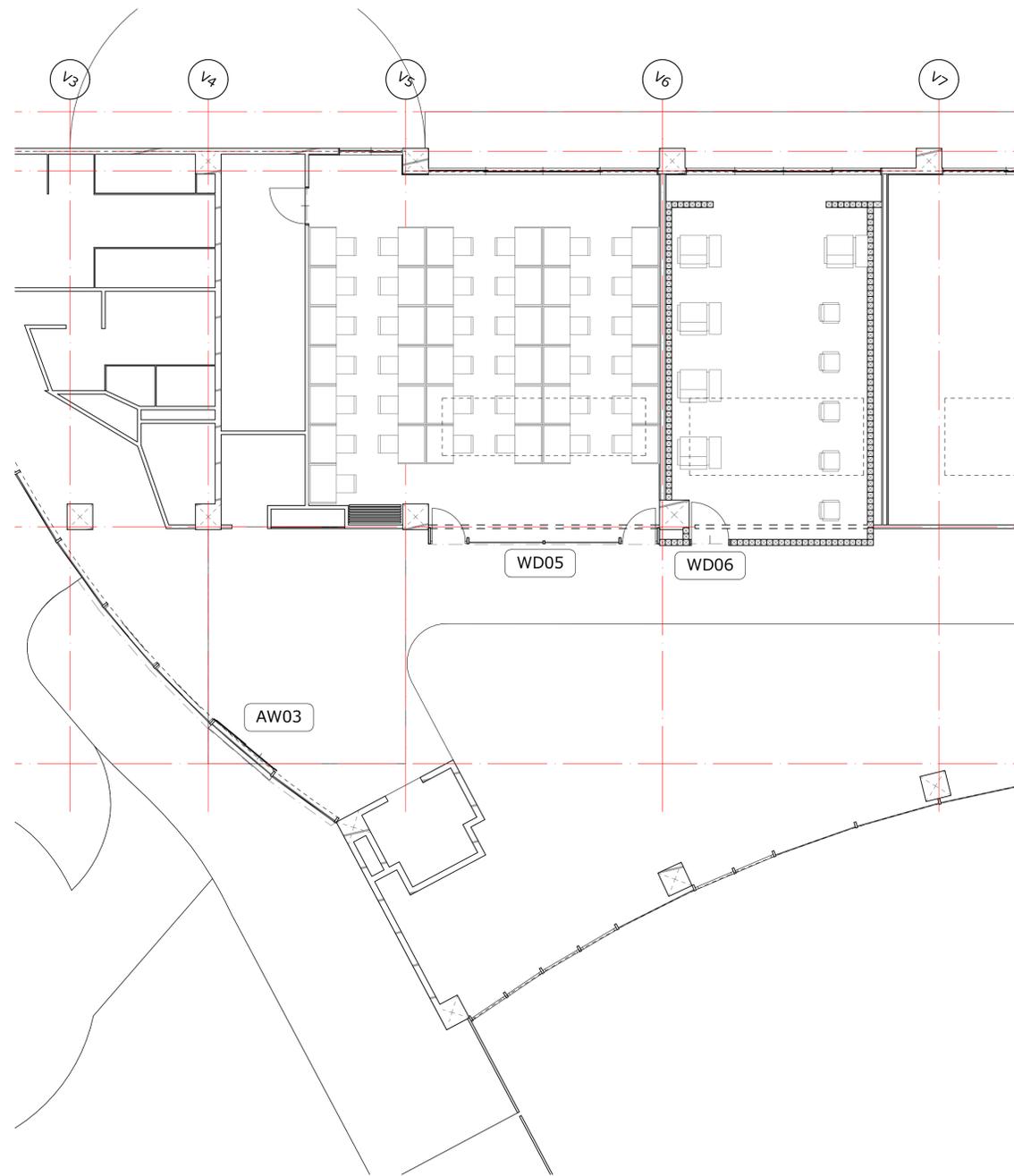
Name of Drawing
 2階天井伏図

scale
 A1 1:30
 A3 1:60

Drawing no
 A-17



1階建具キープラン



2階建具キープラン

Project Title
令和7年度成田公民館図書室等改修工事

Architect
ナスカ+はりゅうウッドスタジオ設計共同体
Engineer 設備: Z O設計室

1級建築士事務所 有限会社ナスカ
東京都知事登録第39348号
東京都新宿区戸山3-15-1日本駐車ビル4階
一級建築士 八木佐千子 第215039号

株式会社はりゅうウッドスタジオ
福島県知事登録第16 (007)0239号
福島県南会津郡南会津町針生字鳥井戸1186
一級建築士 滑田光 第336277号 一級建築士 滑田崇志 第344323号

Date 2025年7月10日 木曜日
実施設計
Drawn by H.SAITO
Checkd by S.YAGI

Name of Drawing
建具キープラン

scale
A1 1:80
A3 1:160

Drawing no
A-18

ID	AW01	AW02	AW03	WD01	WD02	WD03
数量	1	1	1	1	1	1
室名	風除室 (1)	風除室 (1)	廊下 (1)	学習室2 (1)	学習室2 (1)	学習室2 (1)
形式	FIX; 自動ドア	FIX; 自動ドア	FIX; 自動ドア	片開き; FIX	片開き; FIX	片開き; FIX
法規制	-	-	-	-	-	-
寸法(WxH)	---	---	1,920×1,800	---	---	---
姿図						
基準FLからの高さ	0	0	900	0	0	0
扉	材質・仕上	AL	AL	AL	W-WP	W-WP
	厚さ	21	21	21	40	40
枠	材質・仕上	AL	AL	AL	S-1.6 SOP	S-1.6 SOP
	見込	70	70	70	100	100
ガラス	-	-	PG(FL5+A6+FL5); 飛散防止フィルム	L5	L5	L5
金物	支持・機構	エンジンユニット	エンジンユニット	エンジンユニット	DC; 丁番; 戸当り	DC; 丁番; 戸当り
	ハンドル	-	-	-	レバーハンドル	レバーハンドル
	錠	シリンダー錠	シリンダー錠	シリンダー錠	シリンダー錠	シリンダー錠
備考	※既存の障子を再利用し、エンジンユニットの追加のみを行う。		※既存の障子を再利用し、エンジンユニットの追加のみを行う。	※カバー工法		

ID	WD04	WD05	WD06
数量	1	1	1
室名	学習室2 (1)	学習室1 (1)	静寂読書室 (1)
形式	FIX	片開き; FIX	片開き
法規制	-	-	-
寸法(WxH)	---	---	943×2,635
姿図			
基準FLからの高さ	0	0	0
扉	材質・仕上	-	W-WP
	厚さ	-	40
枠	材質・仕上	S-1.6 SOP	W-WP
	見込	100	450
ガラス	T12	L5	L5
金物	支持・機構	-	DC; 丁番; 戸当り
	ハンドル	-	レバーハンドル
	錠	-	シリンダー錠
備考			

■建具種類凡例	
AD	アルミニウム製戸
SD	鋼製戸
LSD	鋼製軽量戸
PSD	鋼製点検口
STD	ステンレス製戸
WD	木製戸
CW	カーテンウォール
GS	ガラススクリーン
AW	アルミニウム製窓
SW	鋼製窓
STW	ステンレス製窓
WW	木製窓
SS	鋼製重量シャッター
STS	ステンレス製重量シャッター
SLS	鋼製軽量シャッター
ALS	アルミニウム製軽量シャッター
LGS	ステンレス製グリルシャッター
SHS	シートシャッター
AG	アルミニウム製ガラリ
SG	鋼製ガラリ
STG	ステンレス製ガラリ
WG	木製ガラリ
GSH	ガラス製防煙垂れ壁
MSH	可動式防煙垂れ壁
SP	パーティション
MP	スライディングウォール
TB	トイレブース
TL	トップライト

■ガラス凡例	
FL	フロート板ガラス
F	型板ガラス
A	熱線吸収フロート板ガラス
R	熱線反射ガラス
AR	熱線吸収反射ガラス
HR	高性能熱線反射ガラス
T	強化ガラス
ST	学校用強化ガラス
TF	強化フロストガラス
HS	倍強度ガラス
DSHA	倍強度熱線吸収ガラス
L	合わせガラス
PG	複層ガラス(ペアガラス)
LE	Low-E複層ガラス
PW	網入磨き板ガラス
FW	網入型板ガラス
AWC	熱線吸収網入磨き板ガラス(防火)
AWL	熱線吸収網入磨き板ガラス
X	鉛入りガラス
FK	耐熱ガラス(特防)
GB	ガラスブロック
PB	ポリカーボネート系合成樹脂板
AL	アクリル系合成樹脂材

■法規制凡例	
(防)	防火設備
(特)	(網入り硝子若しくは耐熱硝子)
[特]	常時閉鎖式特定防火設備
[防]	常時閉鎖式防火設備
(特)	煙感連動自閉式特定防火設備
(防)	煙感連動自閉式防火設備
(特)	熱感連動自閉式特定防火設備
(防)	熱感連動自閉式防火設備
(不)	常時閉鎖不燃材扉
(SS)	随時閉鎖式・煙感連動防火シャッター(特定防火)
(FS)	煙感連動防火スクリーン(特定防火)
[炎]	遮炎性能を有する構造
[煙]	遮煙性能を有する構造

Project Title
令和7年度成田公民館図書室等改修工事

Architect
ナスカ+はりゅうウッドスタジオ設計共同体
Engineer 設備: Z O設計室

Architect
ナスカ+はりゅうウッドスタジオ設計共同体

1級建築士事務所 有限会社ナスカ
東京都知事登録第39348号
東京都新宿区戸山3-15-1日本駐車ビル4階
一級建築士 八木佐千子 第215039号

株式会社はりゅうウッドスタジオ
福島県知事登録第16 (007)0239号
福島県南会津郡南会津町針生字鳥井戸1186
一級建築士 滑田光 第336277号 一級建築士 滑田崇志 第344323号

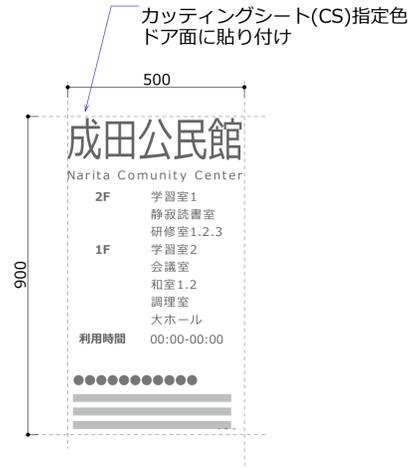
Date 2025年7月10日 木曜日
実施設計
Drawn by H.SAITO
Checkd by S.YAGI

Name of Drawing
建具表

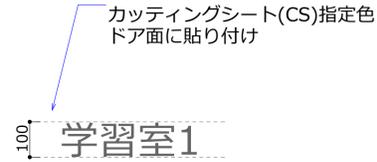
scale
A1 1:50
A3 1:100
Drawing no
A-19

S-1	数量	取り付け場所	S-2	数量	取り付け場所	S-3	数量	取り付け場所	S-4	数量	取り付け場所
	2箇所	1階 風除室 AW01 2階 廊下 AW03		8箇所	1階 学習室2 WD01~03 会議室1,2の扉 2階 学習室1 WD05 静寂読書室 WD06					1箇所	2階 外廊下

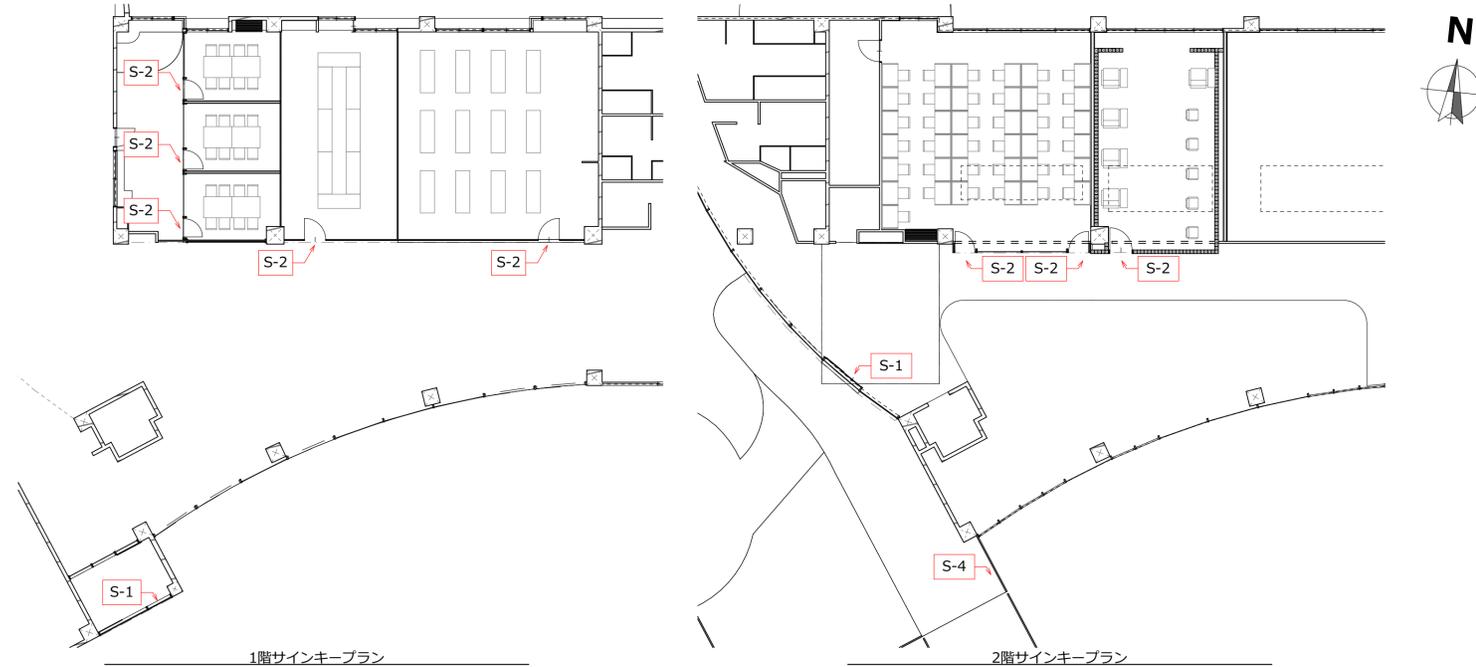
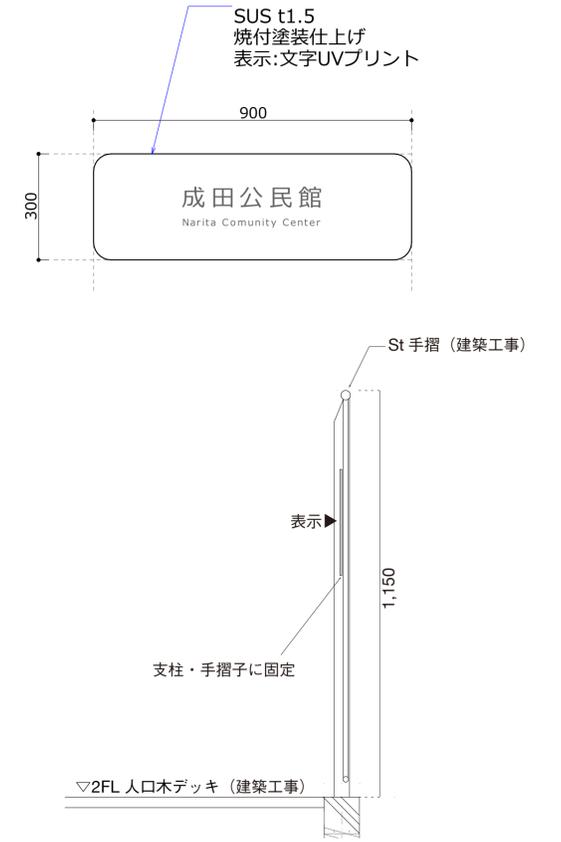
※デザイン・名称・サイズ等は協議のうえ決定



※デザイン・名称・サイズ等は協議のうえ決定



※デザイン・名称・サイズ等は協議のうえ決定



Project Title
令和7年度成田公民館図書室等改修工事

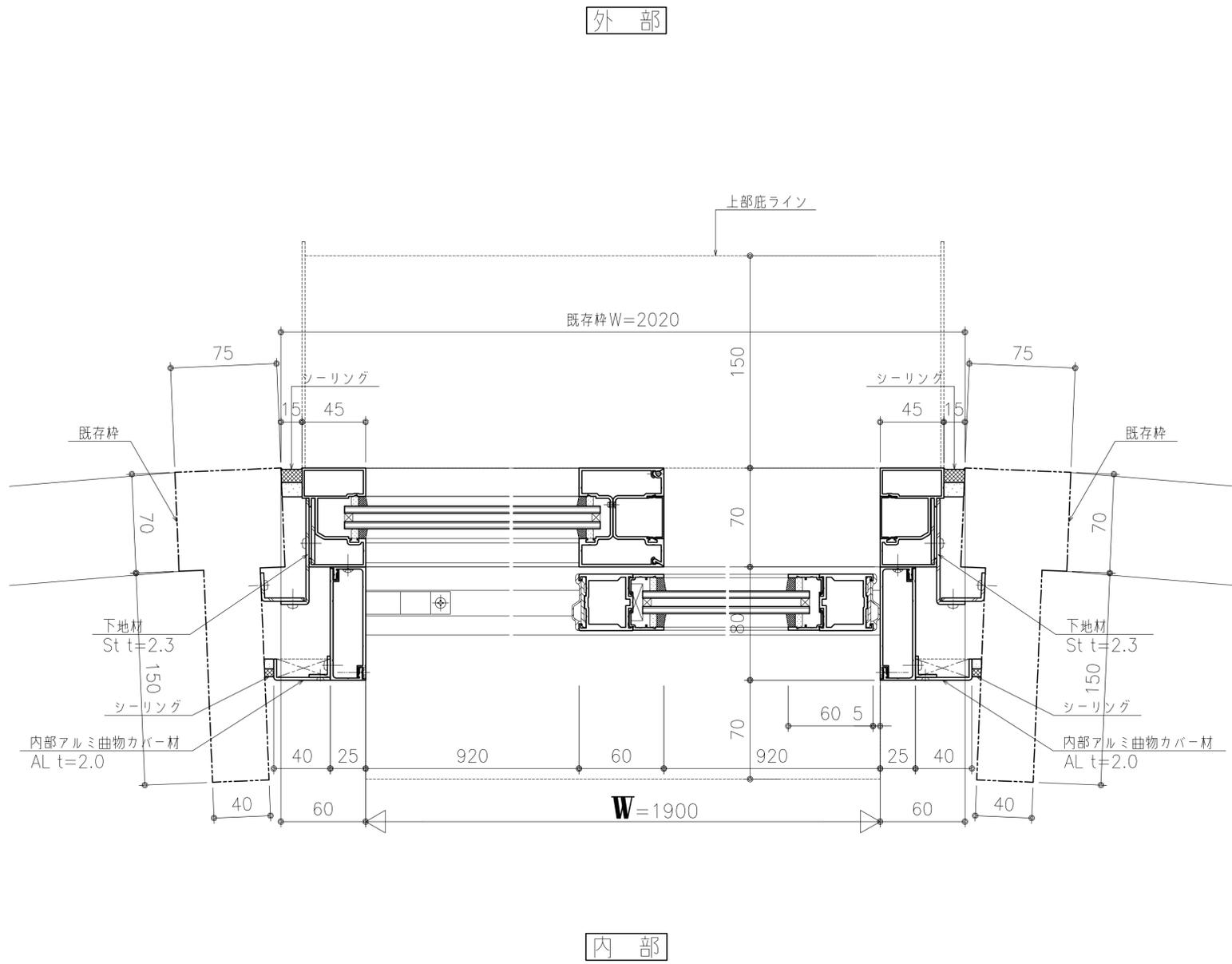
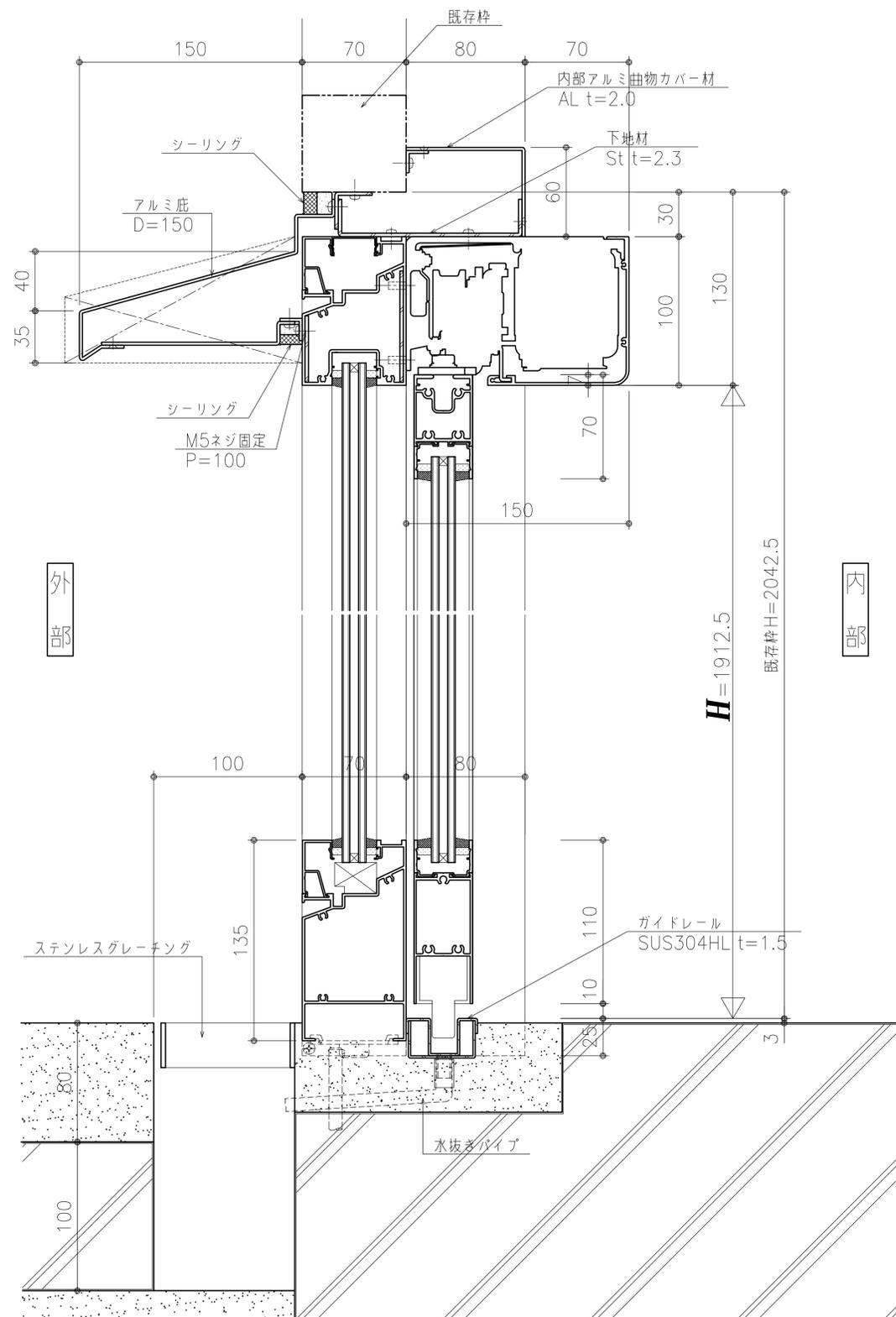
Architect
ナスカ+はりゅうウッドスタジオ設計共同体
Engineer 設備: Z O設計室

1級建築士事務所 有限会社ナスカ
東京都知事登録第39348号
東京都新宿区戸山3-15-1日本駐車ビル4階
一級建築士 八木佐千子 第215039号

株式会社はりゅうウッドスタジオ
福島県知事登録第16 (007)0239号
福島県南会津郡南会津町針生字鳥井戸1186
一級建築士 滑田光 第336277号 一級建築士 滑田崇志 第344323号

Date 2025年7月10日 木曜日
実施設計
Drawn by H.SAITO
Checkd by S.YAGI

Name of Drawing
サイン詳細図_1
scale
A1 1:150,
A3 1:10,
1:1
Drawing no
A-20



自動ドアAW03 詳細図

Project Title
 令和7年度成田公民館図書室等改修工事

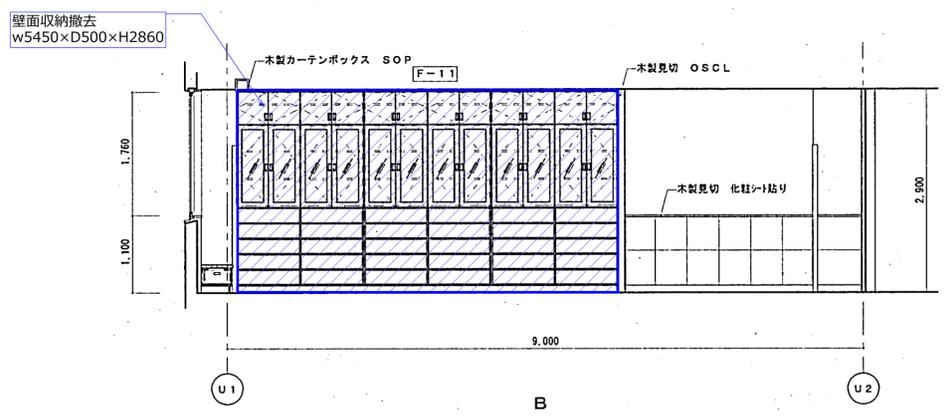
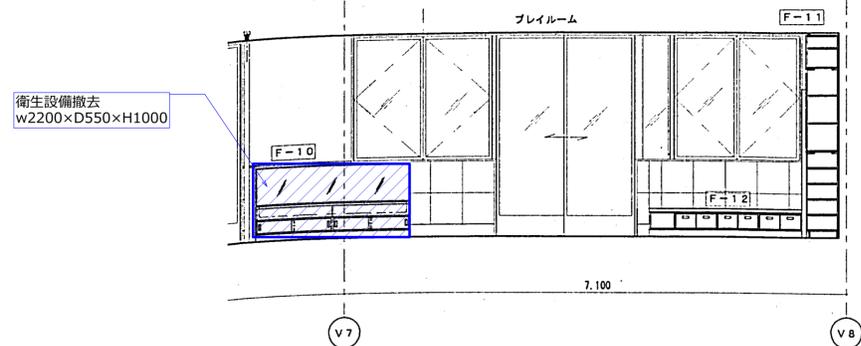
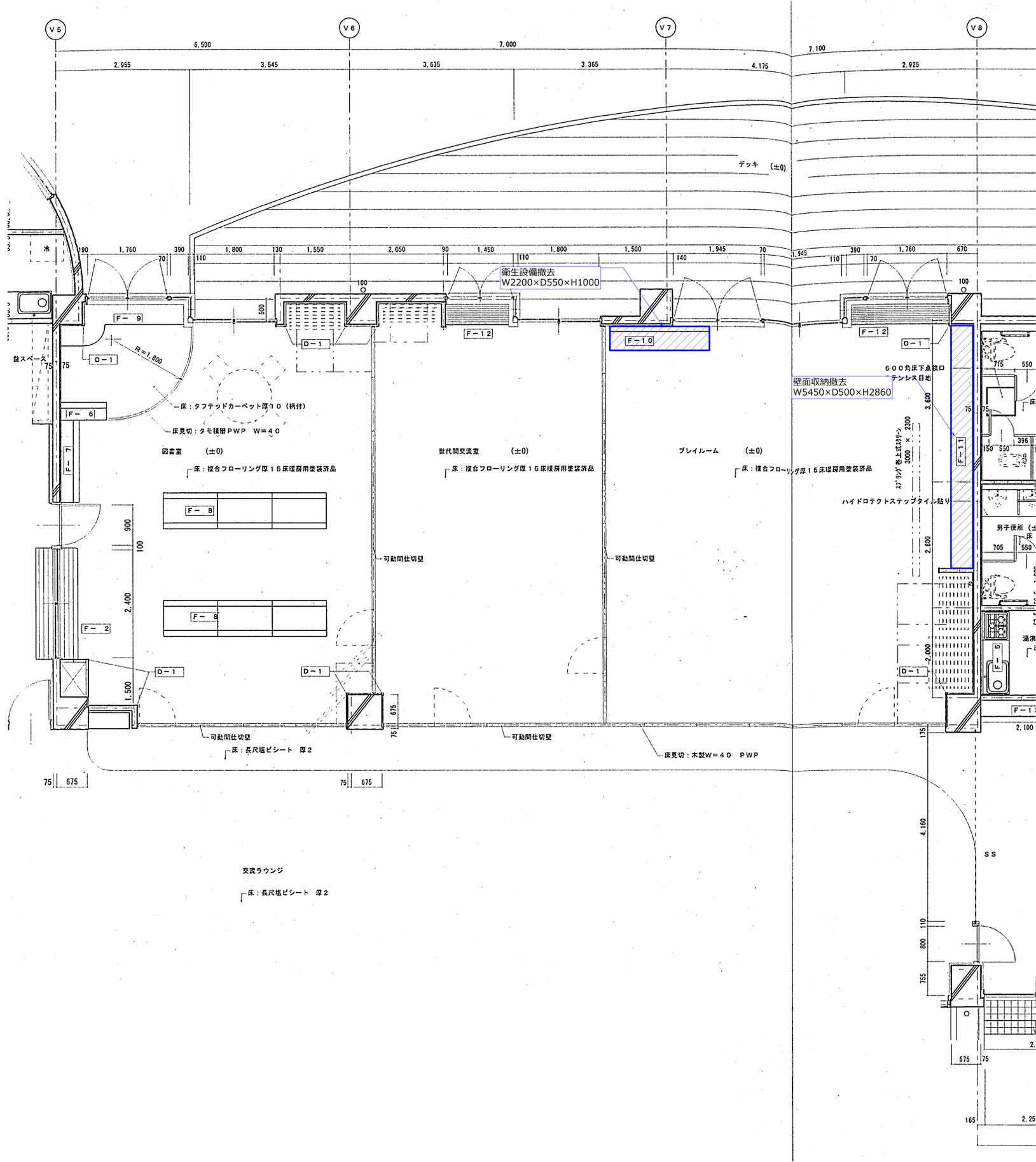
Architect
 ナスカ+はりゅうウッドスタジオ設計共同体
 Engineer 設備: Z O設計室

1級建築士事務所 有限会社ナスカ
 東京都知事登録第39348号
 東京都新宿区戸山3-15-1日本駐車ビル4階
 一級建築士 八木佐千子 第215039号

株式会社はりゅうウッドスタジオ
 福島県知事登録第16 (007)0239号
 福島県南会津郡南会津町針生字鳥井戸1186
 一級建築士 滑田光 第336277号 一級建築士 滑田崇志 第344323号

Date 2025年7月10日 木曜日
 実施設計
 Drawn by H.SAITO
 Checkd by S.YAGI

Name of Drawing
 自動ドア詳細図
 scale
 A1 1:2
 A3 1:4
 Drawing no
 A-21



※プレイルームに敷設しているマット・備品等については、撤去・移設すること。
 なお、移設先については施設管理者と協議すること。

1階平面図 1:1/50, A3:1/100



Project Title
 令和7年度成田公民館図書室等改修工事

Architect
 ナスカ+はりゅうウッズスタジオ設計共同体
 Engineer 設備: Z O設計室

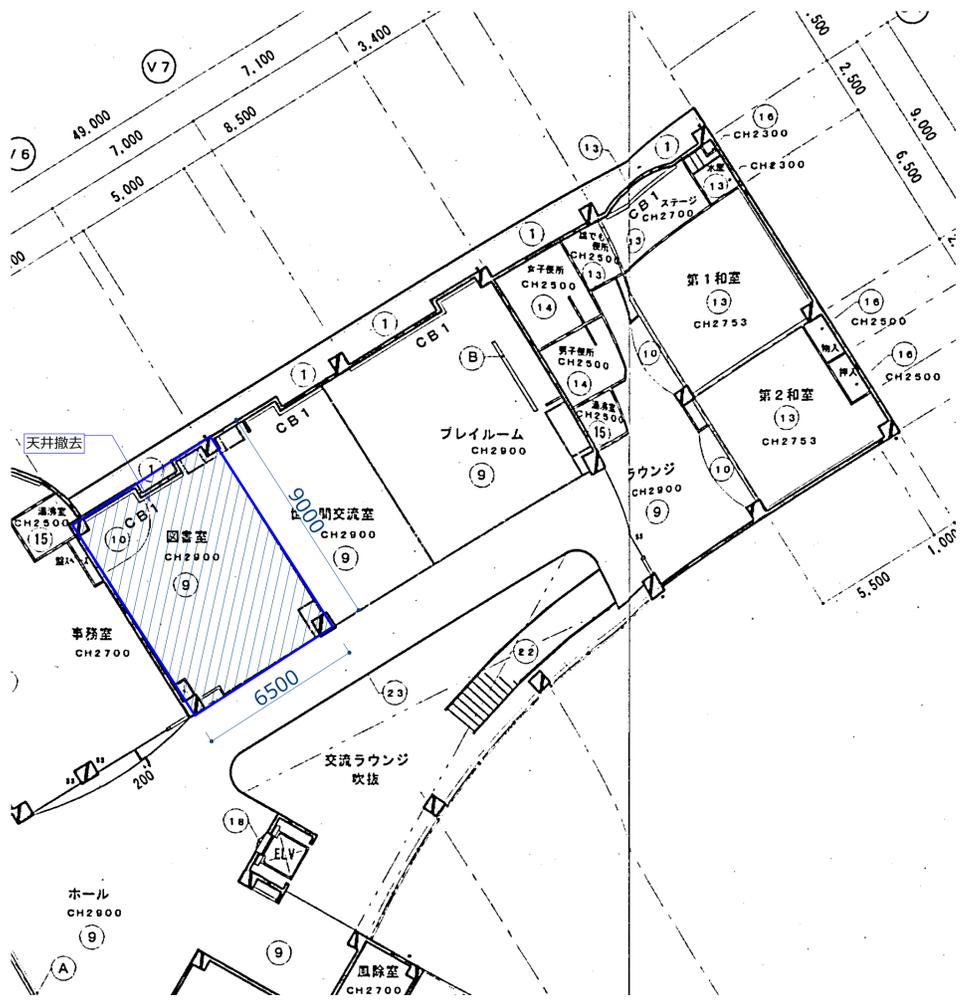
1級建築士事務所 有限会社ナスカ
 東京都知事登録第39348号
 東京都新宿区戸山3-15-1日本駐車ビル4階
 一級建築士 八木佐千子 第215039号

株式会社はりゅうウッズスタジオ
 福島県知事登録第16 (007)0239号
 福島県南会津郡南会津町針生字鳥井戸1186
 一級建築士 滑田光 第336277号 一級建築士 滑田崇志 第344323号

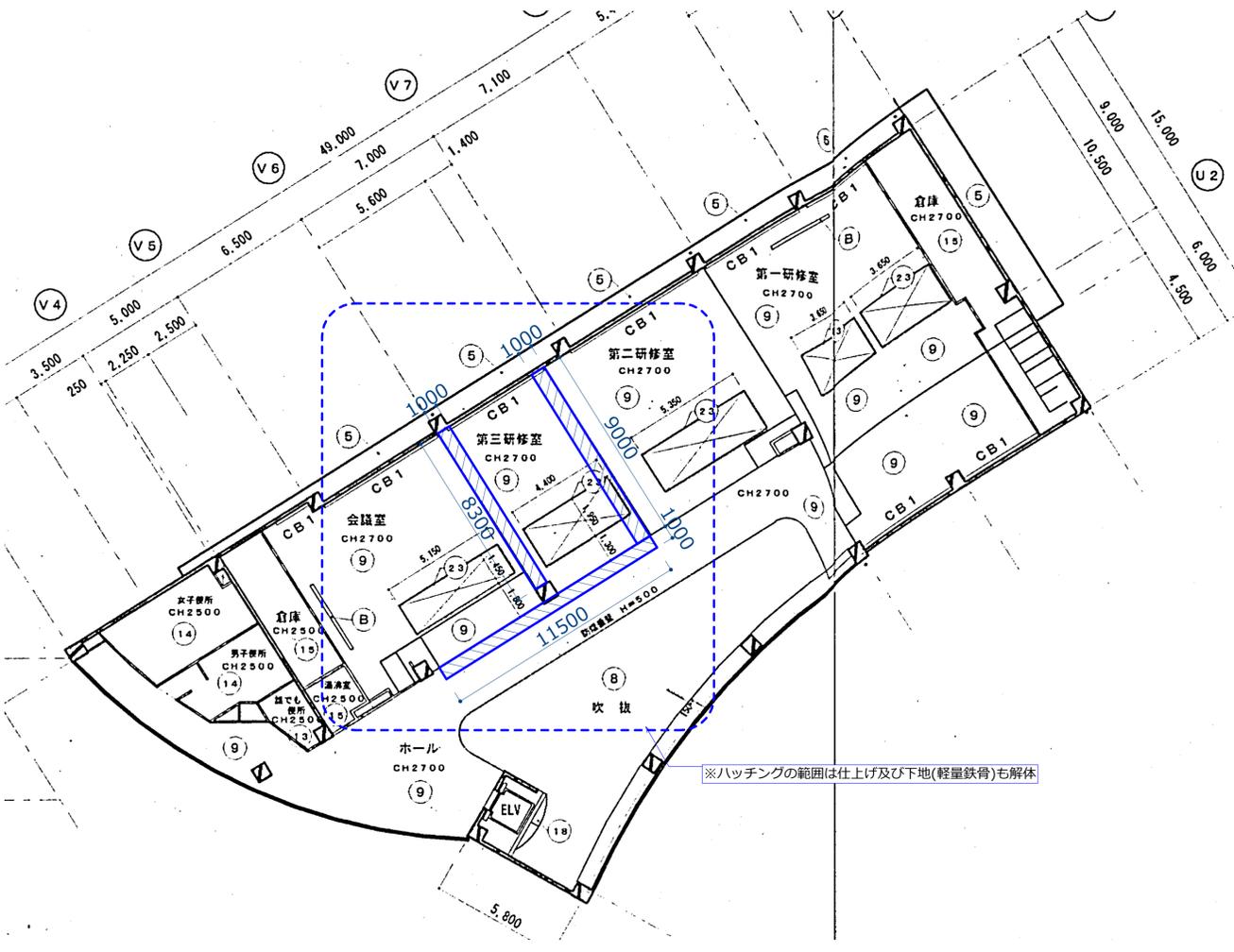
Date 2025年7月10日 木曜日
 実施設計
 Drawn by H.SAITO
 Checkd by S.YAGI

Name of Drawing
 解体 家具

scale
 A1 1:50
 A3 1:100
 Drawing no
 A-22

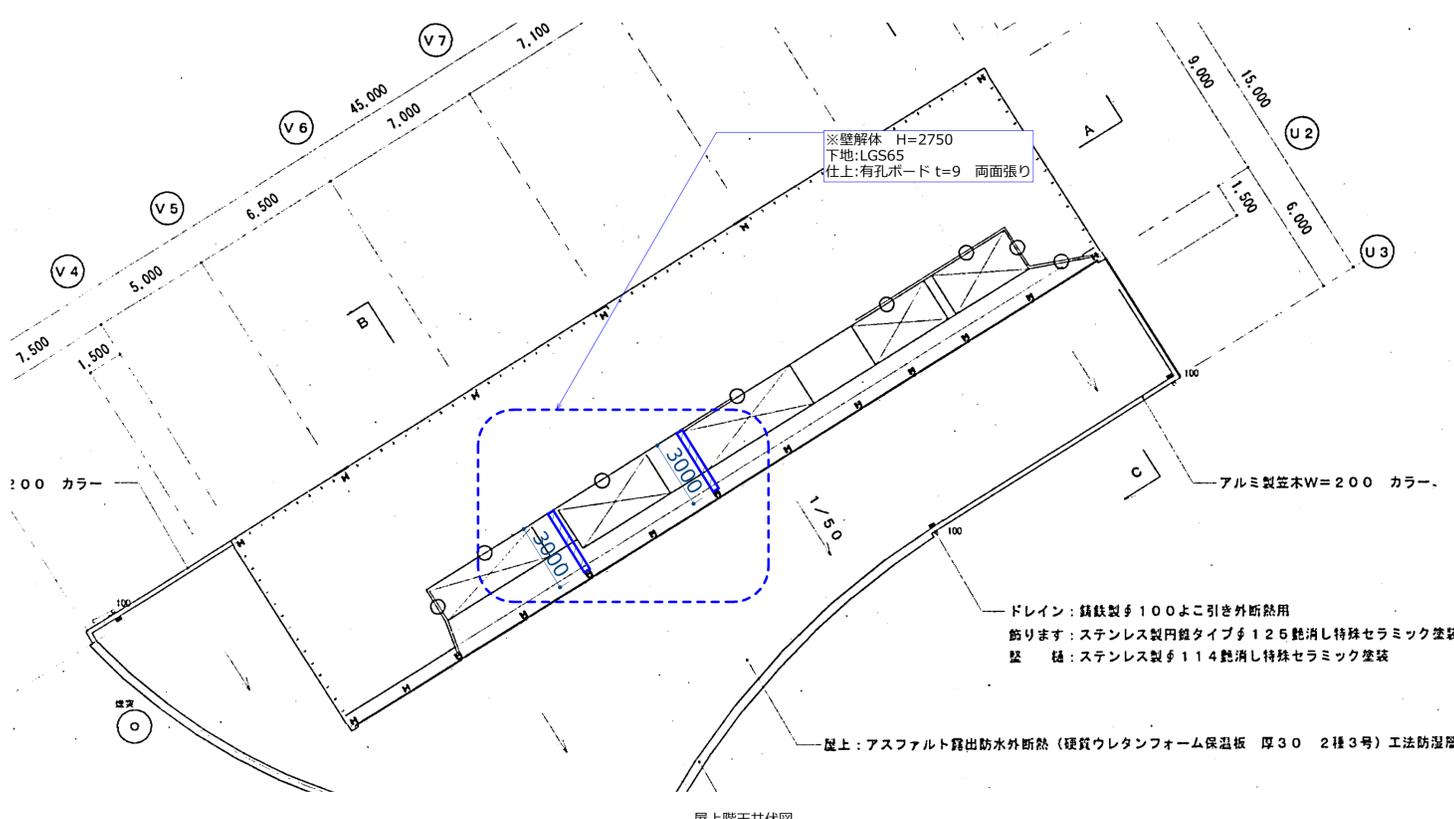


既存1階天井伏図

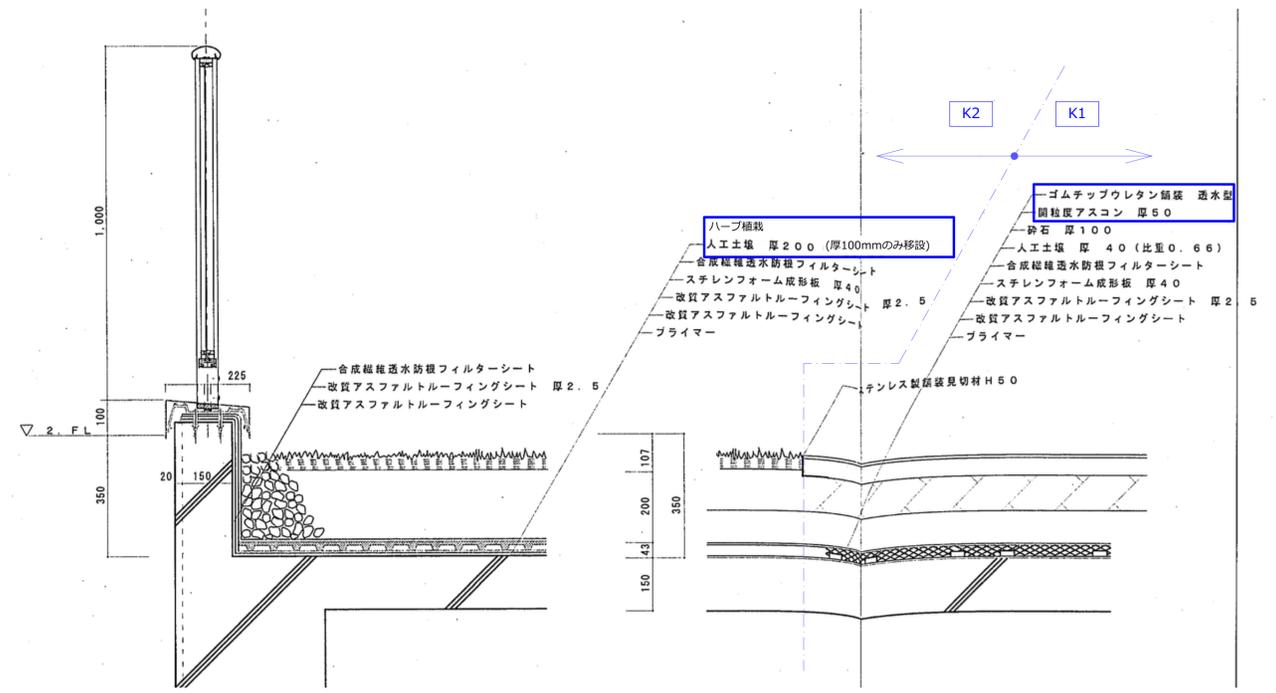
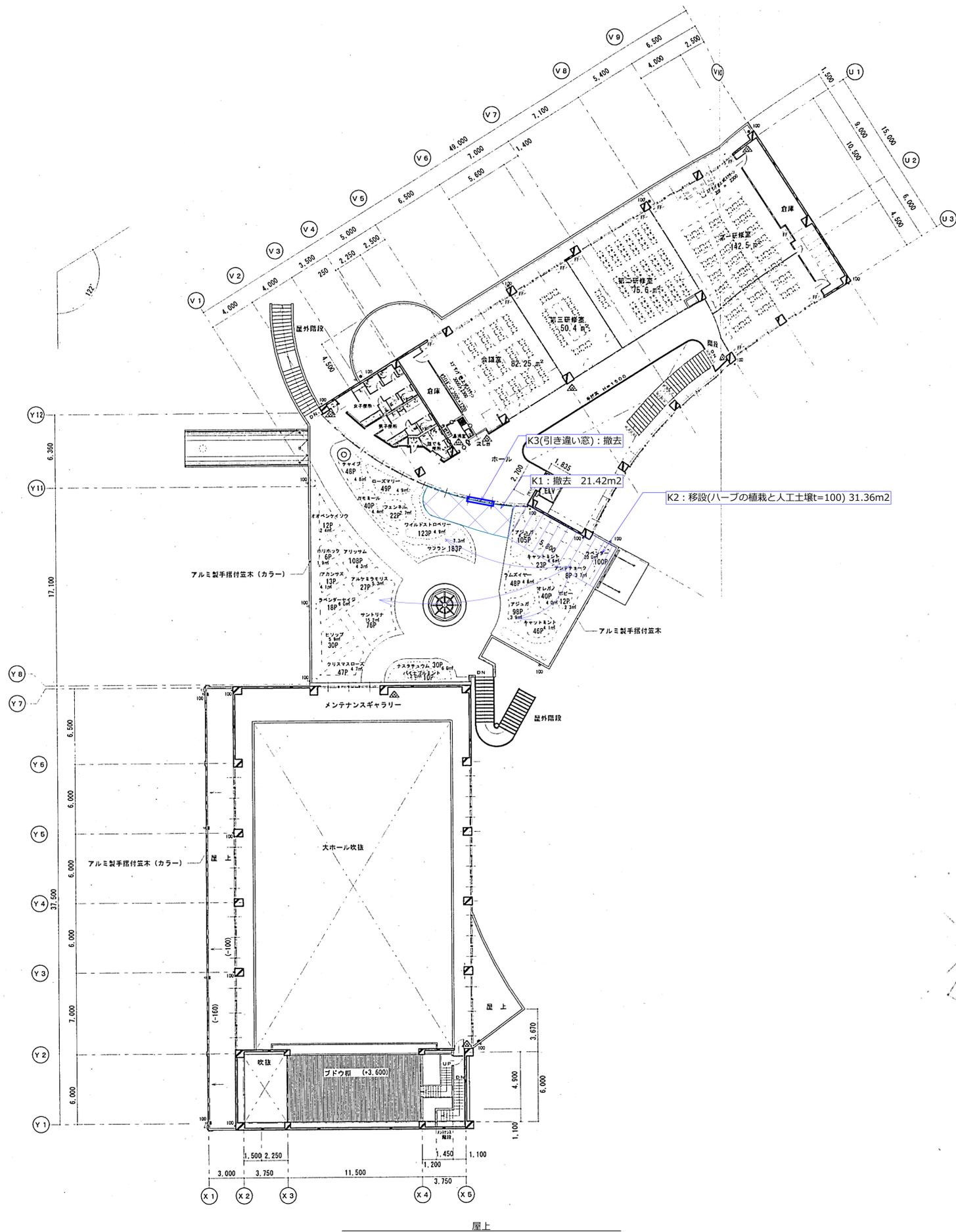


既存2階天井伏図

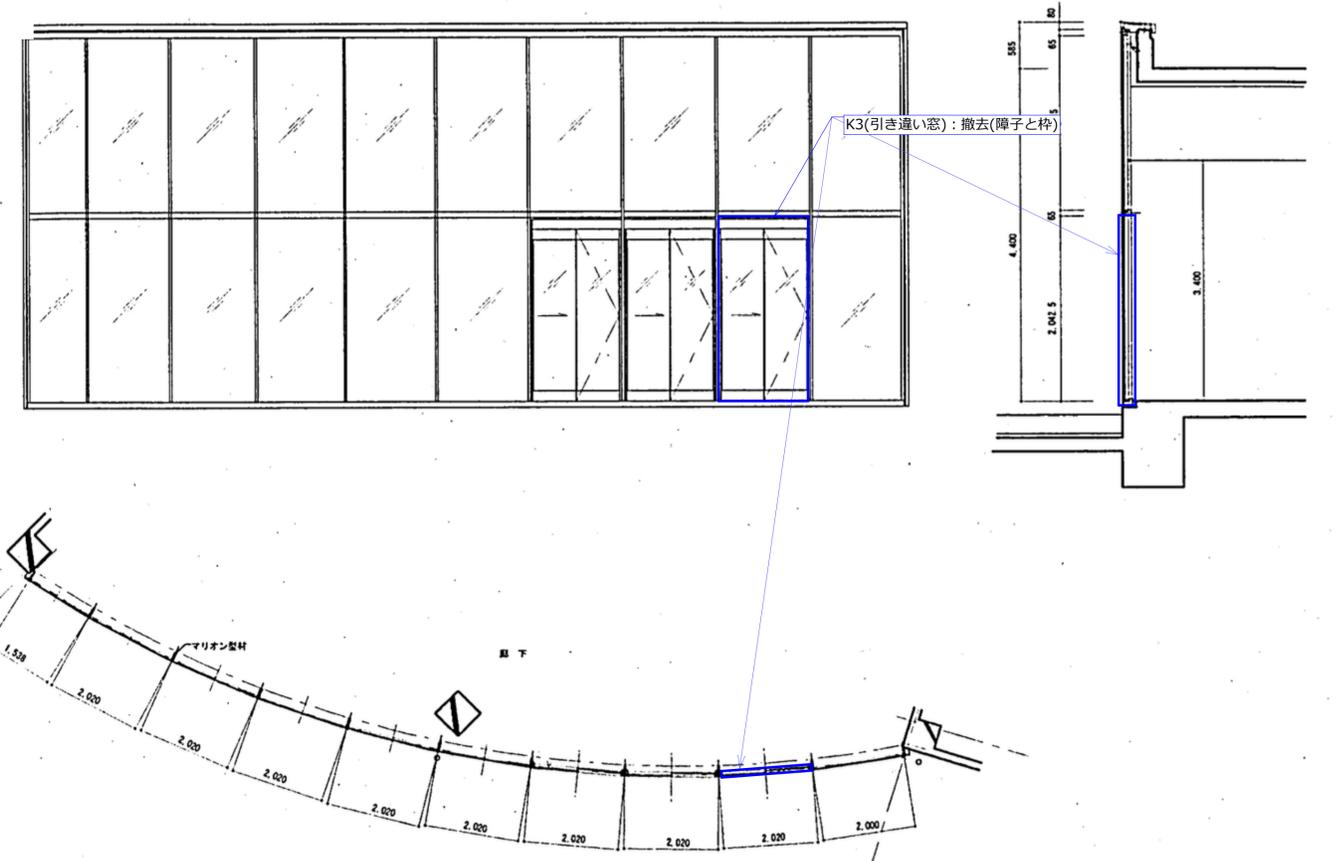
- ① コンクリート打放し精修アクリル系複層模様吹付
- ② コンクリート打放し精修高性能水性反応硬化形フラット塗料
- ③ コンクリート打放し精修
- ④ コンクリート打放し
- ⑤ 溶融アルミニウム亜鉛合金めっき鋼板 厚0.8
- ⑥ 溶融アルミニウム亜鉛合金めっき鋼板 厚0.6
- ⑦ ロックウール吸音板貼り木毛セメント板 厚40
- ⑧ PB 厚9.5カラー岩綿吸音板 厚9
- ⑨ PB 厚9.5岩綿吸音板 厚9
- ⑩ PB 厚9.5ビニルクロス貼り
- ⑪ PB 厚9.5高性能水性反応硬化形フラット塗料
- ⑫ PB 厚12.5+軽燃合板 厚5.5
- ⑬ PB積層板 厚9.5ビニルクロス貼り
- ⑭ 化粧PB 厚9.5
- ⑮ 化粧PB積層板 厚9.5
- ⑯ 不燃化粧PB 厚12.5 (和風)
- ⑰ 繊維混入ケイ酸カルシウム板 厚8 目スカシ 高性能水性反応硬化形フラット塗料
- ⑱ アルミパネル 厚2 (カラー)
- ⑲ バスリブW=200トップコート仕上げ
- ⑳ 化粧ロックウール吸音板 厚50 (60K)
- ㉑ 繊維混入ケイ酸カルシウム板 厚6 目スカシ 高性能水性反応硬化形フラット塗料
- ㉒ 鉄骨 SOP
- ㉓ 鉄骨 フッ素樹脂塗装
- ㉔ 見切: スチール製50×20 SOP



屋上階天井伏図

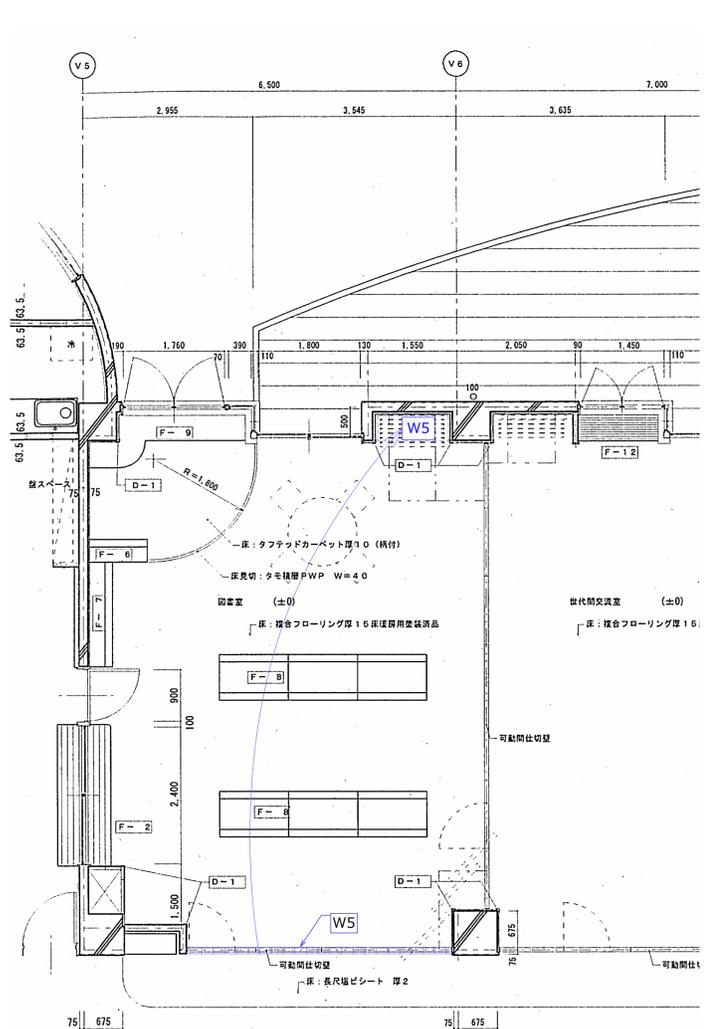


断面図 A1:1/10, A3:1/20

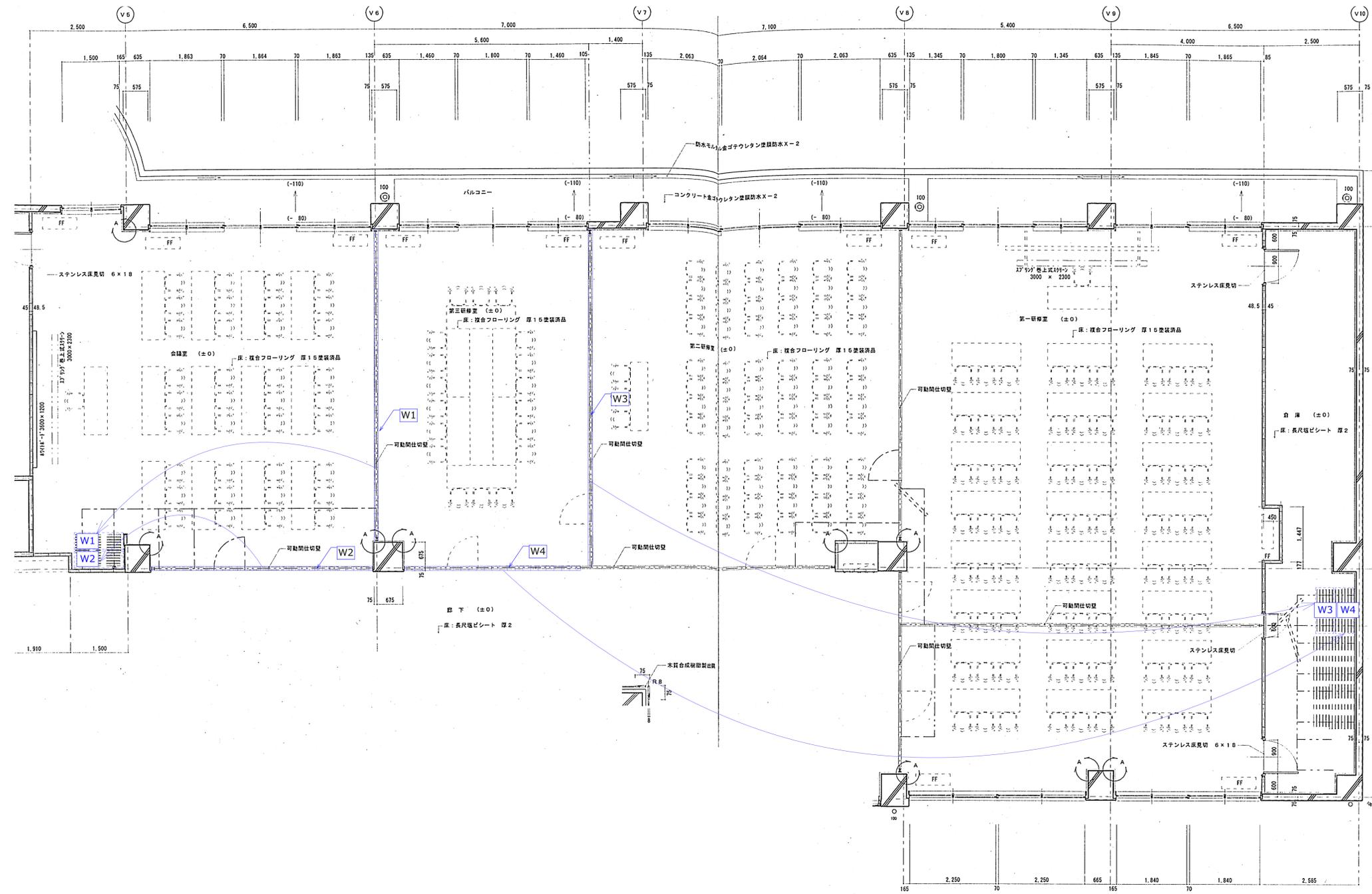


断面図 A1:1/60, A3:1/120

<p>Project Title 令和7年度成田公民館図書室等改修工事</p>	<p>Architect ナスカ+はりゅうウッドスタジオ設計共同体 Engineer 設備: Z O設計室</p>	<p>1級建築士事務所 有限会社ナスカ 東京都知事登録第39348号 東京都新宿区戸山3-15-1日本駐車ビル4階 一級建築士 八木佐千子 第215039号</p>	<p>株式会社はりゅうウッドスタジオ 福島県知事登録第16 (007)0239号 福島県南会津郡南会津町針生字烏井戸1186 一級建築士 滑田光 第336277号 一級建築士 滑田崇志 第344323号</p>	<p>Date 2025年7月10日 木曜日 実施設計 Drawn by H.SAITO Checked by S.YAGI</p>	<p>Name of Drawing 解体 屋上階平面図</p>	<p>scale A1 1:200 A3 1:400</p>	<p>Drawing no A-24</p>
---	---	--	---	--	--------------------------------------	--	----------------------------



1階平面図



2階平面図

Project Title
令和7年度成田公民館図書室等改修工事

Architect
ナスカ+はりゅうウッドスタジオ設計共同体
 Engineer 設備: Z O設計室

1級建築士事務所 有限会社ナスカ
 東京都知事登録第39348号
 東京都新宿区戸山3-15-1日本駐車ビル4階
 一級建築士 八木在千子 第215039号

株式会社はりゅうウッドスタジオ
 福島県知事登録第16 (007)0239号
 福島県南会津郡南会津町針生字鳥井戸1186
 一級建築士 滑田光 第336277号 一級建築士 滑田崇志 第344323号

Date 2025年7月10日 木曜日
 実施設計
 Drawn by H.SAITO
 Check by S.YAGI

Name of Drawing
パーティション収納図
 scale
 A1 1:60
 A3 1:120
 Drawing no
A-25

令和7年度成田公民館図書室等改修工事

2025年2月28日金曜日

図面リスト_電気設備		図面リスト_電気設備	
図番	図名	図番	図名
E-00	図面リスト	ER-03	撤去図 幹線設備 1階平面図
E-01	電気設備 特記仕様書	ER-04	撤去図 電灯設備 1階平面図
E-02	電気設備 改修範囲図 1階平面図	ER-05	撤去図 非常照明設備 1階平面図
E-03	電気設備 改修範囲図 2階平面図	ER-06	撤去図 放送設備 1階平面図
E-04	空調電源設備 1階平面図	ER-07	撤去図 自動火災報知設備 1階平面図
E-05	電灯・非常照明設備 1階平面図		
E-06	電灯設備 2階平面図		
E-07	コンセント設備 1階平面図		
E-08	コンセント設備 2階平面図		
E-09	放送設備 1階平面図		
E-10	自動火災報知設備 1階平面図		
ER-01	改修図 電気設備 盤結線図1		
ER-02	改修図 電気設備 盤結線図2		

Project Title
令和7年度成田公民館図書室等改修工事

Architect
ナスカ+はりゅうウッドスタジオ設計共同体
Engineer 設備: Z O設計室

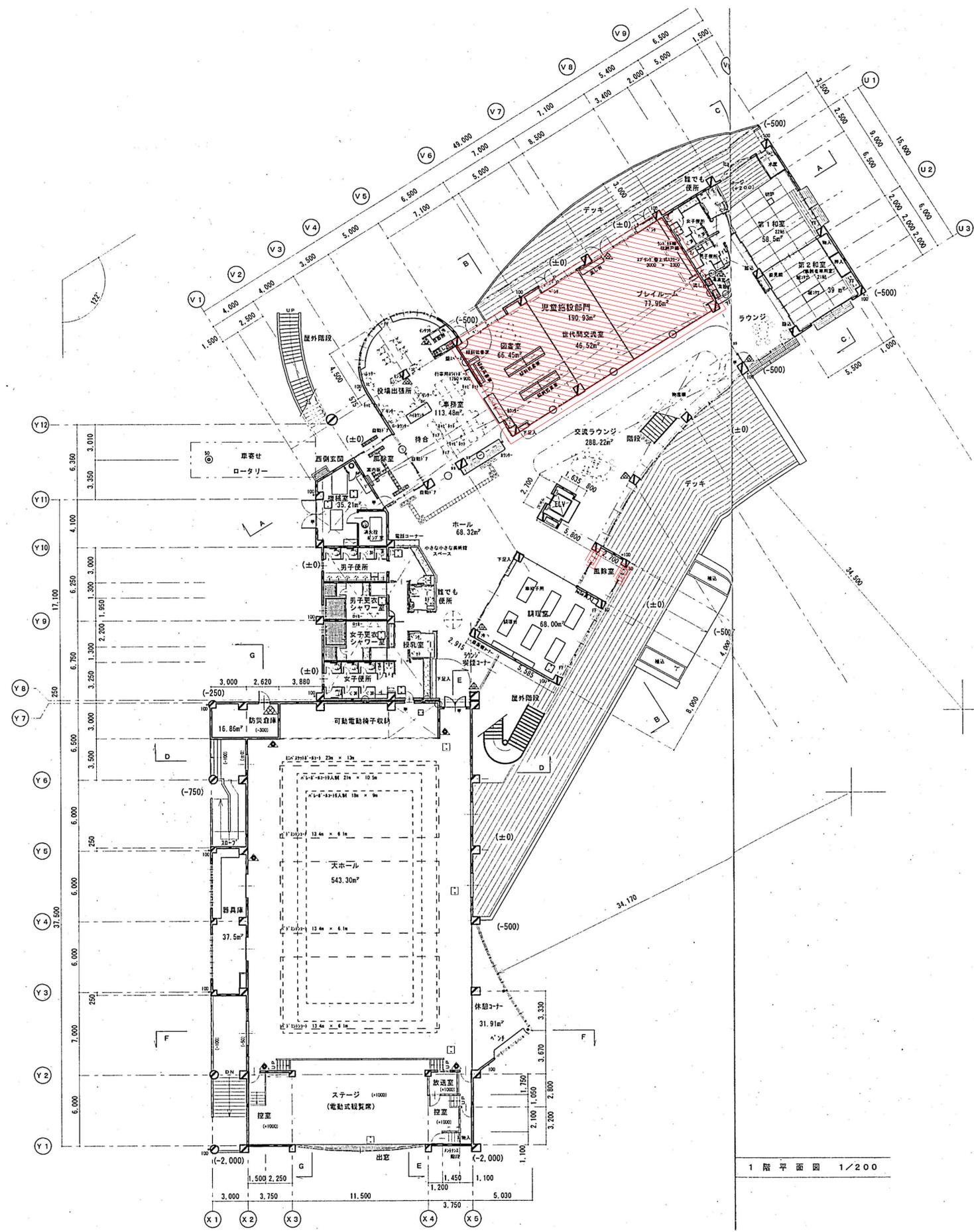
1級建築士事務所 有限会社ナスカ
東京都知事登録第39348号
東京都新宿区戸山3-15-1日本駐車ビル4階
一級建築士 八木佐千子 第215039号

株式会社はりゅうウッドスタジオ
福島県知事登録第16 (007)0239号
福島県南会津郡南会津町針生字島井戸1186
一級建築士 斉藤光 第336277号 一級建築士 滑田崇志 第344323号

Date 2025年2月28日 金曜日
実施設計
Drawn by H. SAITO
Checked by S. YAGI

Name of Drawing
電気設備
図面リスト

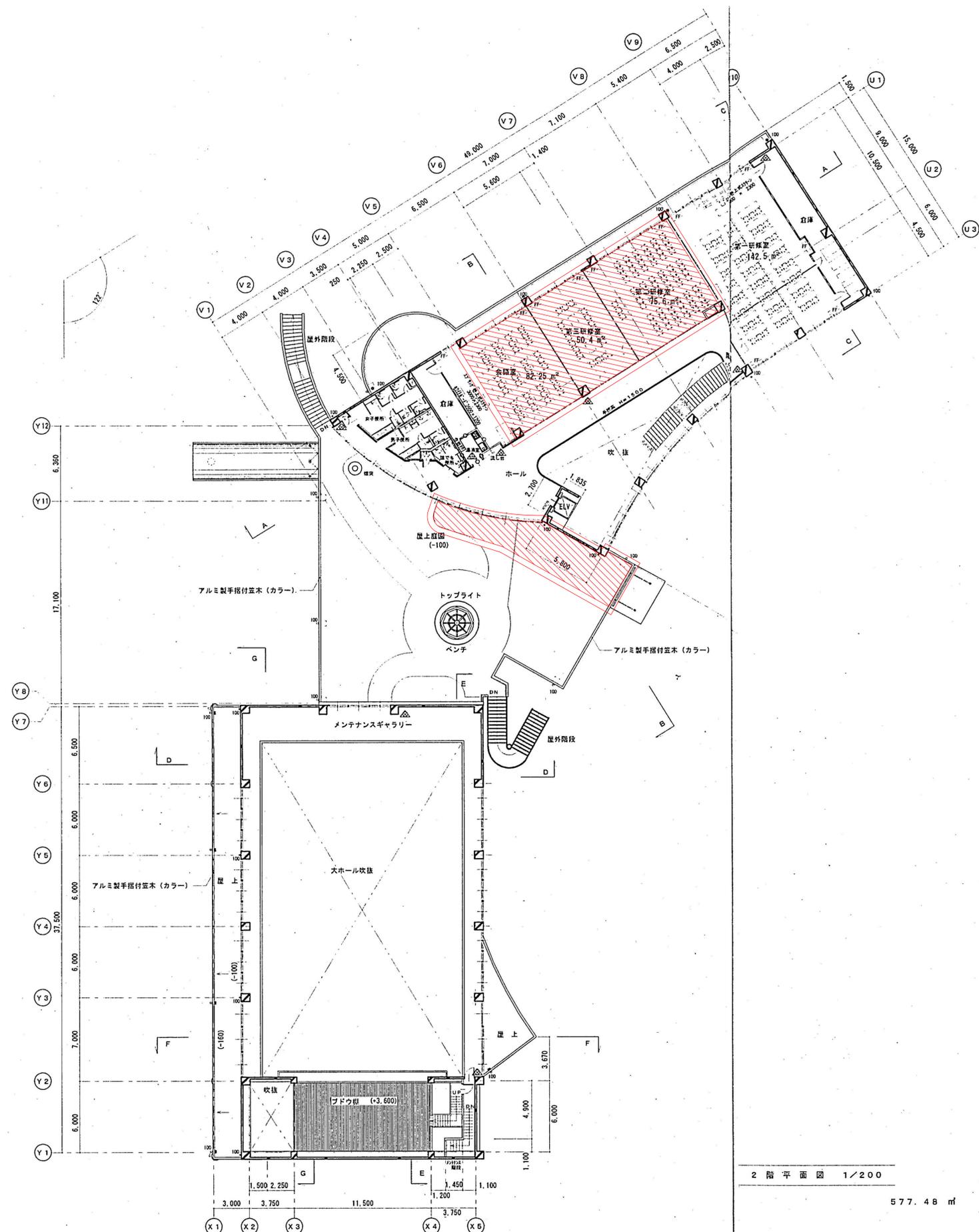
scale
A1 N・S
A3 N・S
Drawing no
E.00



1階平面図 1/200

※二重線範囲は建築改修工事範囲、
斜線範囲は電気設備本工事範囲を示す。

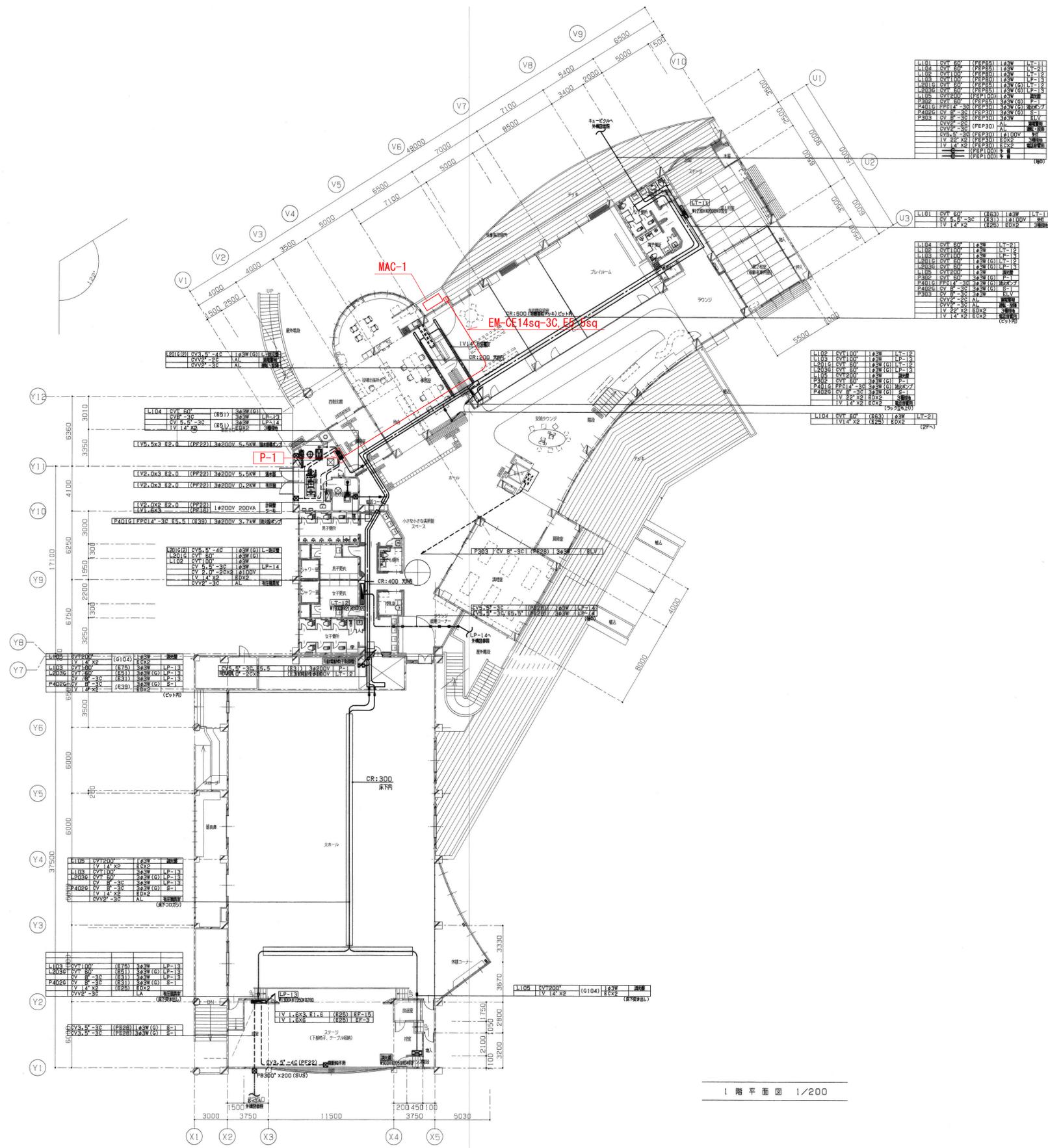
<p>Project Title 令和7年度成田公民館図書室等改修工事</p>	<p>Architect ナスカ+はりゅうウッドスタジオ設計共同体</p> <p>Engineer 設備: Z O設計室</p>	<p>1級建築士事務所 有限会社ナスカ 東京都知事登録第39348号 東京都新宿区戸山3-15-1日本駐車ビル4階 一級建築士 八木佐千子 第215039号</p>	<p>株式会社はりゅうウッドスタジオ 福島県知事登録第16 (007)0239号 福島県南会津郡南会津町針生字島井戸1186 一級建築士 斉藤光 第336277号 一級建築士 滑田崇志 第344323号</p>	<p>Date 2025年2月28日 金曜日 実施設計 Drawn by H. SAITO Checked by S. YAGI</p>	<p>Name of Drawing 電気設備 改修範囲 1階平面図</p>	<p>scale A1 1/200 A3 1/400</p>	<p>Drawing no E. 02</p>
---	--	--	---	--	--	--	-----------------------------



2階平面図 1/200
577.48㎡

※二重線範囲は建築改修工事範囲、
斜線範囲は電気設備本工事範囲を示す。

<p>Project Title 令和7年度成田公民館図書室等改修工事</p>	<p>Architect ナスカ+はりゅうウッドスタジオ設計共同体</p> <p>Engineer 設備: Z O設計室</p>	<p>1級建築士事務所 有限会社ナスカ 東京都知事登録第39348号 東京都新宿区戸山3-15-1日本駐車ビル4階 一級建築士 八木佐千子 第215039号</p>	<p>株式会社はりゅうウッドスタジオ 福島県知事登録第16 (007)0239号 福島県南会津郡南会津町針生字島井戸1186 一級建築士 斉藤光 第336277号 一級建築士 滑田崇志 第344323号</p>	<p>Date 2025年2月28日 金曜日 実施設計 Drawn by H. SAITO Checked by S. YAGI</p>	<p>Name of Drawing 電気設備 改修範囲 2階平面図</p>	<p>scale A1 1/200 A3 1/400</p>	<p>Drawing no E-03</p>
---	--	--	---	--	--	--	----------------------------



Project Title
 令和7年度成田公民館図書室等改修工事

Architect
 ナスカ+はりゅうウッドスタジオ設計共同体
 Engineer 設備: Z O設計室

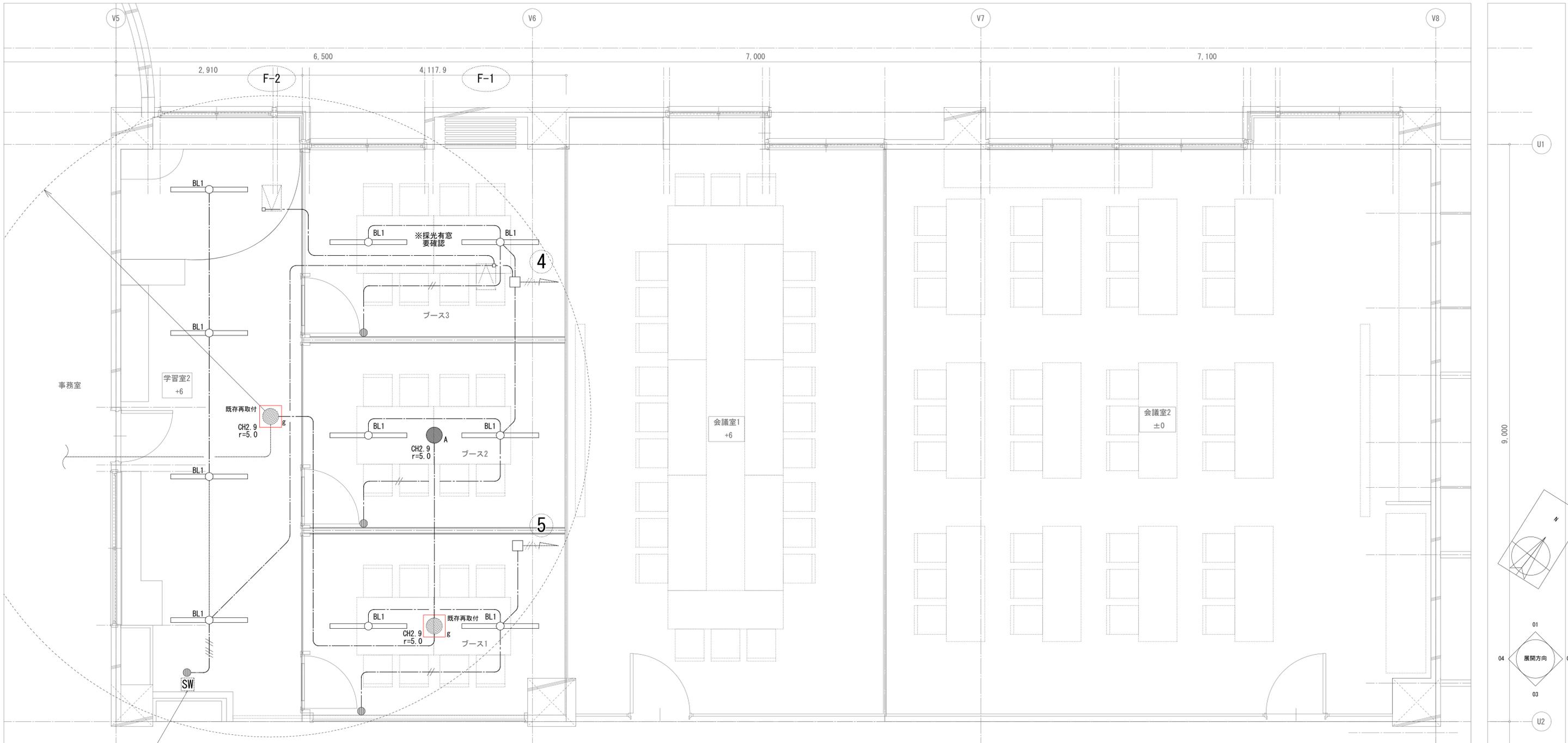
1級建築士事務所 有限会社ナスカ
 東京都知事登録第39348号
 東京都新宿区戸山3-15-1日本駐車ビル4階
 一級建築士 八木佐千子 第215039号

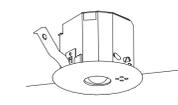
株式会社はりゅうウッドスタジオ
 福島県知事登録第16 (007)0239号
 福島県南会津郡南会津町針生字島井1186
 一級建築士 斉藤光 第336277号 一級建築士 滑田崇志 第344323号

Date 2025年2月28日 金曜日
 実施設計
 Drawn by H. SAITO
 Checkd by S. YAGI

Name of Drawing
 空調電源設備
 1階平面図

scale
 A1 1:200
 A3 1:400
 Drawing no
 E.04



<p>● BL1 31.9W</p> <p>公共型番：LSS9-4-48 LN(直付天井灯/ベースライト一般形)</p>  <p>一般タイプ、5200lmタイプ 消費電力31.9W、定格出力電圧100V-242V 本体・調光器(白色粉体塗装) ライトカバー(カバー)：ポリカーボネート(乳白) 光束維持時間(4000時間)(光束維持率80%) 昼白色(5000K)、Ra83 電源装置はライトカバー側に内蔵</p> <p>天井埋込型</p>	<p>● g 13W</p> <p>公共型番：K1-IRS4-J13(非常用照明器具電池内蔵形)</p>  <table border="1"> <tr><th>照度</th><th>2.1</th><th>2.4</th><th>2.6</th><th>2.9</th><th>3.0</th></tr> <tr><td>照度配座 A1</td><td>4.3</td><td>4.7</td><td>4.9</td><td>5.0</td><td>5.1</td></tr> <tr><td>照度配座 A2</td><td>9.3</td><td>10.4</td><td>11.0</td><td>11.9</td><td>12.2</td></tr> <tr><td>照度配座 A4</td><td>7.2</td><td>8.0</td><td>8.6</td><td>9.4</td><td>9.6</td></tr> <tr><td>照度配座 A0</td><td>3.2</td><td>3.4</td><td>3.6</td><td>3.8</td><td>3.8</td></tr> </table> <p>天井埋込型</p>	照度	2.1	2.4	2.6	2.9	3.0	照度配座 A1	4.3	4.7	4.9	5.0	5.1	照度配座 A2	9.3	10.4	11.0	11.9	12.2	照度配座 A4	7.2	8.0	8.6	9.4	9.6	照度配座 A0	3.2	3.4	3.6	3.8	3.8	<p>● A 1.0W</p> <p>公共型番：K1-LRS11-2(非常用照明器具電池内蔵形・LED)</p>  <table border="1"> <tr><th>照度</th><th>2.1</th><th>2.4</th><th>2.6</th><th>2.9</th><th>3.0</th></tr> <tr><td>照度配座 A1</td><td>4.2</td><td>4.6</td><td>4.7</td><td>5.0</td><td>4.9</td></tr> <tr><td>照度配座 A2</td><td>9.3</td><td>10.2</td><td>10.8</td><td>11.9</td><td>11.9</td></tr> <tr><td>照度配座 A4</td><td>7.4</td><td>8.2</td><td>8.7</td><td>9.4</td><td>9.6</td></tr> <tr><td>照度配座 A0</td><td>3.2</td><td>3.4</td><td>3.6</td><td>3.8</td><td>3.8</td></tr> </table> <p>天井埋込型</p>	照度	2.1	2.4	2.6	2.9	3.0	照度配座 A1	4.2	4.6	4.7	5.0	4.9	照度配座 A2	9.3	10.2	10.8	11.9	11.9	照度配座 A4	7.4	8.2	8.7	9.4	9.6	照度配座 A0	3.2	3.4	3.6	3.8	3.8
照度	2.1	2.4	2.6	2.9	3.0																																																									
照度配座 A1	4.3	4.7	4.9	5.0	5.1																																																									
照度配座 A2	9.3	10.4	11.0	11.9	12.2																																																									
照度配座 A4	7.2	8.0	8.6	9.4	9.6																																																									
照度配座 A0	3.2	3.4	3.6	3.8	3.8																																																									
照度	2.1	2.4	2.6	2.9	3.0																																																									
照度配座 A1	4.2	4.6	4.7	5.0	4.9																																																									
照度配座 A2	9.3	10.2	10.8	11.9	11.9																																																									
照度配座 A4	7.4	8.2	8.7	9.4	9.6																																																									
照度配座 A0	3.2	3.4	3.6	3.8	3.8																																																									

凡例

記号	名称	備考
	ベースライト	姿図参照
	非常照明	姿図参照
	タンブラスイッチ	1P15A×1
	パイロットスイッチ	1P15A×1
	換気扇(既存)	機械設備

※点線は既存を示す。

- (注記)
- 特記なき配管配線は以下とする。

	EM-EEF1.6-2C	保護配管(PF16)
	EM-EEF1.6-3C	保護配管(PF16)
	EM-EEF1.6-2C + 2C	保護配管(PF22)
	EM-EEF2.0-3C	保護配管(PF22)
 - 配線の立上げ、引下げ及び貫通部分は保護管にて保護する。
 - 防火区画を貫通する箇所については、防火区画貫通処理(国土交通大臣認定工法)を施すこと。
 - 外部より建物内への貫通部は止水処理を施すこと。



- 注記
- 特記なき配管配線は下記による。
 - 既存配管配線
 - 露出配管配線
 - 天井配線
 - 地中埋設配管配線
 - 床隠ぺい配管配線
 - EM-EEF2.0-2C (PF16) (E19)
 - EM-EEF2.0-3C(1Cアース) (PF16) (E19)
 - EM-CE3.5³-3C(1Cアース) (FEP30) (G28) (PF22)
- 壁内の立上げ引下げ等は保護管にて保護すること。
 - 防火区画および防火上主要な間仕切り壁の貫通部は、建築基準法に適合したもの、または国土交通大臣認定工法により処理を行う。

※特記無き配線は下記による

---	VVF1.6-2C
---	VVF1.6-3C
---	VVF2.0-2C
---	VVF2.0-3C
---	VVF1.6-2Cx2
---	VVF1.6-2C+3C
---	VVF1.6-3Cx2
---	VVF2.0-2Cx2
---	VVF2.0-2C+3C
---	VVF2.0-3Cx2
---	IV 1.6X2 (PF16)
---	IV 1.6X3 (PF16)
---	IV 1.6X4 (PF16)
---	IV 1.6X5 (PF16)
---	IV 1.6X6 (PF22)
---	IV 2.0X2 (PF16)
---	IV 2.0X3 (PF16)
---	IV 2.0X4 (PF16)
---	IV 2.0X5 (PF22)
---	IV 2.0X6 (PF22)
---	IV 1.6X2 (PF16)
---	IV 1.6X3 (PF16)
---	IV 1.6X4 (PF16)
---	IV 1.6X5 (PF16)
---	IV 1.6X6 (PF22)
---	IV 2.0X2 (PF16)
---	IV 2.0X3 (PF16)
---	IV 2.0X4 (PF16)
---	IV 2.0X5 (PF22)
---	IV 2.0X6 (PF22)
---	IV 1.6X2 (E19)
---	IV 1.6X3 (E19)
---	IV 1.6X4 (E19)
---	IV 1.6X5 (E25)
---	IV 1.6X6 (E25)
---	IV 2.0X2 (E19)
---	IV 2.0X3 (E19)
---	IV 2.0X4 (E25)
---	IV 2.0X5 (E25)
---	IV 2.0X6 (E25)
---	CPEV-S 1.2-3P
---	CPEV-S 1.2-3P (PF16)
---	CPEV-S 1.2-3P (PF16)
---	CPEV-S 1.2-3P (E19)

大木・丸形配線凡例

---	IV1.6 X3 (E19)
---	IV1.6 X6 (E19)
---	IV2.0 X2 E2.0 (E19)
---	IV2.0 X4 E2.0 (E25)
---	IV2.0 X6 E2.0 (E31)
---	IV5.5 ³ X2 E2.0 (E25)
---	IV5.5 ³ X4 E2.0 (E25)
---	IV5.5 ³ X6 E2.0 (E31)

※A

IV5.5 ³ X6 E2.0 (E39)
IV2.0 X4 (E19)
IV5.5 ³ X6 (E39)
IV1.6 X15 (E39)
IV3.5 ³ X6 (E25)

※B

IV5.5 ³ X6 E2.0 (E39)
IV2.0 X4 (E19)
IV5.5 ³ X4 (E39)
IV1.6 X9 (E31)
IV3.5 ³ X6 (E25)

※C

IV5.5 ³ X6 E2.0 (E39)
IV5.5 ³ X4 (E25)
IV1.6 X6 (E31)
IV3.5 ³ X6 (E25)

※D

IV5.5 ³ X6 E2.0 (E39)
IV1.6 X6 (E31)
IV3.5 ³ X6 (E25)

※E

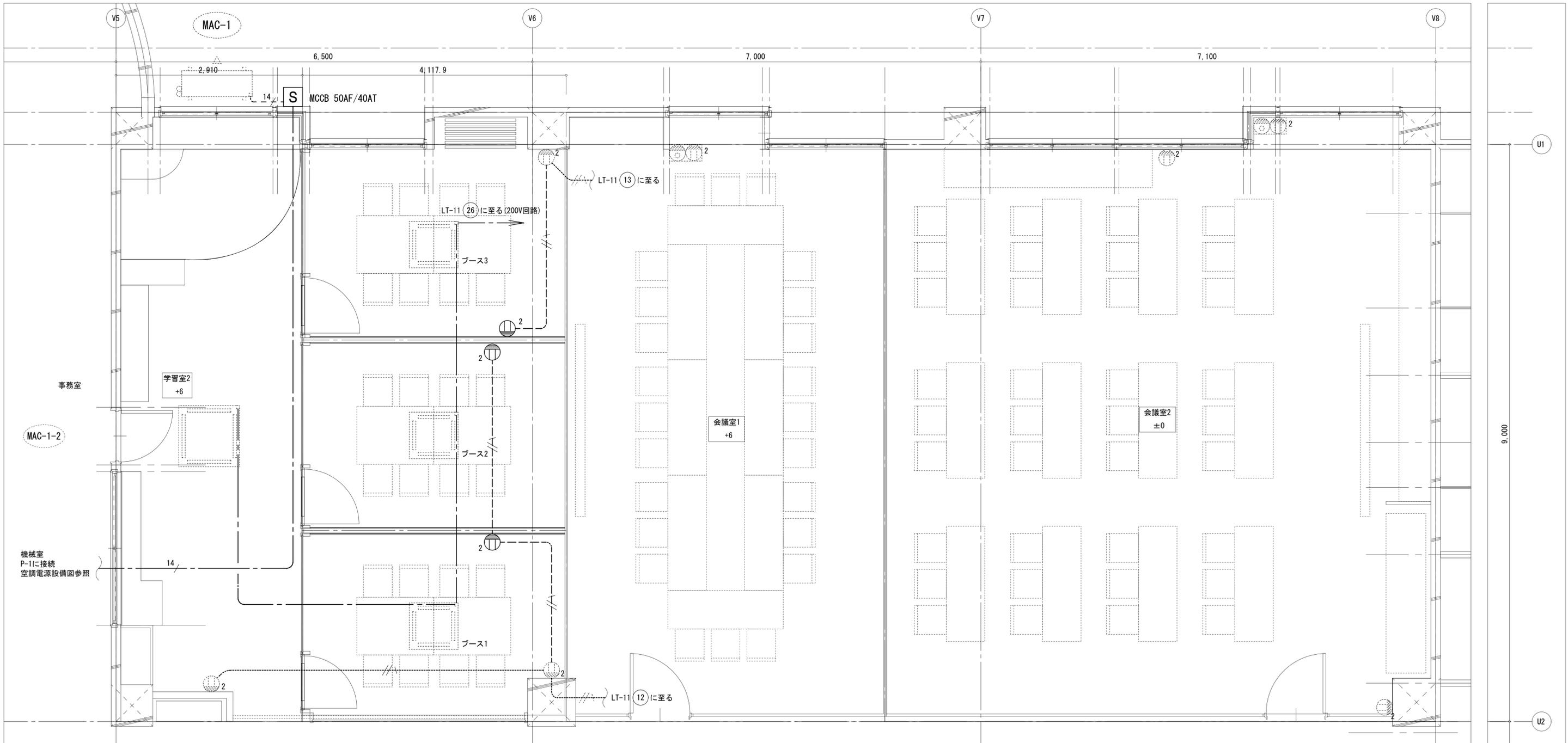
IV3.5 ³ X6 (E25)

○ BL2	17.0W	
-------	-------	--

(参考型番)
BL1:SDライティング LPL0108-3MD

電球色 (3000K)
光源光束: 2000lm, Ra80
本体: アルミ ステンレス 塗装仕上
カバー: 幅厚アクリル
塗装色: Dターググレイ
防雨型、埋込型
径: Φ110 (mm)
器具高さ: 800 (mm) 埋込深さ: 300 (mm) 基礎共

2階平面図 1/200



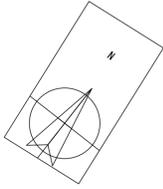
MAC-1-1
×3

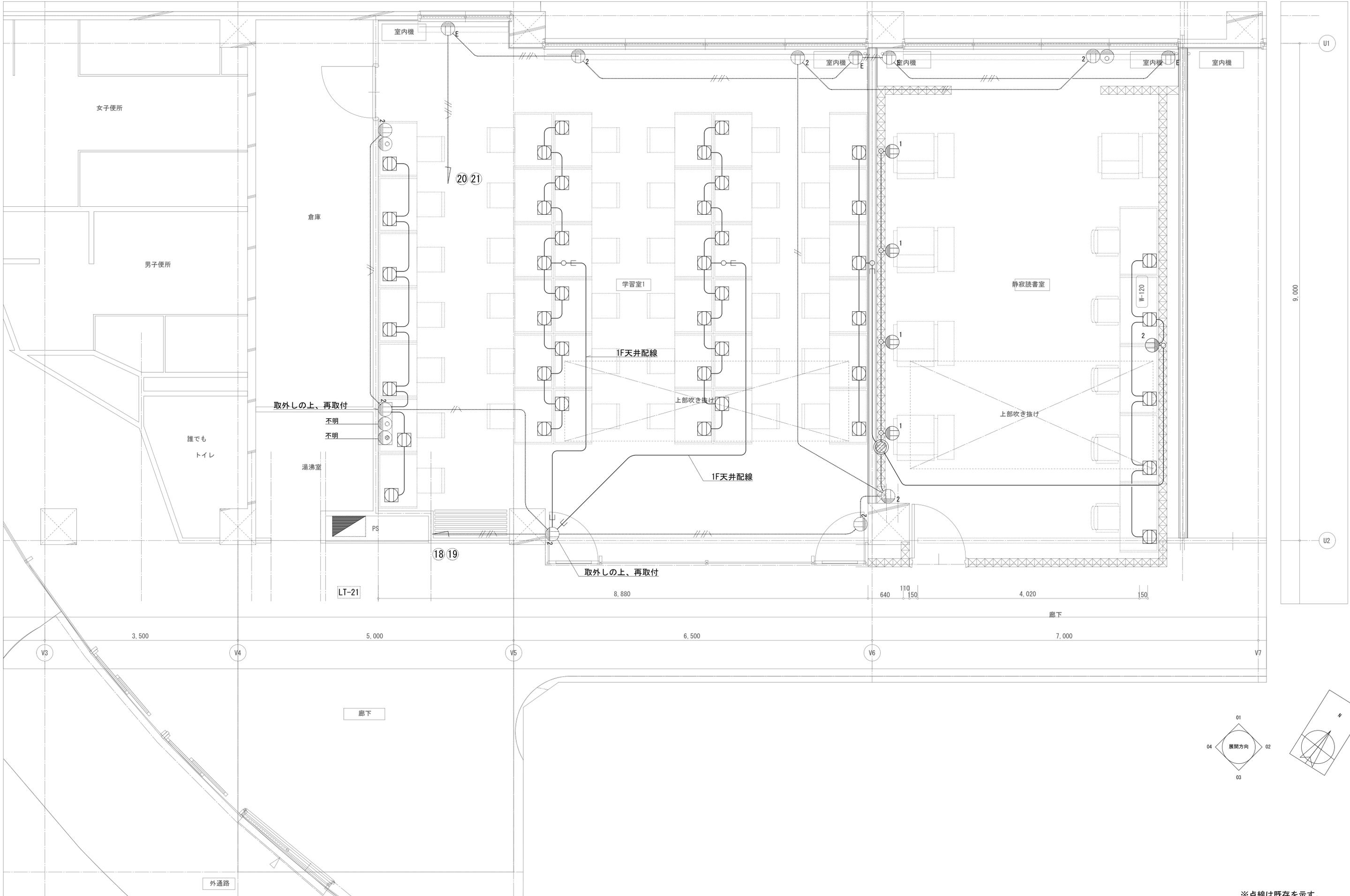
器具凡例		
記号	名称	摘要
⊕ ₂	壁付コンセント	2P15×2, 接地極付
⊕ ₂	家具コンセント	2P15×2, 接地極付
⊕ ₂	既存コンセント	
S	手元開閉器	サイズは図示

※点線は既存を示す。

注記

- 特記なき配管配線は下記による。
 既存配管配線
 - - - - 露出配管配線
 - - - - 天井配線
 - - - - 地中埋設配管配線
 - - - - 床隠ぺい配管配線
 ——— EM-EEF2.0-2G (PF16) (E19)
 ——— EM-EEF2.0-3C(10アース) (PF16) (E19)
 14 / ——— EM-CE14□-3C, E5.5 (PF36) (G36) (E39)
- 壁内の立上げ引下げ等は保護管にて保護すること。
- 防火区画および防火上主要な間仕切り壁の貫通部は、建築基準法に適合したもの、または国土交通大臣認定工法により処理を行う。





Project Title
令和7年度成田公民館図書室等改修工事

Architect
ナスカ+はりゅうウッドスタジオ設計共同体
 Engineer 設備: Z O設計室

1級建築士事務所 有限会社ナスカ
 東京都知事登録第39348号
 東京都新宿区戸山3-15-1日本駐車ビル4階
 一級建築士 八木佐千子 第215039号

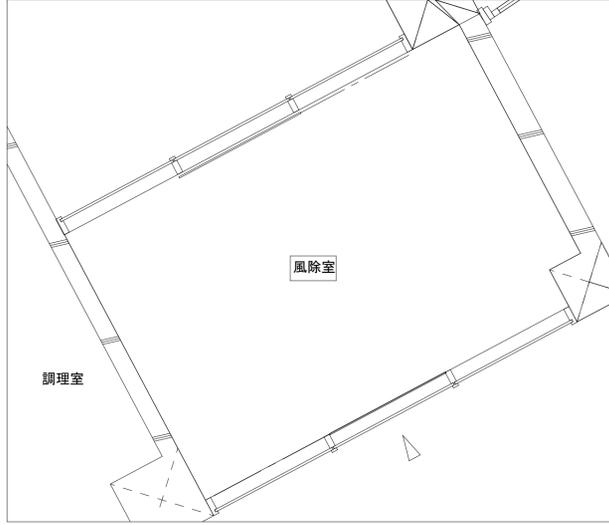
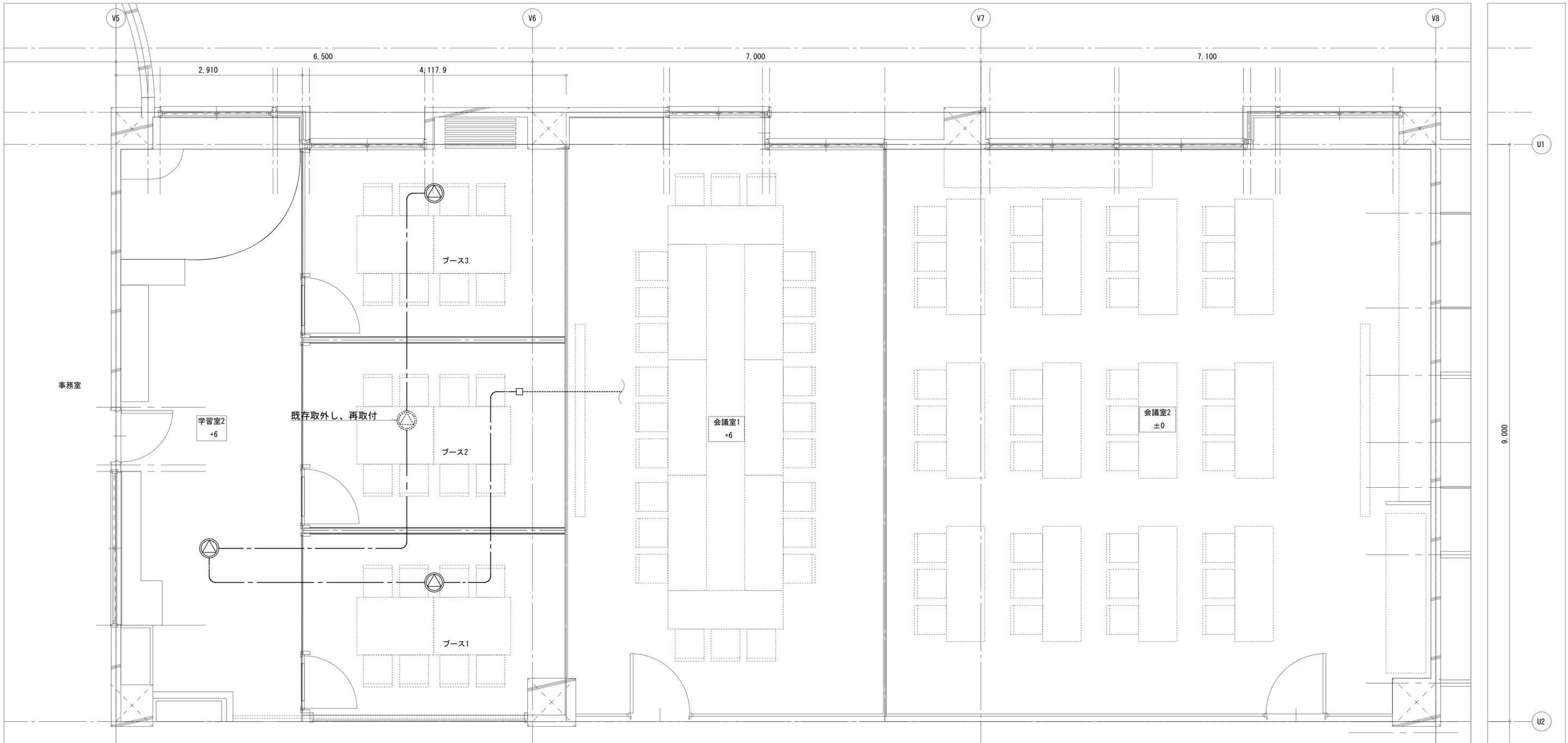
株式会社はりゅうウッドスタジオ
 福島県知事登録第16 (007)0239号
 福島県南会津郡南会津町針生字島井戸1186
 一級建築士 斉藤光 第336277号 一級建築士 滑田崇志 第344323号

Date 2025年2月28日 金曜日
 実施設計
 Drawn by H. SAITO
 Checkd by S. YAGI

Name of Drawing
**コンセント設備
 2階平面図**

scale
 A1 1/30
 A3 1/60
 Drawing no
E. 08

※点線は既存を示す。



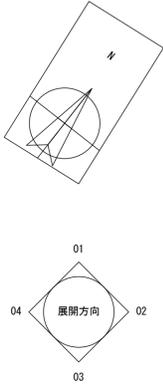
天井埋込型スピーカー (ATT無)

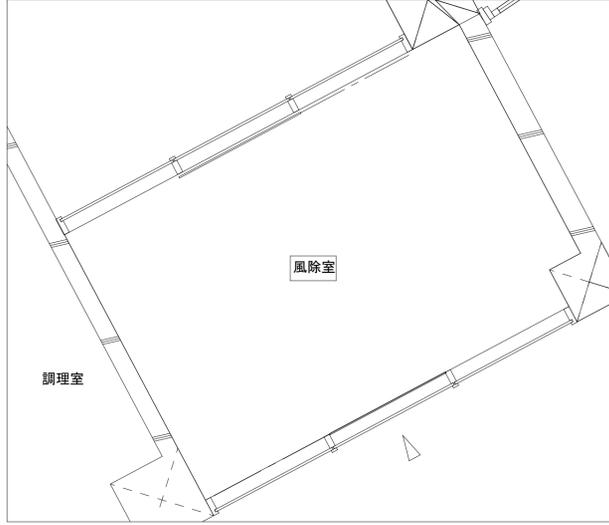
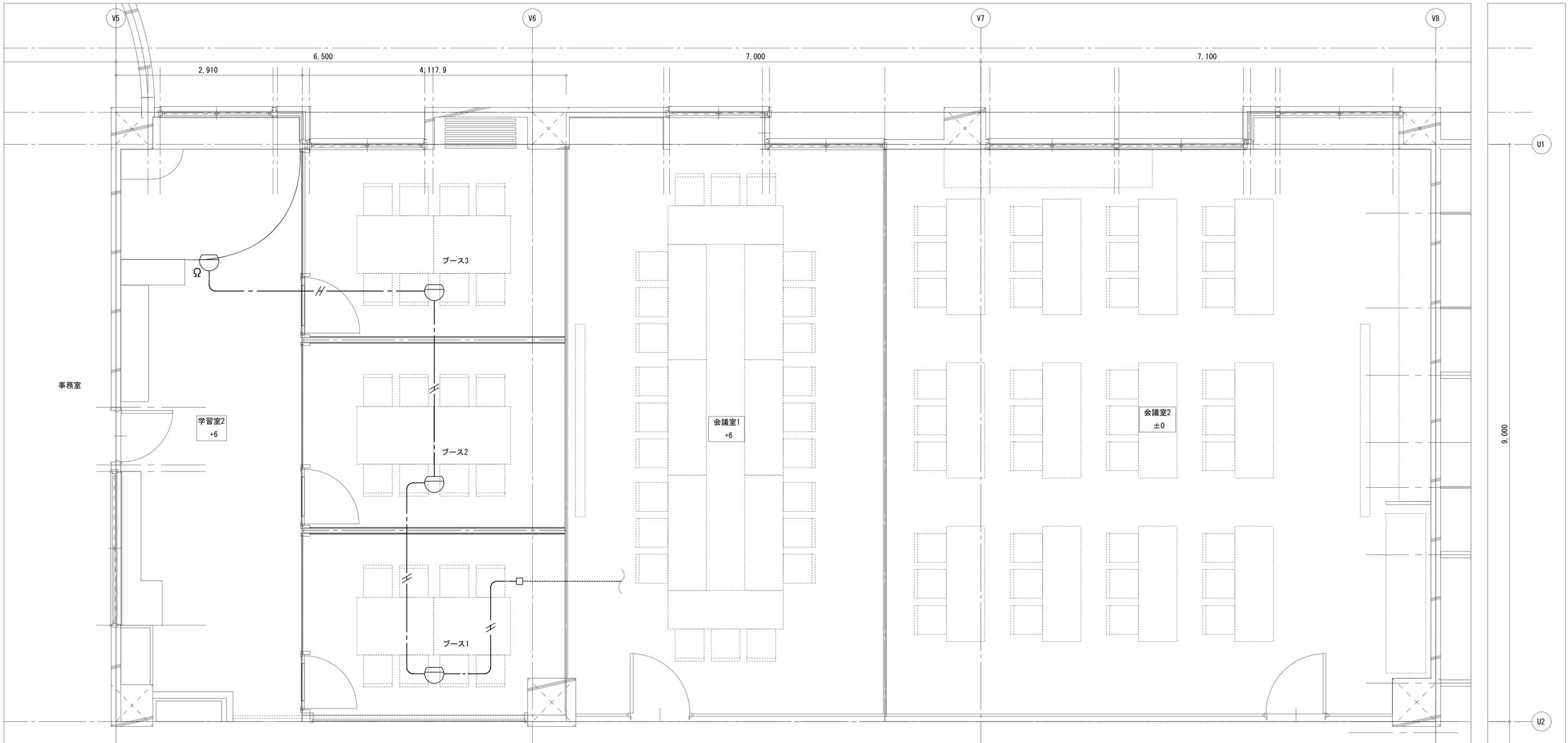
L級

スピーカーユニット	8 cmコーン型
定格入力	3 W/1 W
出力音圧レベル	92 dB/W (1 m)
周波数特性	150 Hz~20 kHz
入力インピーダンス	3.3 kΩ/10 kΩ
本体仕上	黒色モールド成型
パネル/フレーム	アルミパンチング/ABS樹脂

器具凡例		
記号	名称	摘要
⊙	天井埋込型スピーカー	
□	ジャンクション	
⊞	プルボックス	

- 注記**
- 特記なき配管配線は下記による。
 — 隠ぺい配管配線
 - - - 露出配管配線
 - - - 天井配線
 - - - 既存配線
 — EM-HP1.2-3C (PF16) (E19)
 - - EM-HP1.2-2C (PF16) (E19)
 - 壁内の立上げ引下げ等は保護管にて保護すること。
 - 防火区画および防火上主要な間仕切り壁の貫通部は、建築基準法に適合したもの、または国土交通大臣認定工法により処理を行う。

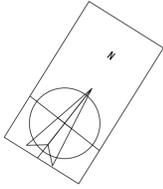


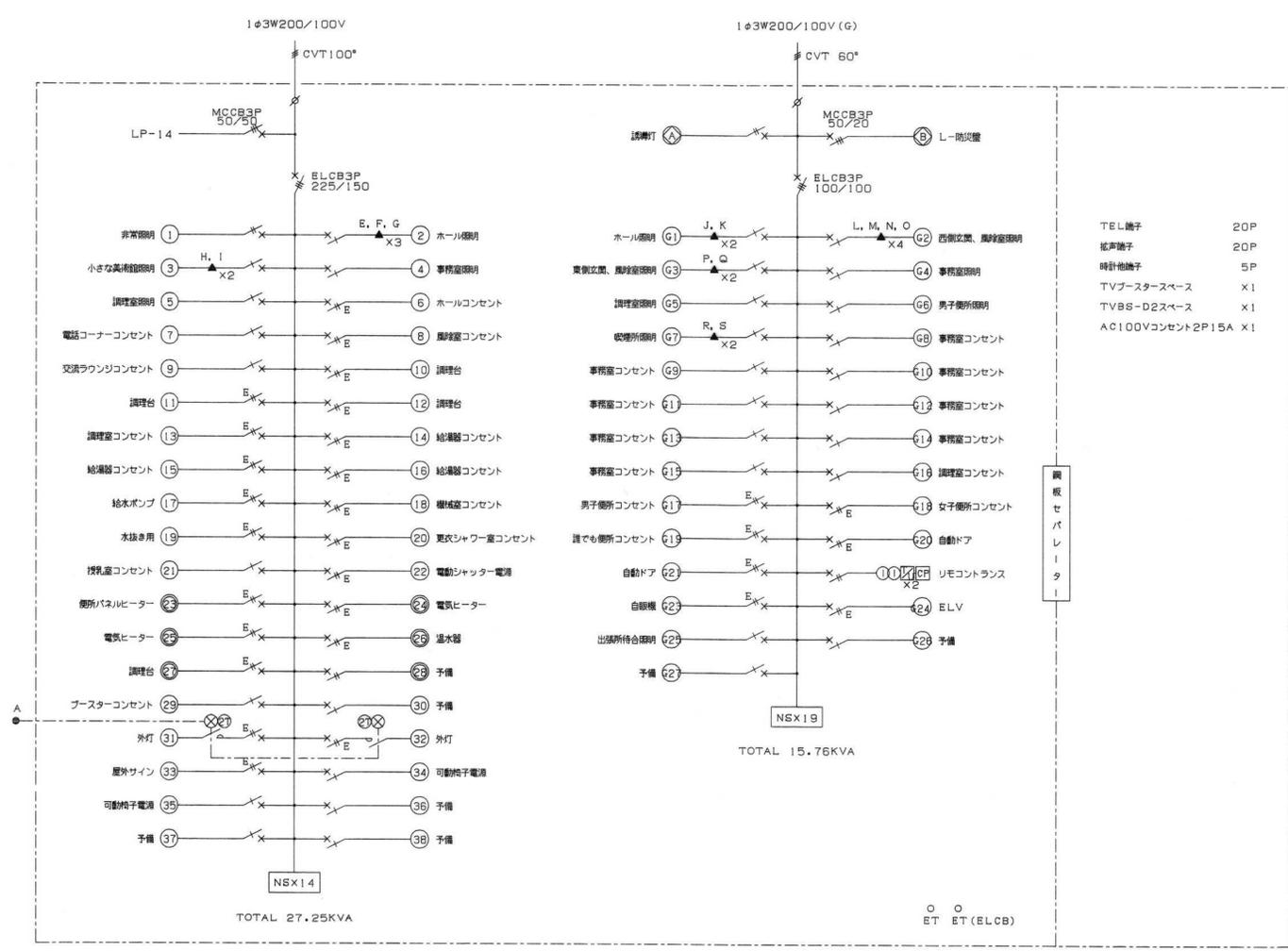
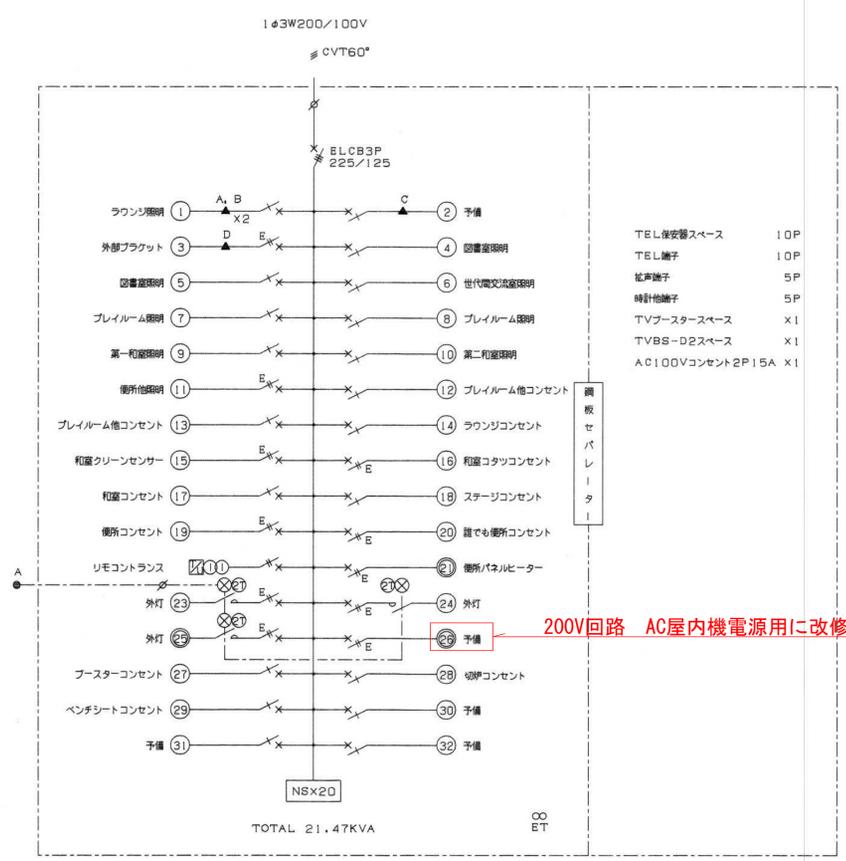


器具凡例		
記号	名称	摘要
⊖	差動式スポット型感知器	2種, 防水型, 自動試験機能付
□	ジャンクション	
⊞	プルボックス	

※点線は既存を示す。

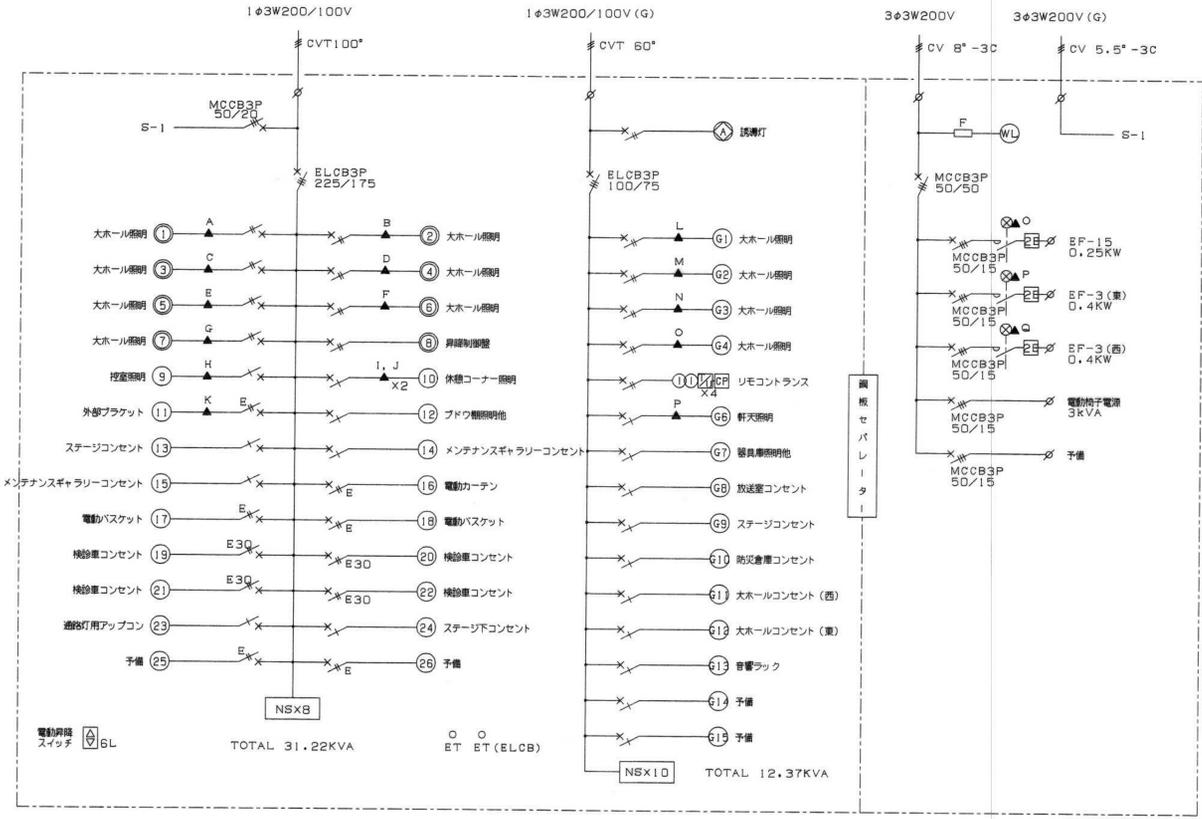
- 注記**
- 特記なき配管配線は下記による。
 — 隠ぺい配管配線
 - - - 露出配管配線
 - - - 天井配線
 既存配線
 - 壁内の立上げ引下げ等は保護管にて保護すること。
 - 防火区画および防火上主要な間仕切り壁の貫通部は、建築基準法に適合したもの、または国土交通大臣認定工法により処理を行う。



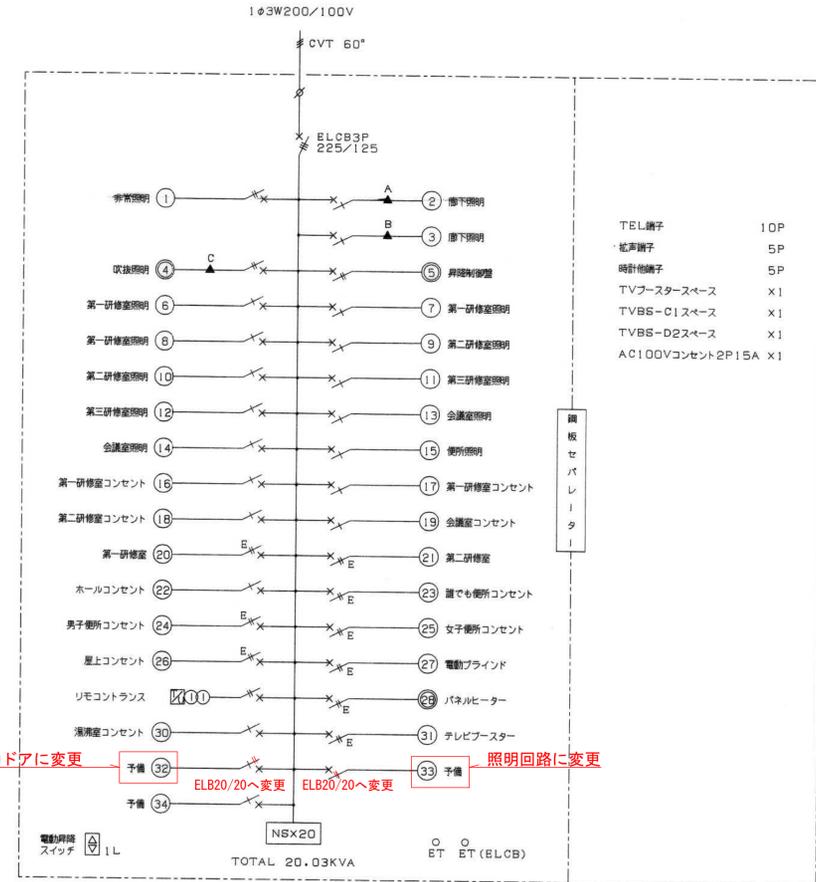


凡例

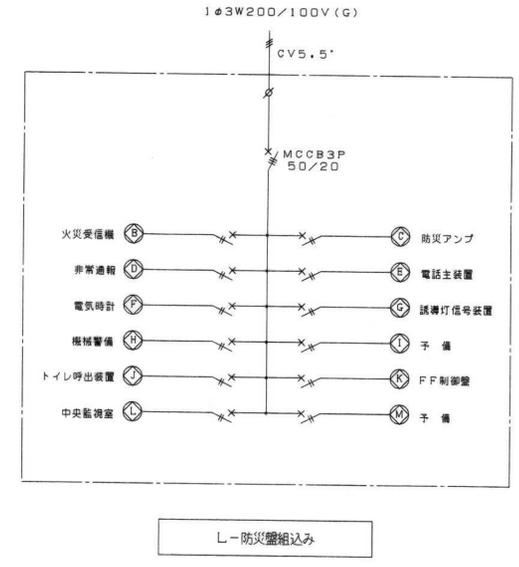
—X—	: MCCB 2P 50AF/20AT	▲	: リモコンリレー
—X—	: MCCB 2P 50AF/20AT	○	: リモコンランス
—X— E	: ELCB 2P 50AF/20AT	㊲	: リモコン制御ユニット (4L)
—X— E30	: ELCB 2P 50AF/30AT	EF	: リモコン制御器
—X— 3P30A	: MCCB 3P 50AF/30AT	Ⓢ	: 200V回路
		Ⓣ	: 100V回路



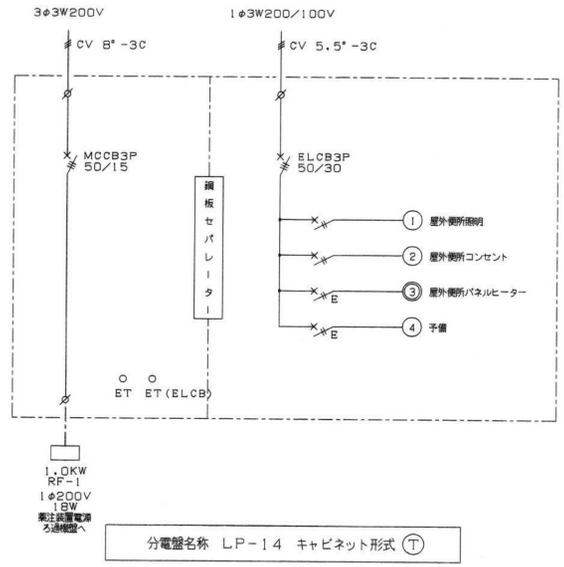
分電盤名称 LP-13 キャビネット形式 (V)



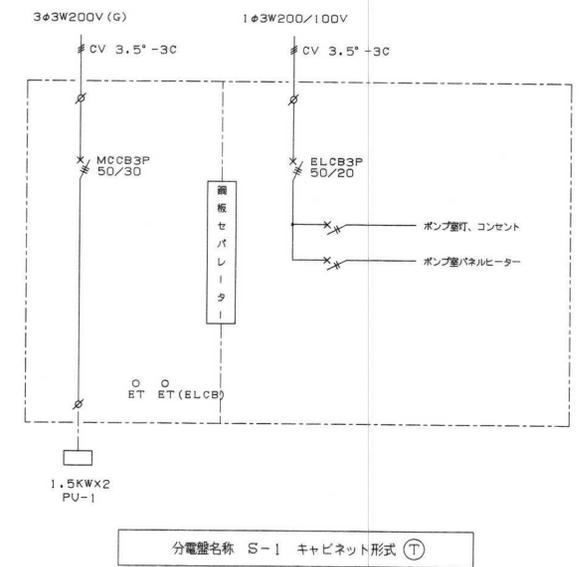
分電盤名称 LT-21 キャビネット形式 (G)



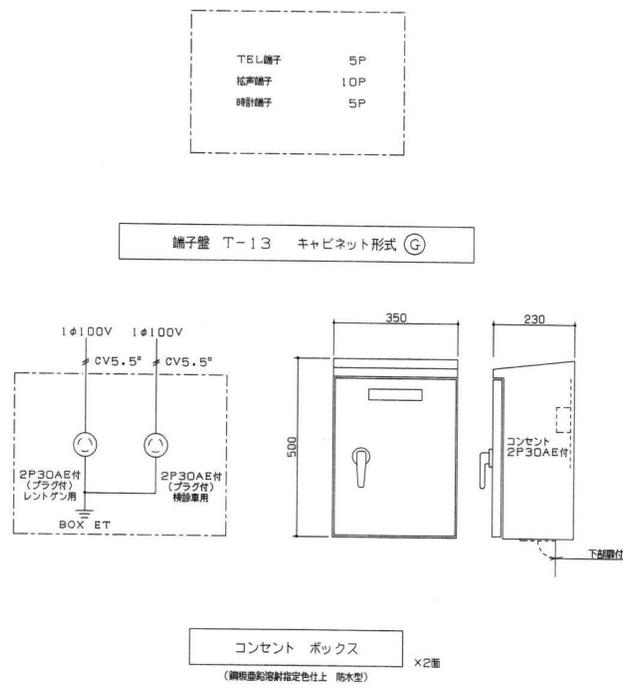
L-防炎盤組込み



分電盤名称 LP-14 キャビネット形式 (T)

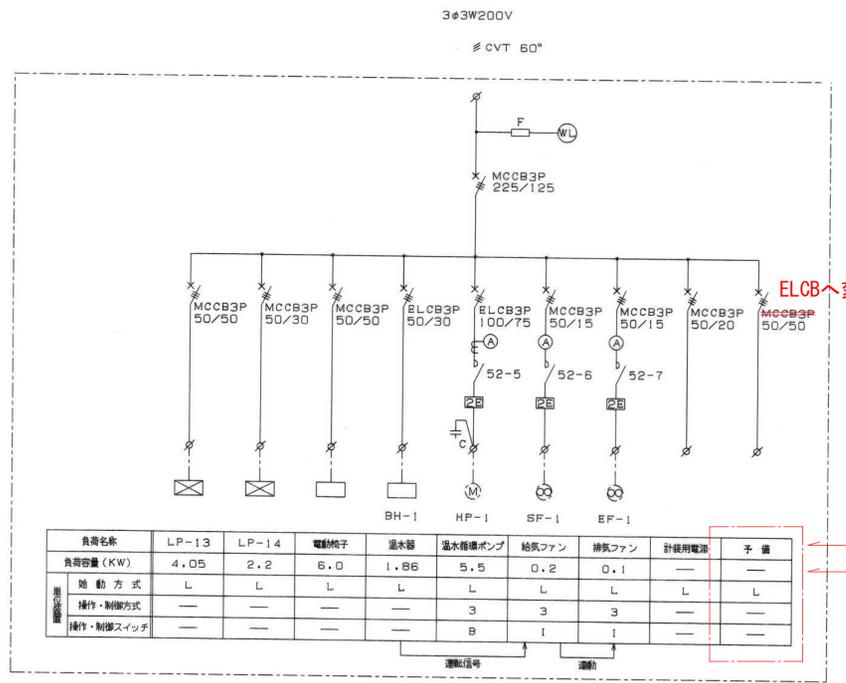


分電盤名称 S-1 キャビネット形式 (T)



端子盤 T-13 キャビネット形式 (G)

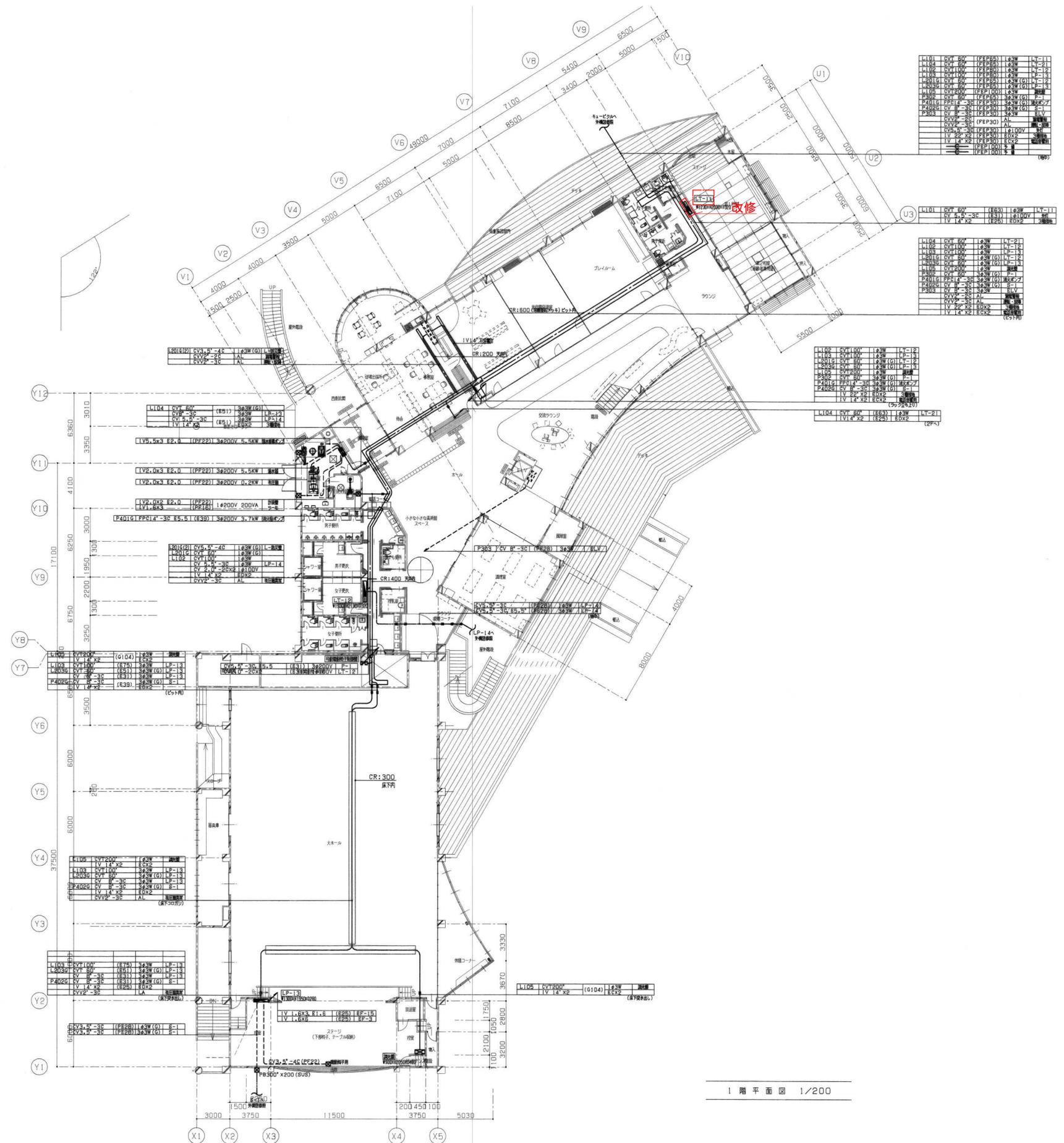
コンセント ボックス (X2面)



制御盤名称 P-1 キャビネット形式 (V)

負荷名称	LP-13	LP-14	電動椅子	温水器	温水循環ポンプ	給気ファン	排気ファン	計装用電源	予備
負荷容量 (KW)	4.05	2.2	6.0	1.86	5.5	0.2	0.1	—	—
始動方式	L	L	L	L	L	L	L	—	—
操作・制御方式	—	—	—	—	3	3	3	—	—
操作・制御スイッチ	—	—	—	—	B	I	I	—	—

MAC-1へ変更
5.64kw



1階平面図 1/200

凡例	
記号	用途
✕	撤去
- - -	改修範囲



記号凡例 ※特記無き記号は下記による

	VVF1.6-2C
	VVF1.6-3C
	VVF2.0-2C
	VVF2.0-3C
	VVF1.6-2CX2
	VVF1.6-2CX3C
	VVF1.6-3CX2
	VVF2.0-2CX2
	VVF2.0-2CX3C
	VVF2.0-3CX2
	IV 1.6X2 (PF16)
	IV 1.6X3 (PF16)
	IV 1.6X4 (PF16)
	IV 1.6X5 (PF16)
	IV 1.6X6 (PF22)
	IV 2.0X2 (PF16)
	IV 2.0X3 (PF16)
	IV 2.0X4 (PF16)
	IV 2.0X5 (PF22)
	IV 2.0X6 (PF22)
	IV 1.6X2 (E19)
	IV 1.6X3 (E19)
	IV 1.6X4 (E19)
	IV 1.6X5 (E25)
	IV 1.6X6 (E25)
	IV 2.0X2 (E19)
	IV 2.0X3 (E19)
	IV 2.0X4 (E25)
	IV 2.0X5 (E25)
	IV 2.0X6 (E25)
	OPEV-S 1.2-3P
	OPEV-S 1.2-3P (PF16)
	OPEV-S 1.2-3P (PF18)
	OPEV-S 1.2-3P (E19)

1階平面図 1/200

凡例	
記号	用途
	撤去
	改修範囲

Project Title
令和7年度成田公民館図書室等改修工事

Architect
ナスカ+はりゅうウッドスタジオ設計共同体
Engineer 設備: Z O設計室

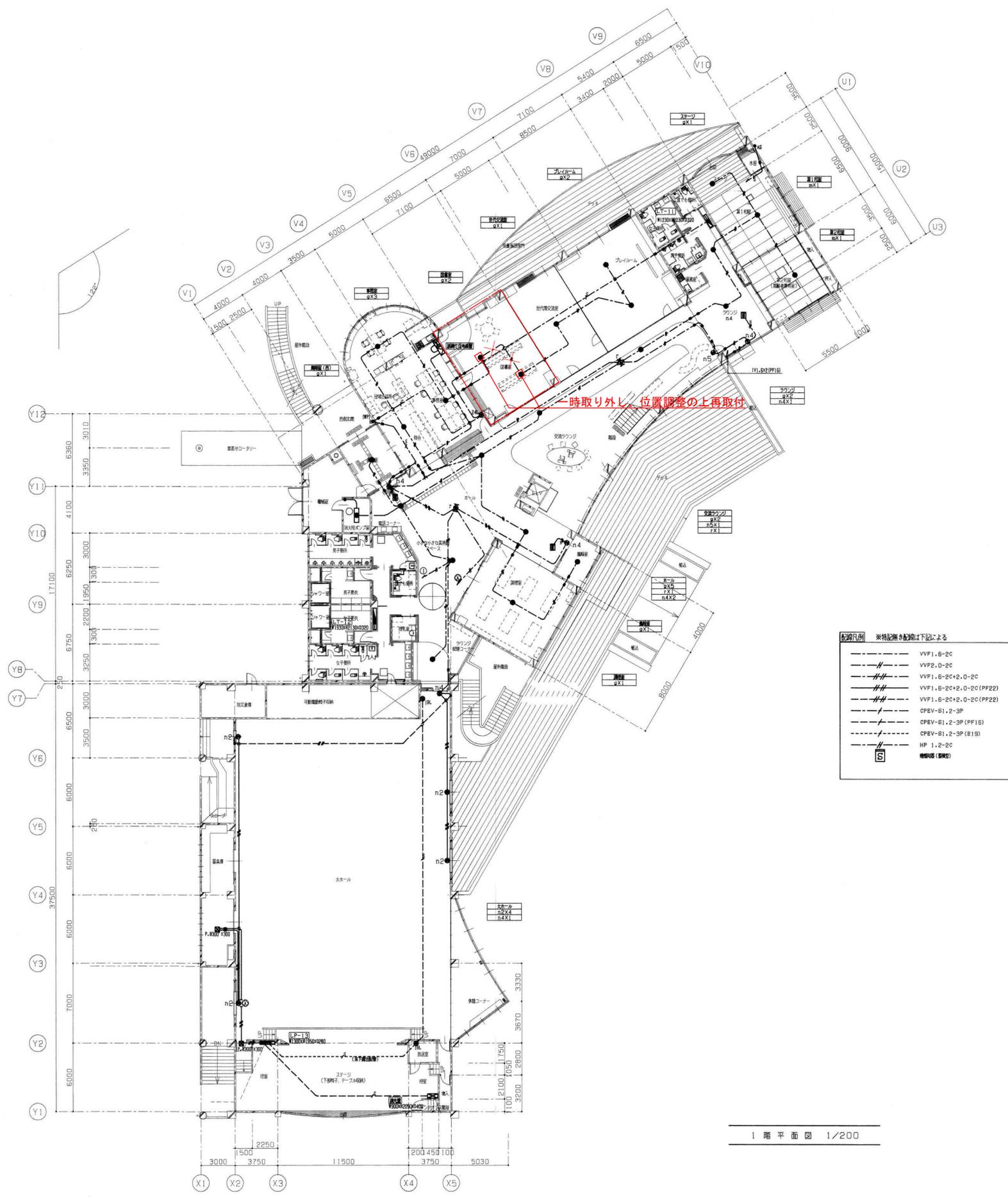
1級建築士事務所 有限会社ナスカ
東京都知事登録第39348号
東京都新宿区戸山3-15-1日本駐車ビル4階
一級建築士 八木佐千子 第215039号

株式会社はりゅうウッドスタジオ
福島県知事登録第16 (007)0239号
福島県南会津郡南会津町針生字島井1186
一級建築士 斉藤光 第336277号 一級建築士 滑田崇志 第344323号

Date 2025年2月28日 金曜日
実施設計
Drawn by H. SAITO
Checked by S. YAGI

Name of Drawing
撤去図
電灯設備
1階平面図

scale
A1 1:200
A3 1:400
Drawing no
ER.04



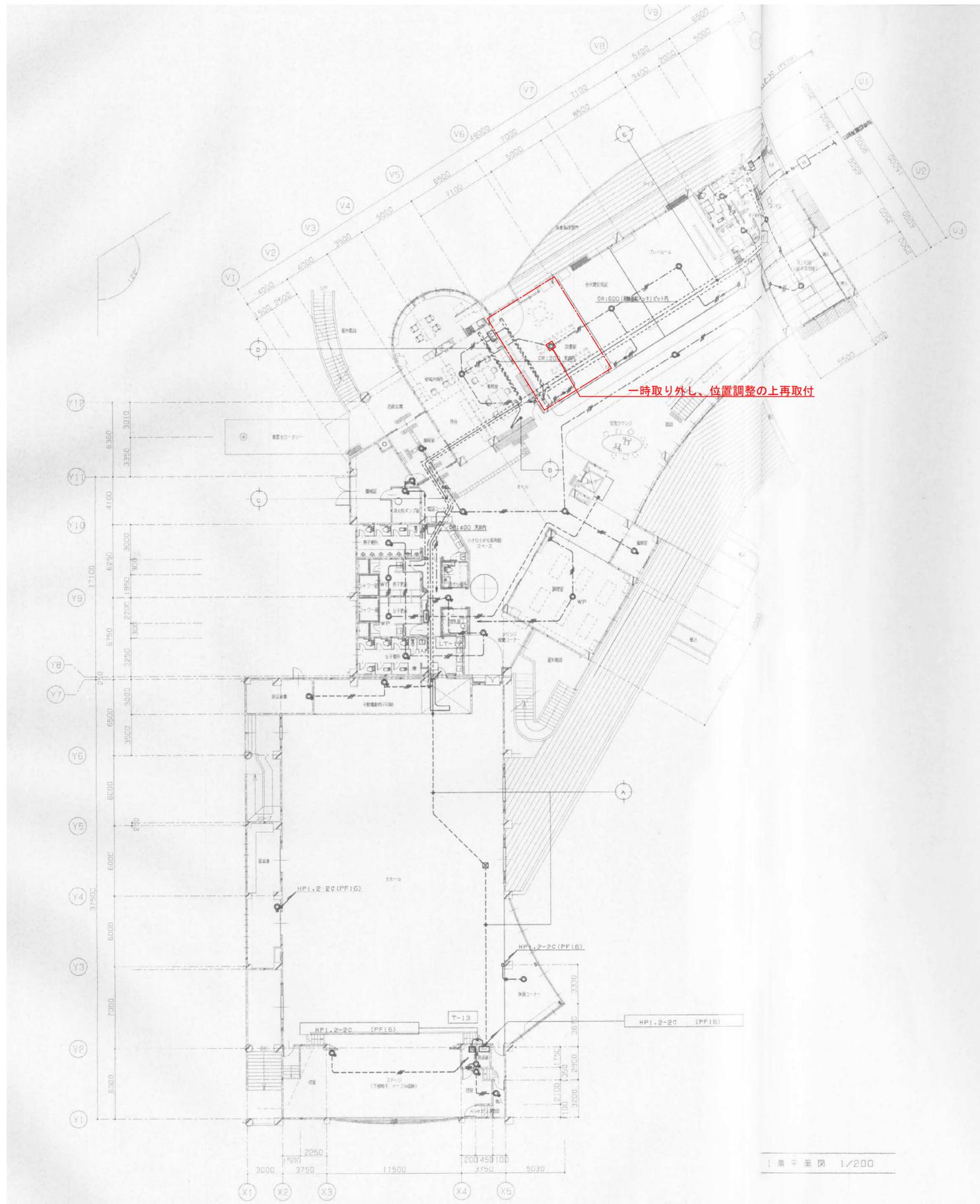
記号凡例 ※特記無き配線は下記による

---	VVF1-B-2C
---	VVF2-D-2C
---	VVF1-B-2C+2-G-2C
---	VVF1-B-2C+2-G-2C(PF22)
---	VVF1-B-2C+2-G-2C(PF22)
---	CPEV-S1,2-3P
---	CPEV-S1,2-3P(PF16)
---	CPEV-S1,2-3P(E19)
---	HP 1,2-2C
Ⓢ	警報機(警報機)

凡例

記号	用途
✕	撤去
⋯	改修範囲

1階平面図 1/200



凡例	
記号	用途
✕	撤去
- - -	改修範囲

Project Title
 令和7年度成田公民館図書室等改修工事

Architect
 ナスカ+はりゅうウッドスタジオ設計共同体
 Engineer 設備: Z O設計室

1級建築士事務所 有限会社ナスカ
 東京都知事登録第39348号
 東京都新宿区戸山3-15-1日本駐車ビル4階
 一級建築士 八木佐千子 第215039号

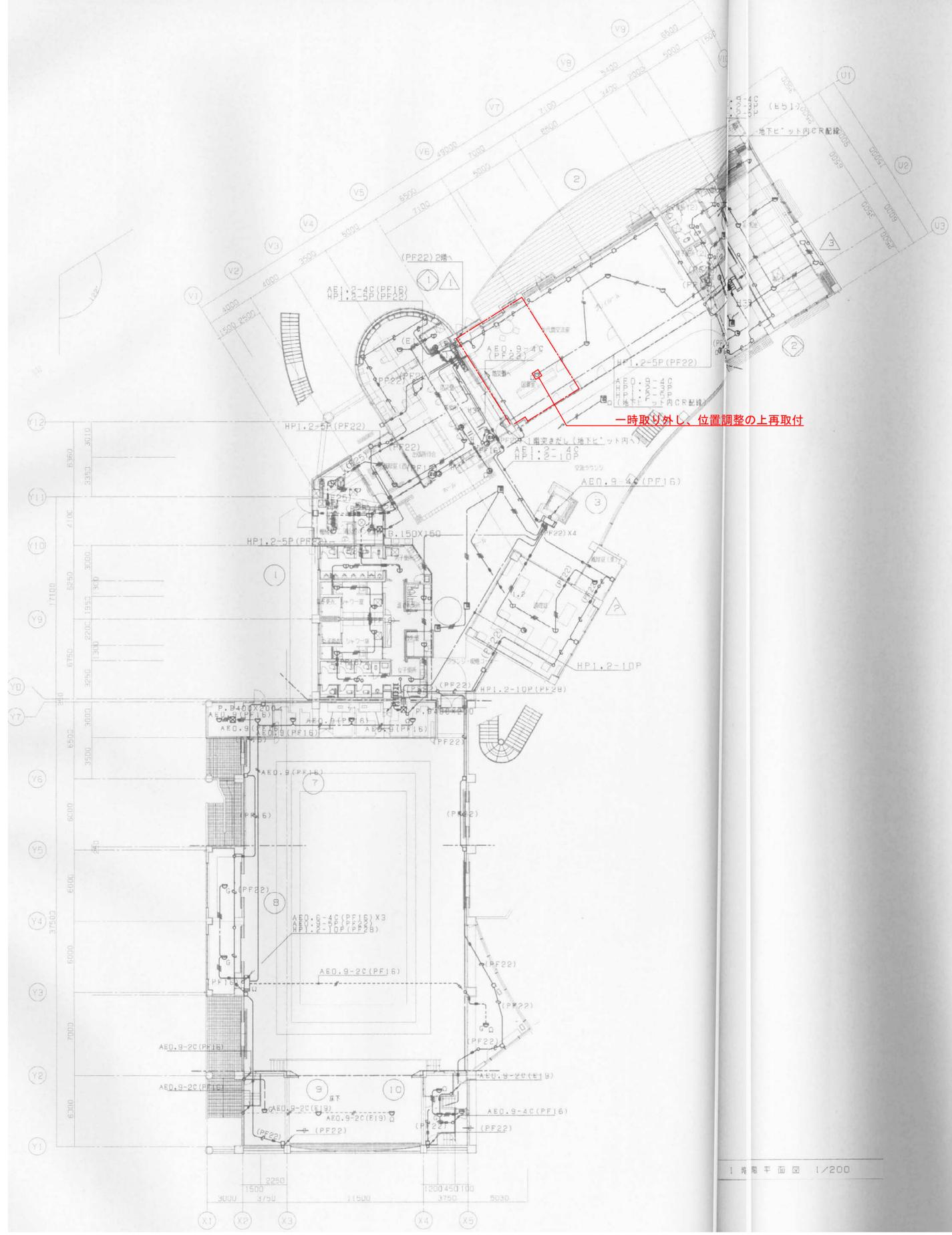
株式会社はりゅうウッドスタジオ
 福島県知事登録第16 (007)0239号
 福島県南会津郡南会津町針生字島井戸1186
 一級建築士 斉藤光 第336277号 一級建築士 滑田崇志 第344323号

Date 2025年2月28日 金曜日
 実施設計
 Drawn by H. SAITO
 Checkd by S. YAGI

Name of Drawing
 撤去図
 放送設備
 1階平面図

scale
 A1 1:200
 A3 1:400

Drawing no
 ER.06



一時取り外し、位置調整の上再取付

凡例	
記号	用途
✕	撤去
- - -	改修範囲

令和7年度成田公民館図書室等改修工事

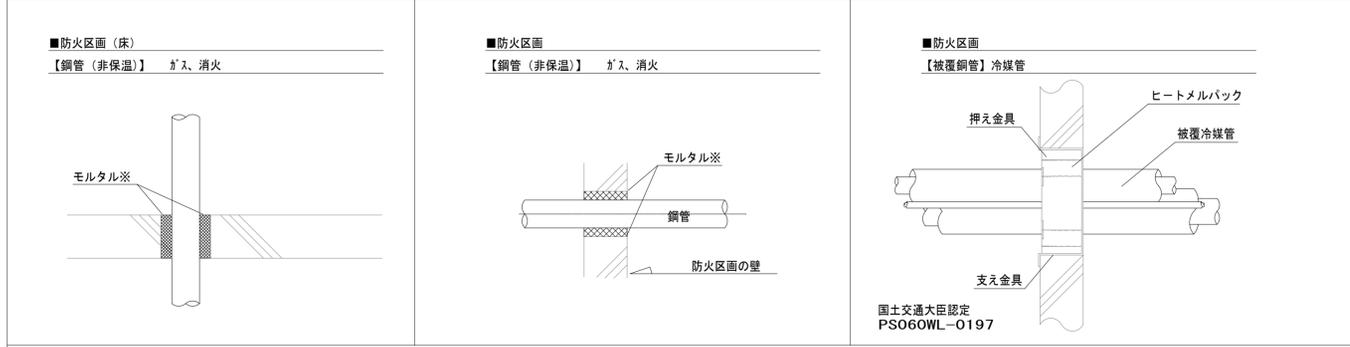
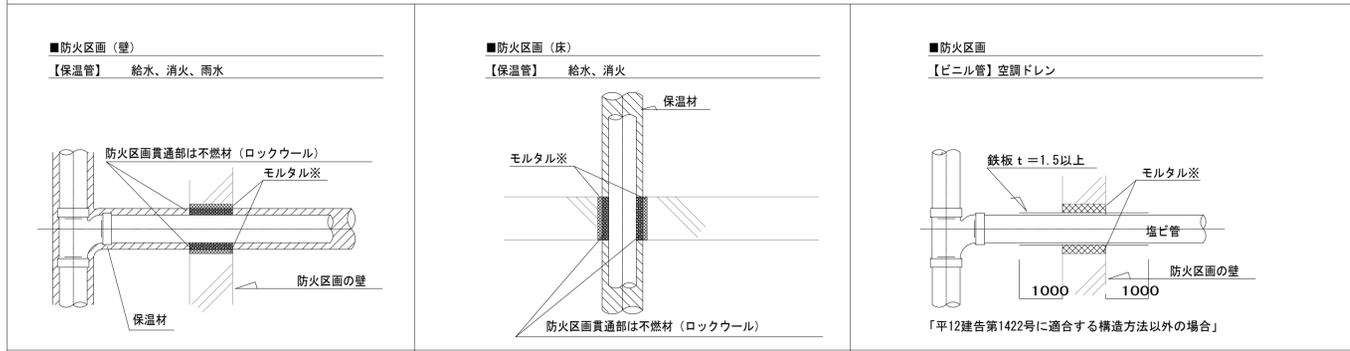
2025年2月28日金曜日

図面リスト_機械設備		図面リスト_機械設備	
図番	図名	図番	図名
M-00	図面リスト	MR-03	撤去図 空調換気設備 機器表
M-01	機械設備 特記仕様書	MR-04	撤去図 空調換気設備 1階平面図
M-02	機械設備 施工要領書(1)		
M-03	機械設備 施工要領書(2)		
M-04	機械設備 施工要領書(3)		
M-05	機械設備 凡例・注記		
M-06	機械設備 改修範囲図 1階平面図		
M-07	機械設備 改修範囲図 2階平面図		
MA-01	空調換気設備 機器表・系統図		
MA-02	空調設備(配管) 1階平面図		
MA-03	空調換気設備(ダクト) 1階平面図		
MR-01	撤去図 衛生設備 機器表・器具表		
MR-02	撤去図 衛生設備 1階平面詳細図		

Project Title 令和7年度成田公民館図書室等改修工事	Architect ナスカ+はりゅうウッドスタジオ設計共同体 Engineer 設備: Z 0設計室	1級建築士事務所 有限会社ナスカ 東京都知事登録第39348号 東京都新宿区戸山3-15-1日本駐車ビル4階 一級建築士 八木佐千子 第215039号	株式会社はりゅうウッドスタジオ 福島県知事登録第16 (007)0239号 福島県南会津郡南会津町針生字島井戸1186 一級建築士 斉藤光 第336277号 一級建築士 滑田崇志 第344323号	Date 2025年2月28日 金曜日 実施設計 Drawn by H. SAITO Checked by S. YAGI	Name of Drawing 機械設備 図面リスト scale A1 N・S A3 N・S Drawing no M.00
-------------------------------------	--	--	---	---	---

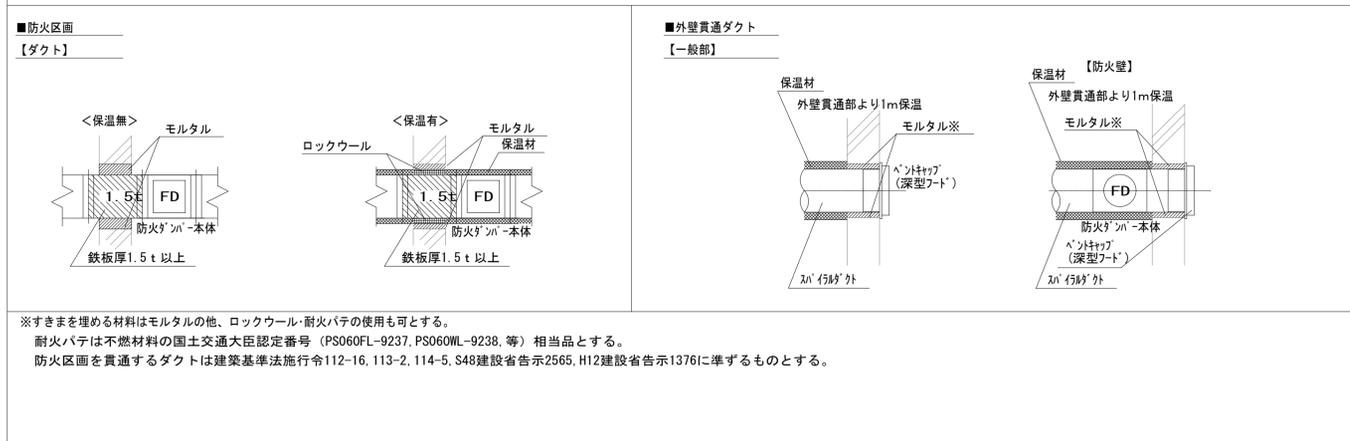
1 防火区画配管・ダクト貫通部処理要領図

法第26条防火壁を貫通する風道に設ける防火設備、および給水管、配電管その他の管と防火壁とのすき間を埋める材料

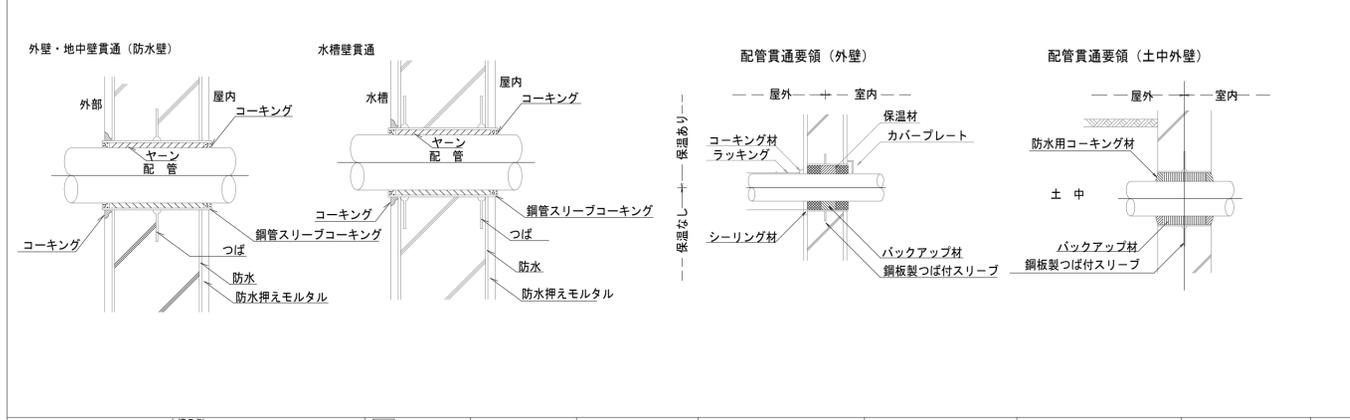


※すきまを埋める材料はモルタルの他、ロックウール・耐火バテの使用も可とする。
耐火バテは不燃材料の国土交通大臣認定番号 (NM-1691等) 相当品とする。
防火区画を貫通する配管は建築基準法施行令112-15、113-2、114-5、129の2の5に準ずるものとする。

※耐火二層管の防火区画貫通工法は建築基準法68条の26第1項の規定、同法施行令第129条の2の5第1項第七号ハに基づく下記の認定工法とする。
国土交通大臣認定 PS060 FL-0383 (床)
国土交通大臣認定 PS060 WL-0380 (壁)
国土交通大臣認定 PS060 WL-0312 (中空壁)

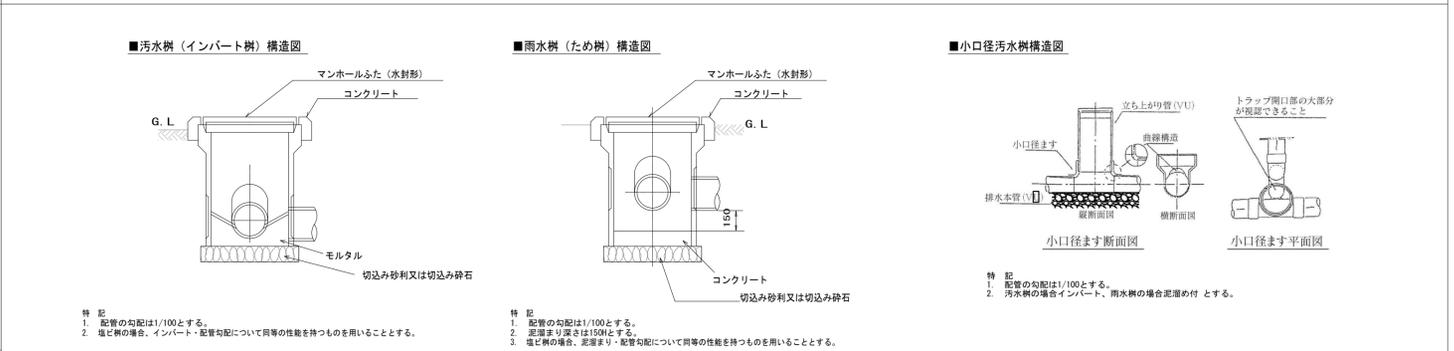


※すきまを埋める材料はモルタルの他、ロックウール・耐火バテの使用も可とする。
耐火バテは不燃材料の国土交通大臣認定番号 (PS060FL-9237、PS060WL-9238、等) 相当品とする。
防火区画を貫通するダクトは建築基準法施行令112-16、113-2、114-5、S48建設省告示2565、H12建設省告示1376に準ずるものとする。



水種凡例	床面開口	屋内消火栓	タラップ	軽量鉄骨間仕切	R2壁・二重壁	(A) 排水側溝(他)	床仕上げレベル	既存建物外縁
雨水	マンホール	釜	OB	R2壁	R2壁+下地	SUS製床点字板	スラブ天端レベル	既存建物下地床外縁(想定)

3 樹参考図



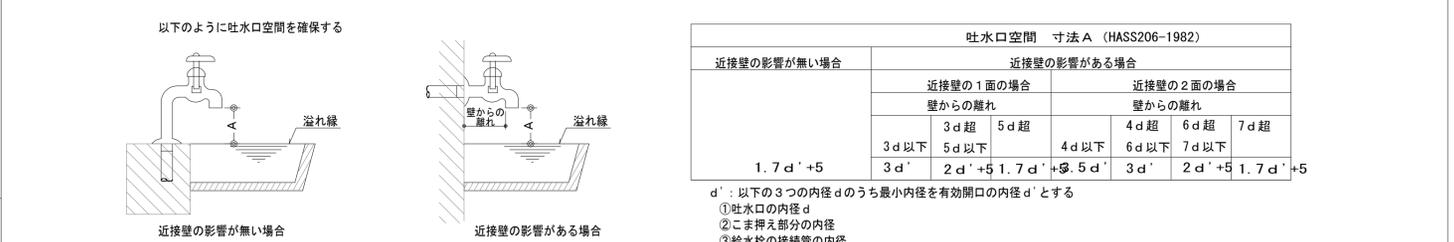
特記
1. 配管の勾配は1/100とする。
2. 塩ビ管の場合、インパット・配管勾配について同等の性能を持つものを用いることとする。

特記
1. 配管の勾配は1/100とする。
2. 遮断まり深さは150とする。
3. 塩ビ管の場合、遮断まり・配管勾配について同等の性能を持つものを用いることとする。

特記
1. 配管の勾配は1/100とする。
2. トラップ開口部の大部分が視認できること

4 水栓と衛生器具の吐水口空間確保要領図

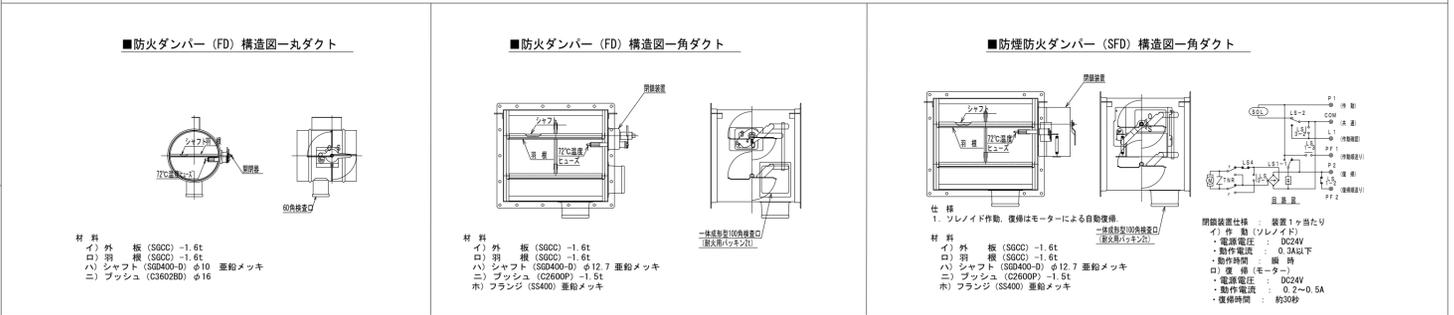
※建築基準法施行令129の2の5に準ずるものとする



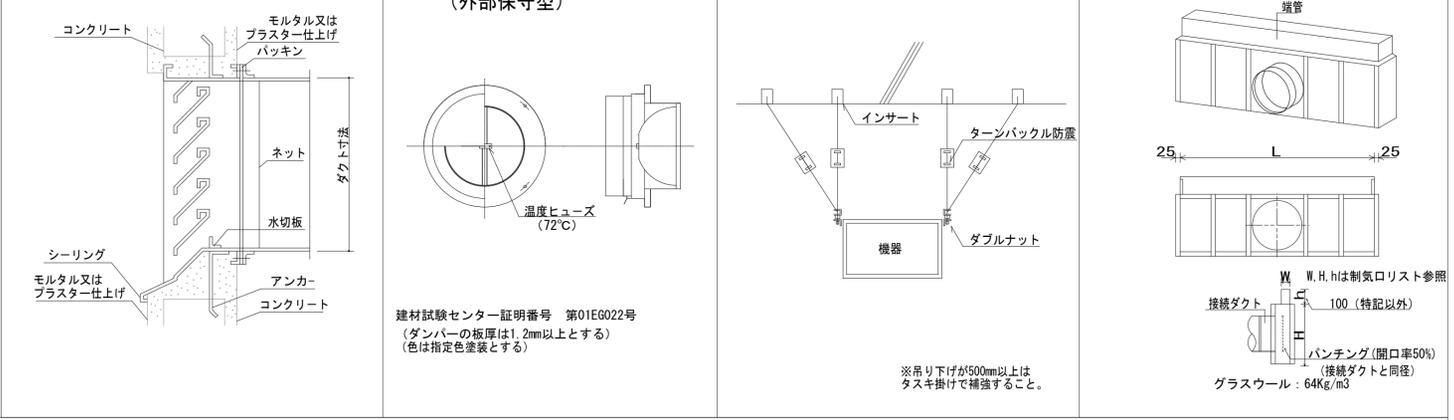
特記事項
1. 膨張タンクには安全弁 (送り弁・機器付属品) を設置するものとする。
2. 空調機械室への給水は、吐水口空間を確保する。

5 風道等に用いるダンパ等の構造図

当該機器と性能等が同一仕様のものを用いることとする



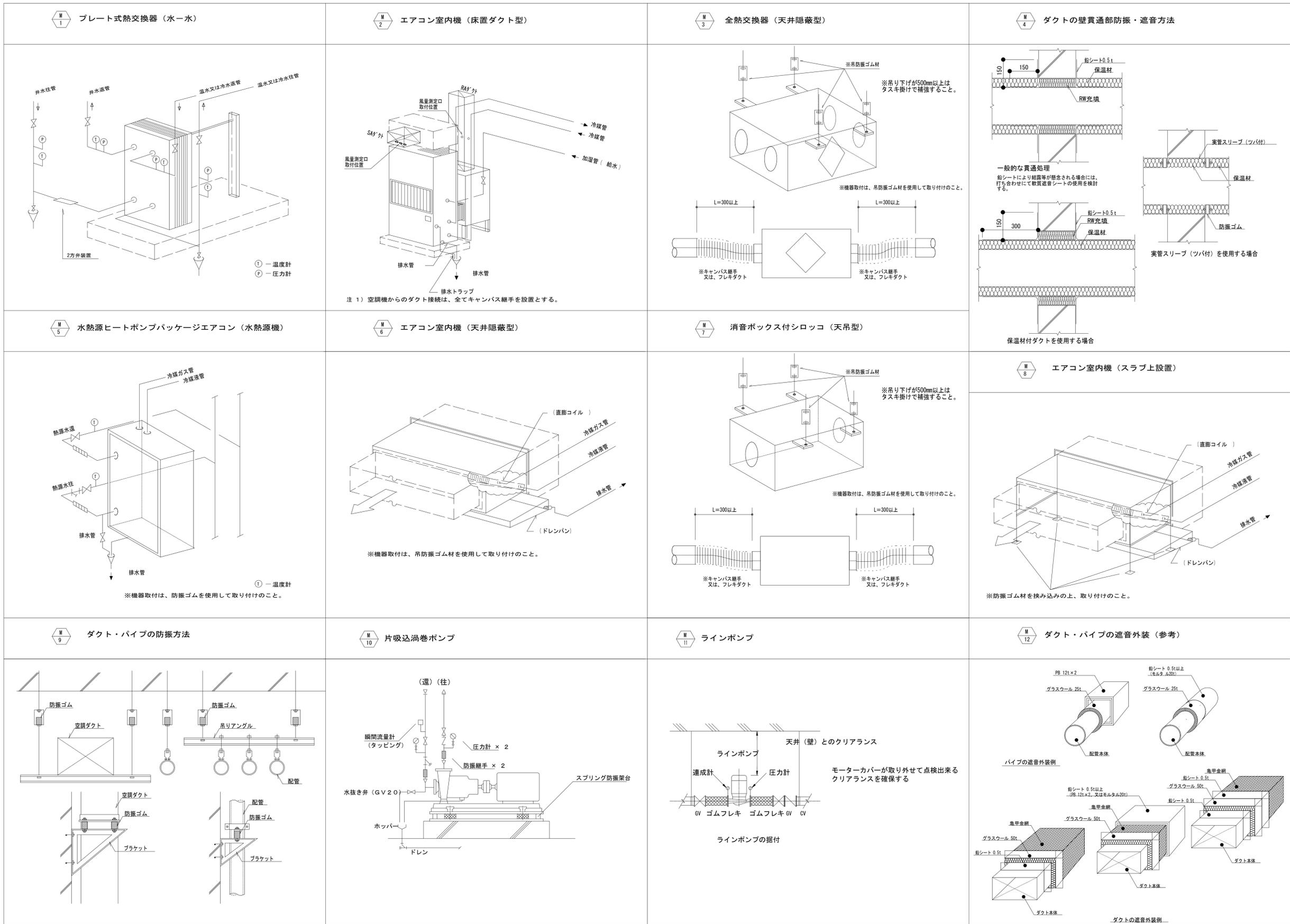
2 外壁・地中壁貫通配管要領図



水種凡例	床面開口	屋内消火栓	タラップ	軽量鉄骨間仕切	R2壁・二重壁	(A) 排水側溝(他)	床仕上げレベル	既存建物外縁
雨水	マンホール	釜	OB	R2壁	R2壁+下地	SUS製床点字板	スラブ天端レベル	既存建物下地床外縁(想定)

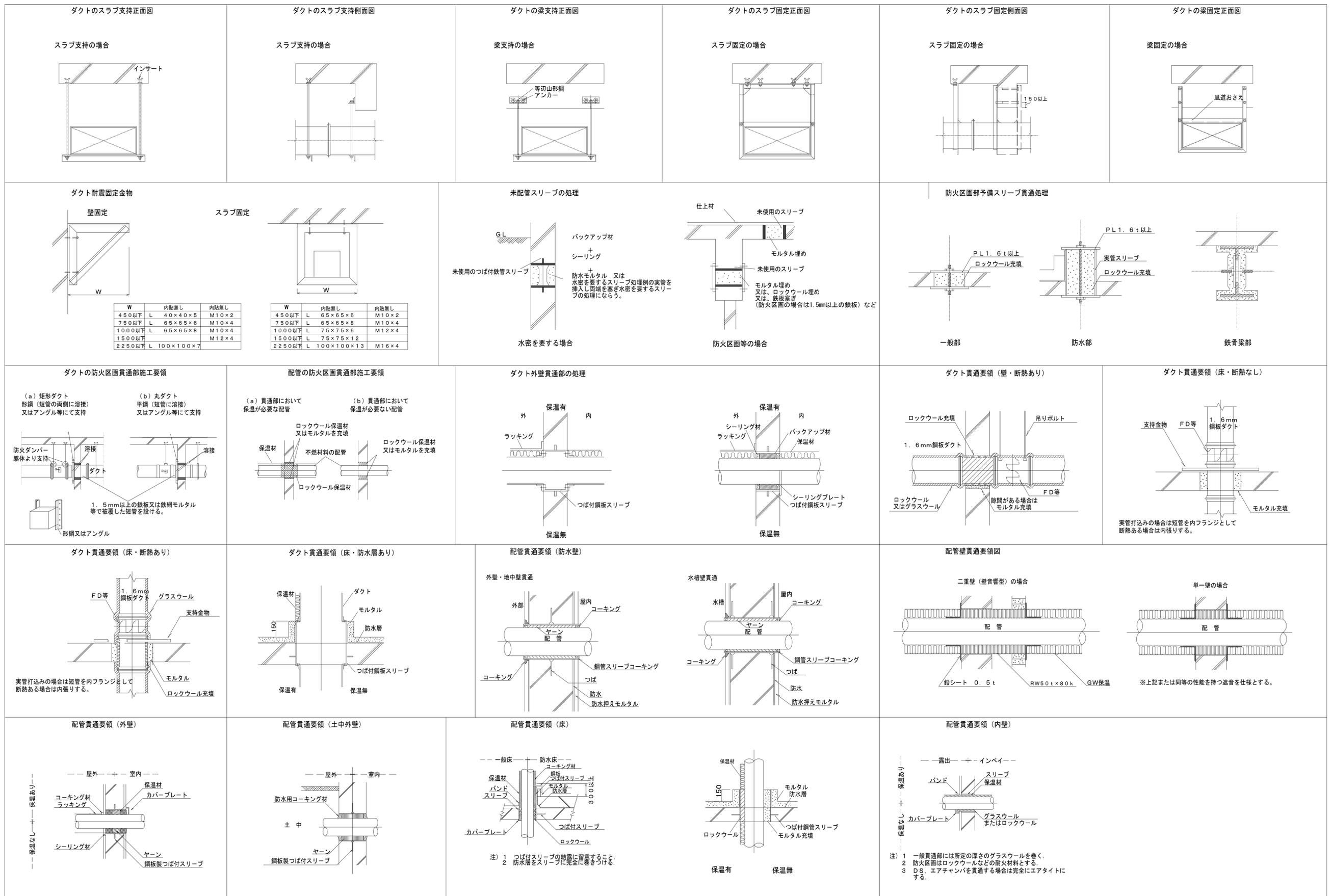
(本施工要領図は機能・施工方法等を示すものであり、器具等の形状は他の図面を参照とする)

Project Title 令和7年度成田公民館図書室等改修工事	Architect ナスカ+はりゅうウッズスタジオ設計共同体 Engineer 設備: Z O設計室	1級建築士事務所 有限会社ナスカ 東京都知事登録第39348号 東京都新宿区戸山3-15-1日本駐車ビル4階 一級建築士 八木佐千子 第215039号	株式会社はりゅうウッズスタジオ 福島県知事登録第16 (007)0239号 福島県南会津郡南会津町針生字島戸1186 一級建築士 斉藤光 第336277号 一級建築士 滑田崇志 第344323号	Date 2025年2月28日 金曜日 実施設計 Drawn by H. SAITO Checked by S. YAGI	Name of Drawing 機械設備 施工要領書(1)	scale A1 N・S A3 N・S	Drawing no M.02
-------------------------------------	--	--	--	---	-------------------------------------	---------------------------	--------------------



注記) 該当するもののみ適用とする
 (本施工要領図は機能・施工方法等を示すものであり器具等の形状は他の図面を参照とする)

Project Title 令和7年度成田公民館図書室等改修工事	Architect ナスカ+はりゅうウッズスタジオ設計共同体 Engineer 設備: Z0設計室	1級建築士事務所 有限会社ナスカ 東京都知事登録第39348号 東京都新宿区戸山3-15-1日本駐車ビル4階 一級建築士 八木佐千子 第215039号	株式会社はりゅうウッズスタジオ 福島県知事登録第16 (007) 0239号 福島県南会津郡南会津町針生字島井戸1186 一級建築士 斉藤光 第336277号 一級建築士 滑田崇志 第344323号	Date 2025年2月28日 金曜日 実施設計 Drawn by H. SAITO Check by S. YAGI	Name of Drawing 機械設備 施工要領書(2) scale A1 N・S A3 N・S Drawing no M.03
-------------------------------------	---	--	--	--	--



雨水槽	湧水槽	各種水槽	扉ロック	屋内消火栓	タラップ	軽量鉄骨間仕切	RC壁・二重壁	排水側溝 (A他)	床仕上げレベル	スラブ天端レベル	既存建物外形線
雨水槽	湧水槽	各種水槽	マンホール	釜場	TR	RC壁	RC壁・下地	SUS製床点字板	±0	-1.70	既存建物地下躯体外形線 (想定)

(本施工要領図は機能・施工方法等を示すものであり器具等の形状は他の図面を参照とする)

注記) 該当するもののみ適用とする

記号	名称	仕様	記号	名称	仕様
— — — —	給水管	建物内:耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管(HIVP) JIS-K-6742 引込、水道用ポリエチレン二層管(PP) JIS K 6762	— OA —	外気	
— —	給湯管(往)	ステンレス鋼管 JIS-G-3448	— EA —	排気	
— —	給湯管(復)	ステンレス鋼管 JIS-G-3448	— SA —	給気	
— — — —	排水管	屋外:リサイクル硬質塩化ビニル管(RS-VU) JIS-K-6741	— RA —	還気	
— — — —	雨水管	屋内:硬質塩化ビニル管(VP) JIS-K-6741	⊗ PA ⊗	バス	
— — — —	汚水・雑排水・PU	※防火区画から1mまでは排水用耐火二層管	— CA —	循環	
-----	通気管		⊗ PA ⊗		
-----	送排風配管	屋内:硬質塩化ビニル管(VP) JIS-K-6741	⊗ PA ⊗		
-----	ベントキャップ(通気)	埋込型、露出型、アルミ合金鋳物製	≡ —	吸込み	
-----	防虫網	ステンレス製	≡ —	吹出し	
▨	防火区画貫通位置	処理方法は右記区画貫通処理方法・施工要領書参照とする。	⊗ PA ⊗	標準換気扇 有圧換気扇	機器表参照
-----	防火区画	平面図上の防火区画貫通配管については防火区画貫通処理を行うこと。 処理方法は右記区画貫通処理方法・施工要領書参照とする。	⊗ PA ⊗	ダクト用換気扇	機器表参照
▽	吸排気弁		⊗ PA ⊗	中間ダクトファン	機器表参照
⊗ A ⊗	自動エア抜弁装置		⊗ PA ⊗	パイプファン	機器表参照 適用パイプはVU管又は亜鉛鉄板製とすること。
⊗ B ⊗	定流量弁		⊗ PA ⊗	給気口	開閉式レジスター、花粉除去フィルター付断熱密閉型 適用パイプはVU管又は亜鉛鉄板製とすること。
— ⊗ —	排水ホッパー		⊗ PA ⊗	ベントキャップ	SUS製 (給気:防虫網付、排気:防鳥網付)
⊗ C ⊗	排水目皿、掃除口	A:非防水型、B:防水型 (高級舗装部分:化粧MH)	⊗ PA ⊗	垂鉛鉄板	全熱交換換気扇の給排気ダクトには、結露防止対策として保温(GW25mm巻き)を施すこと。 外気・給気ダクトには保温(GW25mm巻き)を施すこと。 上記以外の排気ダクトには外壁から1mまで保温(GW25mm巻き)を施すこと。
⊗ D ⊗	小口径塩ビ樹	汚水樹、雨水浸透樹、トラップ樹 (高級舗装部分:化粧蓋) 鋳鉄製蓋共 (高級舗装部分:化粧MH)	⊗ PA ⊗	スパイラルダクト 断熱付	垂鉛鉄板 ロックウール(RW50mm巻き)とすること。
⊗ E ⊗	汚水樹、雨水樹	防臭MH、鋳鉄MH インバート仕上、泥ダメ150H以上	⊗ PA ⊗	たわみ継手	
T	トラップ樹、集水樹	防臭MH、鋳鉄製	⊗ PA ⊗	消音チャンバー	垂鉛鉄板、GW25mm内張GC押さえ
⊗ F ⊗	水栓、混合栓		⊗ PA ⊗	防火ダンパー	ヒューズ作動温度 一般 72℃ 火気使用 120℃ 点検口450°設置 (建築工事)
⊗ G ⊗	仕切弁、逆止弁	直結はJIS 1MPa 2次側はJIS 500kPa	⊗ PA ⊗	防火防煙ダンパー	ヒューズ作動温度 一般 72℃ 火気使用 120℃ 煙感知器連動 点検口450°設置 (建築工事)
⊗ H ⊗	止水栓、水抜栓		⊗ PA ⊗	風量調整ダンパー	
⊗ I ⊗	丙止水栓		⊗ PA ⊗	逆流防止ダンパー	
⊗ J ⊗	地中埋設標	コンクリート製、鉄製	⊗ PA ⊗	換気方向	引戸・折戸・ふすま・障子などの通気が確保される建具
⊗ K ⊗	ガスコック	ヒューズコック	⊗ PA ⊗	換気方向 ドアアンダーカット	ドアアンダーカット10mm以上 (建築工事)
⊗ L ⊗	防振継手	球形(ゴム)、SUS(300L)	⊗ PA ⊗	換気方向 ドアガラリ	ドアガラリ (建築工事)
⊗ M ⊗	空調機リモコン		⊗ PA ⊗	天井点検口	建築工事
⊗ N ⊗	換気扇スイッチ		⊗ PA ⊗		
— — — —	リモコンケーブル	VCTF0.75-2C (PF22, CD22)	⊗ PA ⊗		
— R —	冷媒管	断熱材被覆鋼管 JIS-H-3300	⊗ PA ⊗		
— D —	ドレン管	硬質ポリ塩化ビニル管(VP) JIS-K-6741	⊗ PA ⊗		

注 記

※排煙、空調、消防、昇降機設備等の各建築設備は関係省庁等と事前に協議をおこない、それぞれの基準に沿った内容であることを再確認の上、遺漏無きよう施工すること。
 ※保温等のある配管の貫通処理はロックウールにて充填を行うこと。
 ※建築設備の構造は建築基準法施行令第129条の2の4第2号及び平成12年建告第1388号の規定に従うこと。
 ※建築基準法施行令第129条の2の5構造耐力上主要な部分を貫通して配管する場合においては、建築物の構造耐力上支障を生じないようにすること。
 腐食防止のために講じる措置は下記の通りとすること。
 ・土中埋設
 (外面被覆のない鋼管)防食テープ
 (油管)平成2年自治省告示第204号に規定する材料・方法
 ・コンクリート埋設
 (外面被覆のない鋼管・鉛管)防食テープ
 ・多湿箇所
 (外面被覆のない鋼管)金属外装

※特記なき限り、延焼線内の換気孔で開口面積100cm²以内の換気孔は 鉄板、モルタル板その他これらに類する材料で作られた防火覆いとすること。
 ※換気設備の能力の選定については、ダクト等による圧力損失を考慮した静圧を確保できるような余裕を持って選定すること。

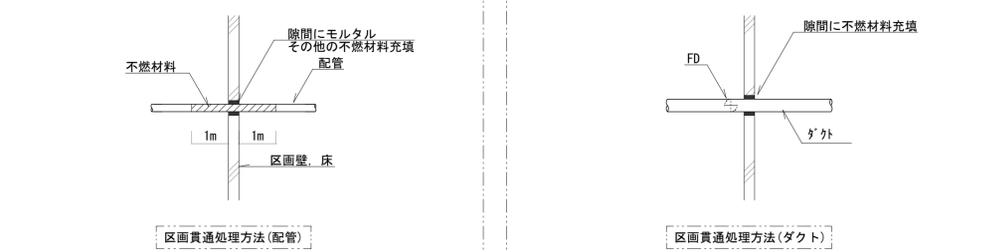
※ガス消費設備の構造はガス事業法施工規則108条に従うこと。
 ※火気設備機器の周囲離隔距離は火災予防条例に従うこと。
 ※ガス工事は建設省告示第1099号に従うこと。

※給水設備は、水道法第16条、同施行令第5条、給水装置の構造及び材質の基準に関する省令の規定に従うこと。
 ※給湯設備の設置にあたっては、平成12年建設省告示第1388号第五の規定によるものとする。
 ※ウォーターハンマー防止のため管径を大きくして流速を小さくすること。
 ※各住戸の給水メーター手前に減圧弁(二次側150kPa)を設けること。
 ※屋外埋設管は凍結深度以下への埋設はGL-0.6m以上とすること。
 ※散水栓立ち上がり配管は水抜き栓を設置すること。

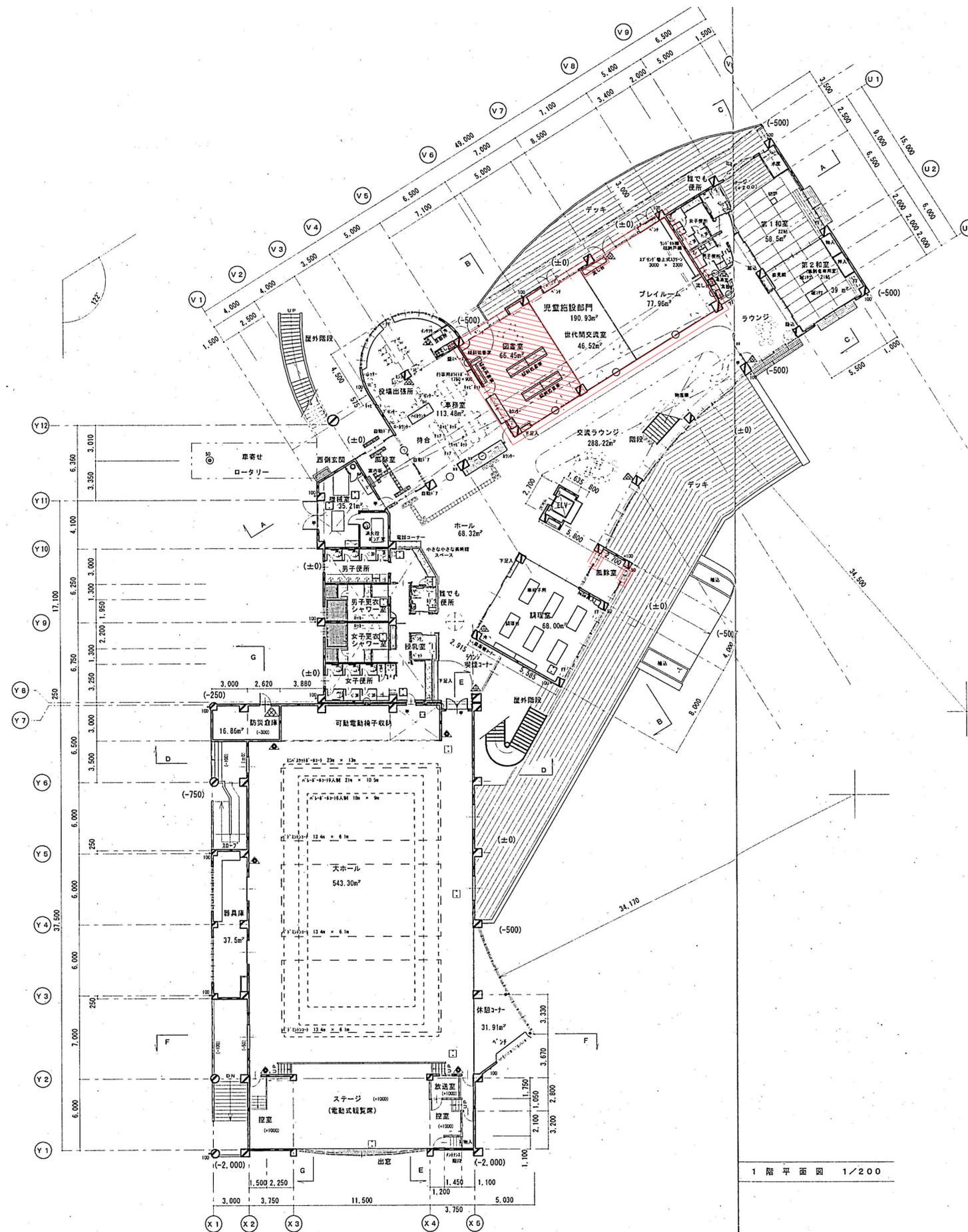
※汚水槽は「ビルビット対策指導要綱」に準じた構造とすること。
 ※耐火二層管の認定工法は「国住指 第3973号」に従うこと。
 ※吐水口空間は、SHASE-206-2000に従うこと。
 ※下水道法第10条第1項に規定する排水設備は、同施行令第6条及びそれに基づく条例の規定に従うこと。
 ※排水立管には掃除口を、各系統の最上階及び中間階(15m毎)に設置すること。
 ※排水通気管の構造は、昭和50年建告第1597号第2第五号の規定に従うこと。
 ※排水トラップの構造は昭50建告1597号第2第3号の規定に従うこと。
 ※排水立管(オフセット立管等)は、すべて規定保温の上、遮音シート2重巻き処理を行うこと。
 ※排水通気管は窓等開口部から水平距離3m以上、若しくは上部へ0.6m以上離すこと。
 ※排水管の容量(管径)はSHASE-S206に従うこと。
 ※排水管の勾配は下記による。尚、排水管の径は排水器具負荷単位により算出すること。

配管口径	勾配
100以上	2/100 以上
125以上	1.7/100 以上
150以上	1.5/100 以上
200以上	1.2/100

※区画貫通処理は、建設省告示第1372による区画貫通処理方法および国土交通大臣認定工法にて行うこと。

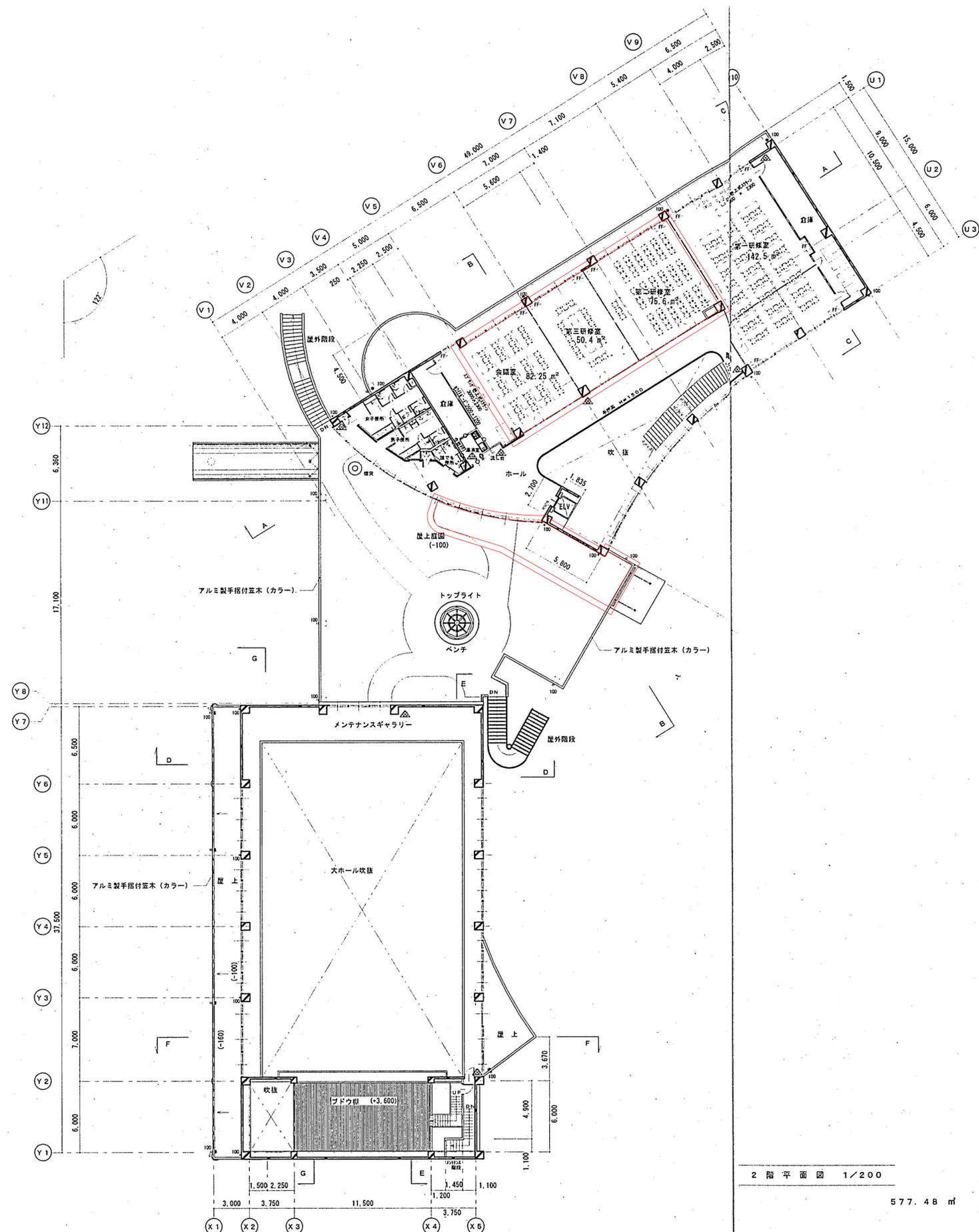


但し、下記の配管については国土交通大臣認定工法にて施工すること。
 ①耐火二層管(乾式床): 国土交通大臣認定: PS060FL-0528
 ②耐火二層管(RC床): 国土交通大臣認定: PS060FL-0534
 ③冷媒管(乾式壁): 国土交通大臣認定: PS060WL-0769
 ④冷媒管(RC壁): 国土交通大臣認定: PS060WL-0131
 ⑤冷媒管(乾式床): 国土交通大臣認定: PS060FL-0791
 ⑥冷媒管(RC床): 国土交通大臣認定: PS060FL-0776
 ⑦硬質塩ビ管(乾式床): 国土交通大臣認定: PS060FL-0791
 ⑧硬質塩ビ管(RC床): 国土交通大臣認定: PS060FL-0776
 ⑨架橋ポリエチレン管(乾式床壁): 国土交通大臣認定: PS060WL-0101
 ⑩架橋ポリエチレン管(RC床壁): 国土交通大臣認定: PS060WL-0065



※二重線範囲は建築改修工事範囲、
斜線範囲は機械設備本工事範囲を示す。

<p>Project Title 令和7年度成田公民館図書室等改修工事</p>	<p>Architect ナスカ+はりゅうウッドスタジオ設計共同体</p> <p>Engineer 設備: Z O設計室</p>	<p>1級建築士事務所 有限会社ナスカ 東京都知事登録第39348号 東京都新宿区戸山3-15-1日本駐車ビル4階 一級建築士 八木佐千子 第215039号</p>	<p>株式会社はりゅうウッドスタジオ 福島県知事登録第16 (007)0239号 福島県南会津郡南会津町針生字島井戸1186 一級建築士 斉藤光 第336277号 一級建築士 滑田崇志 第344323号</p>	<p>Date 2025年2月28日 金曜日 実施設計 Drawn by H. SAITO Checked by S. YAGI</p>	<p>Name of Drawing 機械設備 改修範囲 1階平面図</p>	<p>scale A1 1/200 A3 1/400</p>	<p>Drawing no M.06</p>
---	--	--	---	--	--	--	----------------------------



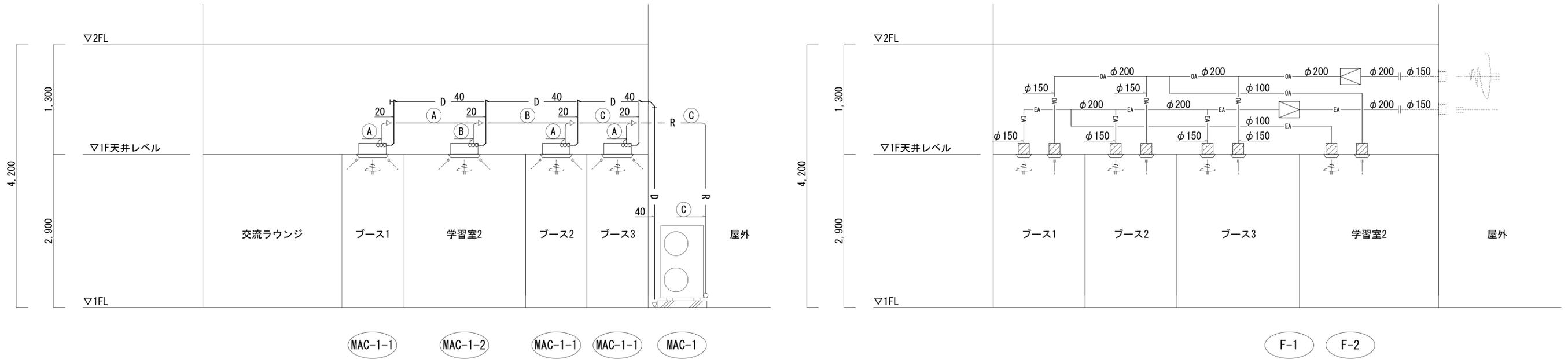
※二重線範囲は建築改修工事範囲、
斜線範囲は機械設備本工事範囲を示す。

<p>Project Title 令和7年度成田公民館図書室等改修工事</p>	<p>Architect ナスカ+はりゅうウッドスタジオ設計共同体</p> <p>Engineer 設備: Z O設計室</p>	<p>1級建築士事務所 有限会社ナスカ 東京都知事登録第39348号 東京都新宿区戸山3-15-1日本駐車ビル4階 一級建築士 八木佐千子 第215039号</p>	<p>株式会社はりゅうウッドスタジオ 福島県知事登録第16 (007)0239号 福島県南会津郡南会津町針生字島井戸1186 一級建築士 斉藤光 第336277号 一級建築士 滑田崇志 第344323号</p>	<p>Date 2025年2月28日 金曜日 実施設計 Drawn by H. SAITO Checked by S. YAGI</p>	<p>Name of Drawing 機械設備 改修範囲 2階平面図</p>	<p>scale A1 1/200 A3 1/400</p>	<p>Drawing no M. 07</p>
---	--	--	---	--	--	--	-----------------------------

機器表 ※ R32の冷媒対策として、検知器、警報装置、遮断弁を設置すること。

記号	名称	仕様	相(φ)	電圧(V)	電力(W・KW) ※冷房/暖房(空調)	数量	参考型番(同等品)	設置場所
MAC - 1	業務用マルチエアコン	室外機 冷媒遮断弁内蔵 冷房能力 20.0kW, 暖房能力 22.4kW, 送風機 150W×2, 圧縮機 4.09kW 防振架台、コンクリート基礎(建築工事)	3	200	5.64 4.98	1	PUMYFMP224HM [M]	屋外
" - 1-1	"	室内機 天井カセット形コンパクトタイプ 冷媒漏洩検知器内蔵 冷房能力 4.5kW, 暖房能力 5.0kW, 送風機 50W 風量 750CMH ワイヤードリモコン(警報装置内蔵)、ねじ接続接手共	1	200	30 30	3	PLFY-MP45GM [M]	1F:ブース1,2,3
" - 1-2	"	室内機 天井カセット形 冷媒漏洩検知器内蔵 冷房能力 7.1kW, 暖房能力 8.0kW, 送風機 50W 風量 1320CMH ワイヤードリモコン(警報装置内蔵)、ねじ接続接手共	1	200	30 30	1	PLFY-MP71HM [M]	1F:学習室2
F - 1	中間ダクトファン	ストレートシロッコファン ※F-2と連動 DCモーター 排気用 速結端子接続 ダクト径 200φ×540CMH×210Pa 防振吊金具、強弱スイッチ共	1	100	83.2	1	BFS-65SUDC [M]	1F:ブース3
F - 2	中間ダクトファン	ストレートシロッコファン ※F-1と連動 給気用 速結端子接続 ダクト径 200φ×540CMH×200Pa 防振吊金具、強弱スイッチ共	1	100	120	1	BFS-80SSUA2 [M]	1F:ブース3

※ 各空調機については微燃性冷媒安全対策装置設置に伴う必要部品見込むこと。
 ※ 空調機の定格条件JIS B 8616 および JIS C 9612で規定された値を示す。
 ※ 単相はW, 3相はKW値で表記。
 ※ [M]は三菱を示す。



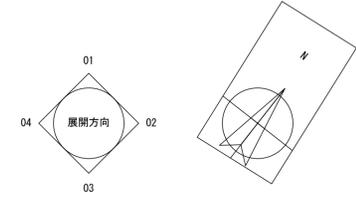
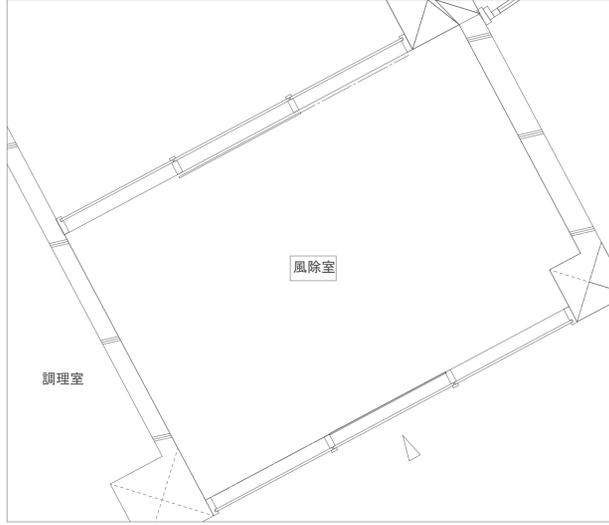
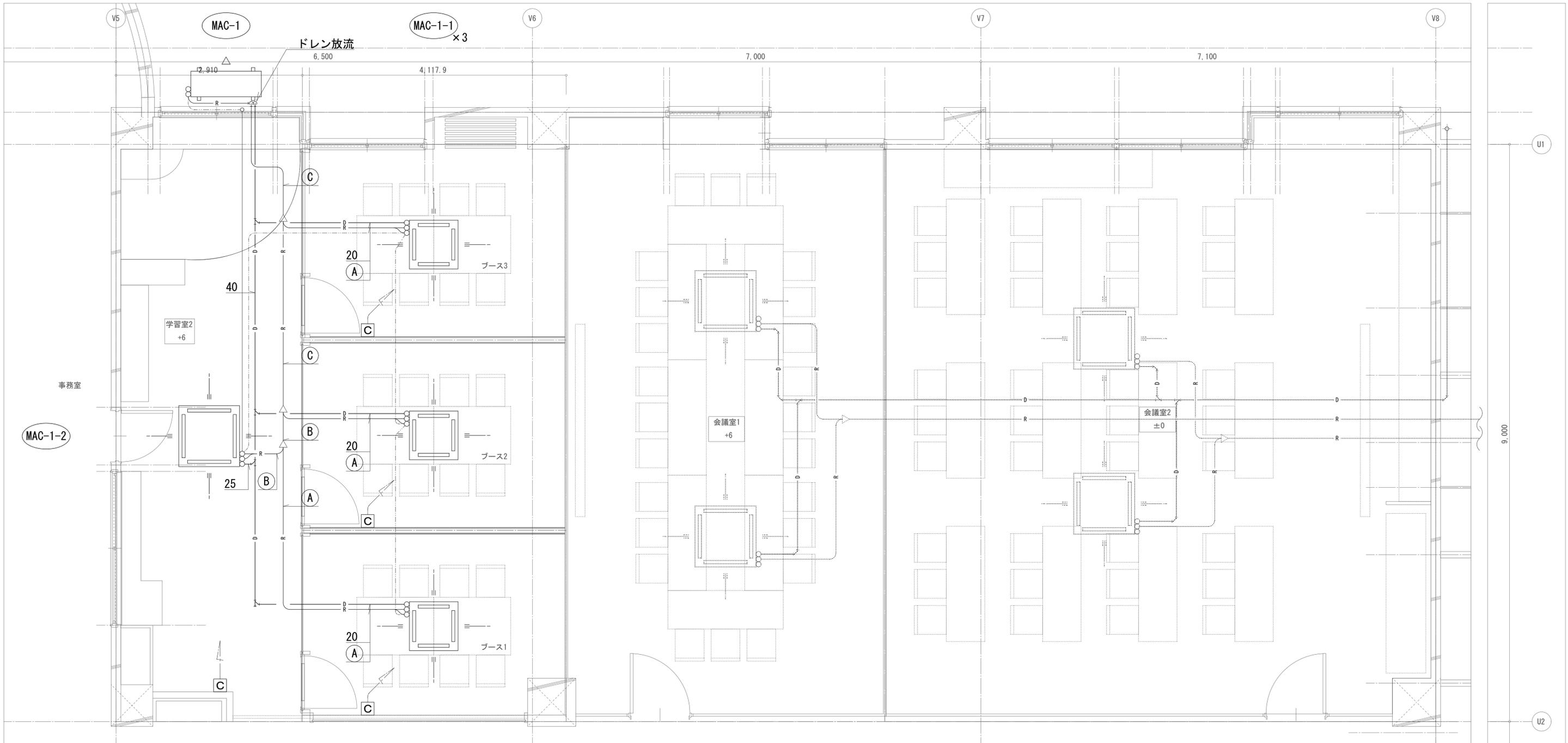
冷媒管リスト

記号	液管	ガス管
Ⓐ	6.35φ	12.7φ
Ⓑ	9.52φ	15.88φ
Ⓒ	9.52φ	22.2φ

※二次側渡り電気配線(EM-EEF2.0-4C)は冷媒管共巻きとする。

空調配管系統図

換気ダクト系統図



(注記)
 ※特記なき配管配線は以下とする。
 ——— EM-EEF1. 6mm²-2C
 - - - - EM-CEE1. 25mm²-2C + EM-IE1. 6mm²-1C
 ※各空調機については微燃性冷媒に対し冷媒遮断装置・
 漏洩検知・警報装置その他必要な安全対策を施すこと。
 ※点線は既存を示す。

Project Title
 令和7年度成田公民館図書室等改修工事

Architect
 ナスカ+はりゅうウッドスタジオ設計共同体
 Engineer 設備: Z O設計室

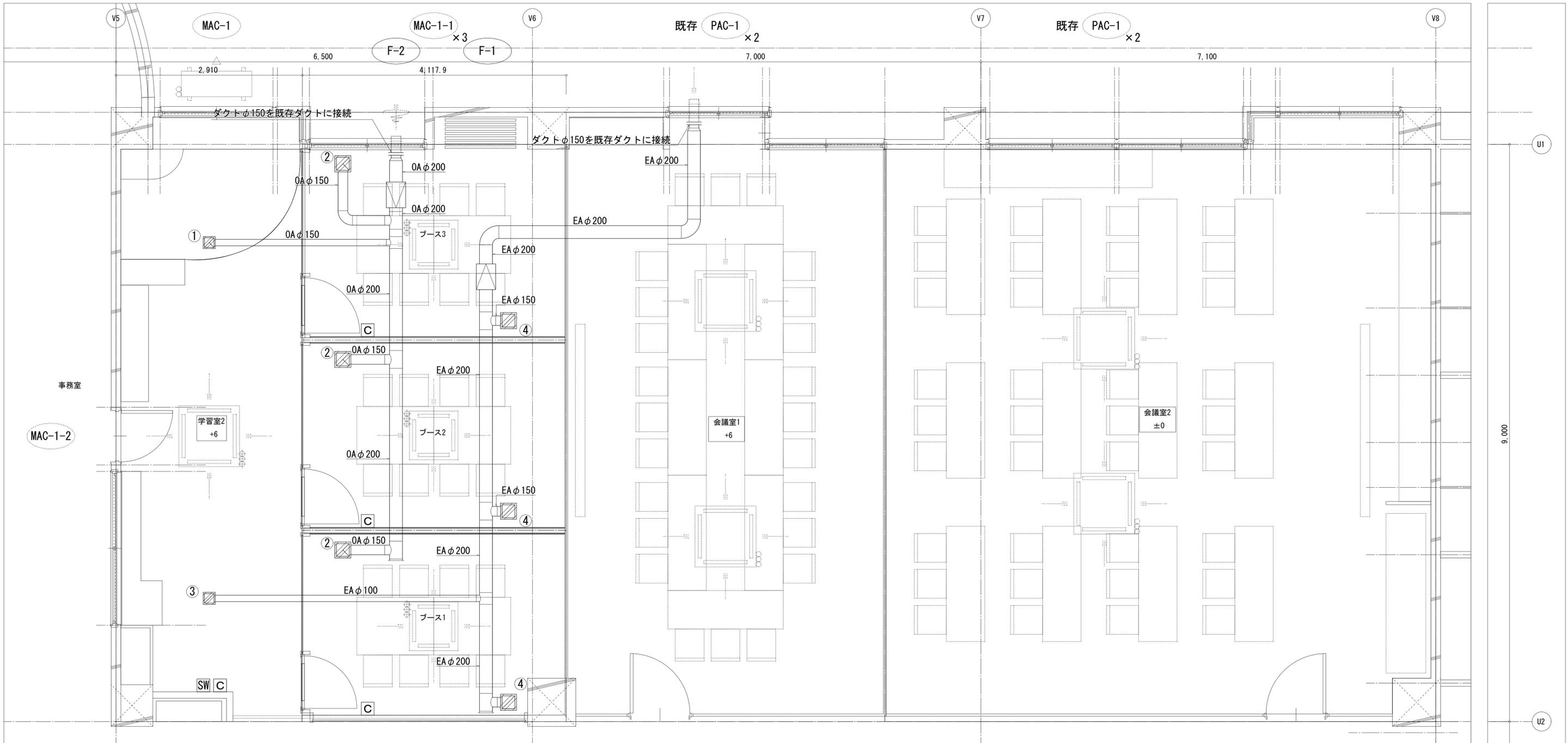
1級建築士事務所 有限会社ナスカ
 東京都知事登録第39348号
 東京都新宿区戸山3-15-1日本駐車ビル4階
 一級建築士 八木佐千子 第215039号

株式会社はりゅうウッドスタジオ
 福島県知事登録第16 (007)0239号
 福島県南会津郡南会津町針生字島井戸1186
 一級建築士 斉藤光 第336277号 一級建築士 滑田崇志 第344323号

Date 2025年2月28日 金曜日
 実施設計
 Drawn by H. SAITO
 Check by S. YAGI

Name of Drawing
 空調設備(配管)
 1階平面図

scale
 A1 1/30
 A3 1/60
 Drawing no
 MA-02



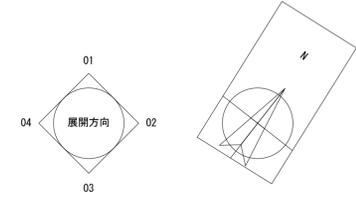
1F 制気口・チャンパーBOXリスト

① 学習室2	
OA 60CMH	
VHS □150	
風速2.0m/s, 開口率80%	1
BOX W200×D200×H250	
GW内貼, 天井吊, セパレーター共	

② ブース1, 2, 3	
OA 160CMH	
VHS □200	
風速2.0m/s, 開口率80%	3
BOX W250×D250×H250	
GW内貼, 天井吊, セパレーター共	

③ 学習室2	
EA 60CMH	
HS □150	
風速2.0m/s, 開口率80%	1
BOX W200×D200×H250	
GW内貼, 天井吊, セパレーター共	

④ ブース1, 2, 3	
EA 160CMH	
HS □200	
風速2.0m/s, 開口率80%	3
BOX W300×D300×H250	
GW内貼, 天井吊, セパレーター共	



Project Title
令和7年度成田公民館図書室等改修工事

Architect
ナスカ+はりゅうウッズスタジオ設計共同体
Engineer 設備: Z O設計室

1級建築士事務所 有限会社ナスカ
東京都知事登録第39348号
東京都新宿区戸山3-15-1日本駐車ビル4階
一級建築士 八木佐千子 第215039号

株式会社はりゅうウッズスタジオ
福島県知事登録第16 (007)0239号
福島県南会津郡南会津町針生字島井戸1186
一級建築士 斉藤光 第336277号 一級建築士 滑田崇志 第344323号

Date 2025年2月28日 金曜日
実施設計
Drawn by H. SAITO
Checked by S. YAGI

Name of Drawing
空調換気設備(ダクト)
1階平面図

scale
A1 1/30
A3 1/60
Drawing no
MA-03

衛生機器表

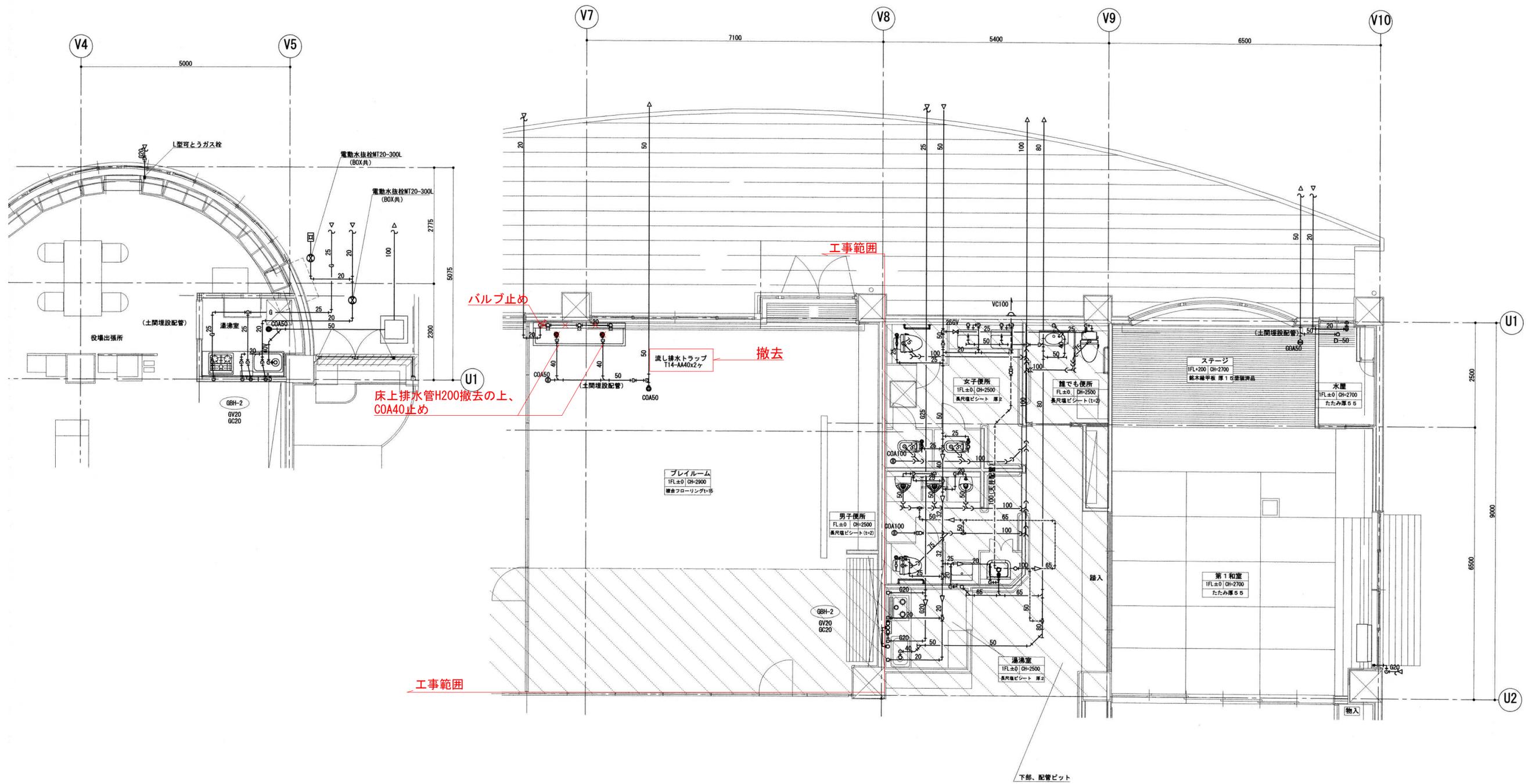
記号	名称	機器仕様	電動機			台数	備考
			φ	V	kW		
TW-1	受水槽	FRP製サンドイッチパネル組立 設置高 1.0G 呼称 8.0m ³ 2,000W×2,000L×2,000H 中仕切付 実容量 6.0m ³ 防錆部とメッキ製給台 マンホール600φ埋込式 内外梯子 各種タッピング共 ポンプ室付 (2,000W×3,500L×2,000H)				1	【GSF 8.0m ³ 】 コンクリート基礎600H (建築工事)
PU-1	給水ポンプユニット	指定機種圧力一定インバーター制御 40A×50A×400L/m ¹ n×200kPa ステンレスポンプ 自動交差同時運転 制御付製品一式、制御器共	3	200	1.5×2	1	【KF2-40P1.5】
PF-1	屋内消火栓ポンプ	床置ユニット型 50A×300L/m ¹ n×390kPa 消防庁指定品 貯水槽 (50L)、制御器、制御付製品一式共	3	200	3.7	1	【KTK505C3.7T】 コンクリート基礎300H (建築工事)
GBH-1-1	ガス給湯機	屋内壁掛FF式 ガス契 (13A) 24号 給排気筒トップ、リモコンSW、他制御付製品一式共 凍結防止機能付	1	100	0.055	2	【RUX-2402FFU】
GBH-1-2	ガス給湯機	屋外壁掛式 ガス契 (13A) 24号 リモコンSW、他制御付製品一式共 凍結防止機能付	1	100	0.055	2	【RUX-V2403W】
GBH-2	ガス給湯機	先止式 ガス契 (13A) 5号 換気扇給排気圧カススイッチ、他制御付製品一式共				3	【RUS-53FT】
EBH-1	電気給湯機	床置型 貯湯量 6L マイコンタイマー付、減圧弁付他付製品一式共	1	200	1.1	1	【E6-6N2T】
RF-1	洗剤濃縮装置	急速多量分注方式 本体鋼板製 内蔵エボキシ樹脂塗膜 注液流量 6.7m ³ /H 逆洗流量 4.5m ³ /H 本体寸法 406.4φ×1000H (鋼製) 注液量 63L 循環ポンプ 自動タービンポンプ 6.7m ³ /HX18m 制御器 SUS製50A 注液装置 パルス式定量ポンプ 次亜塩素酸ソーダ注入 タンク50L 補給水ユニット 100L受水層付 19.5L/m ¹ n×12m 制御器、タイフラム弁、循環流量計、圧力計共	3	200	0.75	1	【6WA656】 【GS2-405-C0.75】 【N3-135SH, TAB-10】 【PX-31-CL, PTU-50】 【SM-50】 コンクリート基礎150H (建築工事)
GT-1	グリストラップ	SUS製3層式 土間埋設型 容量 100L 化粧マンホール蓋共				1	【SK-806-DA (H)】
GC-1	ガスコンロ	移動式 鋼板製 消費量 5.23kW 五徳共				2	【N-109P】

衛生器具表

※ 型番は、東海建設 (株) の参考品番とする

器具名称	参考型番	付属品	1 階															2 階															屋外	合計	備考
			トイレ洗面所	洗面所																															
洋風大鏡	C480S	TV750C1, T82C32, T53WR75, TCF109, T56H1, T56H2, T530N, YH60	2	4																								12							
和風大鏡	C750VF	TV750CR, T82C32, T53PWA75, YH60	1	2																								6							
幼児用鏡面式鏡	C425	TV750LS, T82C32, T53WR75, TC425N, YH51	1	1																								4							
小鏡	UF5610CSZ	鏡和FV一体型	6																									11	AC100V 鏡和FV一体型						
幼児用小鏡	U309C	TEA99X, T81CL, T82-16, T64FVN	1	1																								5	AC100V						
身障者用大鏡	CF5800	TCF109, HDB00, YH60																										3	AC100V						
和風大鏡鏡面火カバー	H66750S																											1							
洗面器	M92B	TLB32UQX, TL46882P, TL340C5U		1	1																							2	ML94カウンター専用洗面器						
洗面器	M92B	TLB32UQX, TL46882P, TL340C5U, T57-1X	3	4																								14	ML94カウンター専用洗面器						
洗面器	L830C	TLW31B, TL306818R, TL340C5U, TLB30G																										1							
洗面器	L830C	TL19AP, TL340B2RR, TL340C5U, TLB30G																										1							
身障者用洗面器	L270D	T8L70AX, T68MP, TL220D																										3							
シャワー水栓	TMP40WRX			2	2																							4							
スライドバー	TS131B			2	2																							4							
洗面器置台	EW6650			1	1																							2							
掃除機	SK22A	T23A8U20, T376N1, T9R, TK22	1	1																								3							
掃除機	SK22A	T23A8U20, T376P1, T9R, TK22																										1							
汚物流し	SK35	TV150NLN, T130AR13, T82C32, HP550, T9R, T8126R, YH51, YKH21W																										1							
手洗器	L5D	T205Q, T22P, T4AU, TA2S	1	1																								3							
自在水栓		流し台付製品																										3							
自在水栓	T31S13VC																											1	調めっ*						
自在水栓	T36S13V126																											3							
木-ム水栓	T2006U13																											1							
檜水栓	T26H13																											1							
化粧鏡	TS119FR20		1	1	1																							5							
化粧鏡	TS119FE5		1	1																								3							
化粧鏡	TS119GAR77																											1							
排水ユニット	YTB200DB		2	2																								4							
SUS製 和風大鏡	KS-S102AC	KS-S507VF																										1	【神田製作所製】						
SUS製 小鏡	KS-S205																											2	【神田製作所製】						
敷水栓	T27H13	SUSBOX共																										5							

撤去



1階事務室湯沸詳細図 1/50

※ 特記無き配管は、ピット内配管を示す。

1階和室便所詳細図 1/50

※ 特記無き配管は、ピット内配管を示す。

機 器 表

記号	名称	機 器 仕 様	電 動 機			台 数	備 考
			φ	V	kW		
BH-1	温水機	無圧式1回路型(インバーター制御) 遠方発停仕様 ガス焚(13A) 定格出力 233kW 暖房能力 233kW 温水量 450L/min(50℃-42.6℃) 燃料消費量 22.4Nm3/H 伝熱面積 6.4m2 制御盤付属	3	200	1.65 0.38 0.4 (バーナファン) (集熱ポンプ)	1	【NE06-S-2500PHG】 【RG-40】 コンクリート基礎 150H (建築工事)
HP-1	温水循環ポンプ	渦巻ポンプ 65A×50A×450L/min×290kPa 防振架台共	3	200	5.5	1	【GEK-65X50M-2M5.5】 【PB95】 コンクリート基礎 150H (建築工事)
PU-2	補給水ユニット	100L受水槽付 25A×25A×25L/min×200kPa	1	100	0.4	1	【NF2-40GS, TAB-10】 コンクリート基礎 150H (建築工事)
EXT-1	膨張タンク	密閉形 有効容量 109.0L 最高使用圧力 5kg/cm2 タンク容量 283.0L 封入圧力 0.6kg/cm2				1	【AX-144V】 温水用 コンクリート基礎 150H (建築工事)
SX-1	防熱サイレンサー	温水管防熱用 450L/min×100A 自動エア抜弁付				1	【NV-100】
FF-1	クリーンヒーター	ガス焚(13A) FF式 暖房能力 8.9kW 燃料消費量 10.7kW 薄型給排気筒セット、トップガード、集中コントローラー用子機、他標準付属品一式共	1	100	0.089	15	【VGB-935H】
FF-2	クリーンヒーター	ガス焚(13A) FF式 暖房能力 5.23kW 燃料消費量 6.4kW 薄型給排気筒セット、床下延長配管キット、集中コントローラー用子機、他標準付属品一式共	1	100	0.051	1	【VGB-525H-C】
FF-C	集中コントローラー	クリーンヒーター集中管理用コントローラー 最大 32台 制御可能タイプ 運転・停止、一斉制御、状態監視、その他 機能付	1	100	0.005	1	【VCL-32R】
PAC-A	パッケージエアコン	天井埋込カセット型4方向 冷房能力 10.0kW、暖房能力 10.0kW、送風機 120W×2、圧縮機 2.10kW 基礎ブロック共	3	200	2.76	1	PUZ-ERP112LA3 撤去

記号	名称	機 器 仕 様	電 動 機			台 数	備 考
			φ	V	kW		
SF-1	有圧扇	低騒音形 40cm 1,600CMH×50Pa 電動シャッター、SUS製ウェザーカー(防虫網付)、バックガード共	3	200	0.1	1	【EG-40CTB】 (機械室給気用)
EF-1	有圧扇	低騒音形 40cm 1,200CMH×40Pa 電動シャッター、SUS製ウェザーカー(防虫網付)、バックガード共	3	200	0.1	1	【EG-40CTB】 (機械室給気用)
EF-3	有圧扇	低騒音形 50cm 5,000CMH×40Pa フィルターユニット、バックガード共	3	200	0.4	2	【EG-50ETB】 (大ホール給気用)
F-1-1	天井扇	低騒音形 230φ 570CMH×40Pa 指定色焼付塗装SUS製防風板付バンドキャップ共	1	100	0.078	1	【VD-23Z5】
F-1-2	天井扇	消音形インテリアタイプ 230φ 570CMH×40Pa 指定色焼付塗装SUS製防風板付バンドキャップ共	1	100	0.078	1	【VD-23ZNP5-W】
F-2-1	天井扇	低騒音形 200φ 360CMH×40Pa 指定色焼付塗装SUS製防風板付バンドキャップ共	1	100	0.044	3	【VD-20Z5】
F-2-2	天井扇	消音形インテリアタイプ 200φ 360CMH×40Pa 指定色焼付塗装SUS製防風板付バンドキャップ共	1	100	0.054	26	【VD-20ZNP5-W】 2台撤去
F-3	天井扇	低騒音形 180φ 280CMH×40Pa 指定色焼付塗装SUS製防風板付バンドキャップ共	1	100	0.034	6	【VD-18Z5】
F-4	天井扇	低騒音形 150φ 180CMH×40Pa 指定色焼付塗装SUS製防風板付バンドキャップ共	1	100	0.024	4	【VD-15Z5】
F-5	天井扇	低騒音形 150φ 130CMH×40Pa 指定色焼付塗装SUS製防風板付バンドキャップ共	1	100	0.024	1	【VD-15Z5】
F-6	天井扇	低騒音形 230φ 570CMH×40Pa 指定色焼付塗装SUS製防風板付バンドキャップ共	1	100	0.078	3	【VD-23Z5】 (ガス給湯器追加取替工事)
F-7	サイクルファン	首振り角度調節形 30cm 2,520CMH 速度調節器付属	1	100	0.034	5	【CY-30TD2】 2台撤去
F-8	天井扇	低騒音形 230φ 570CMH×40Pa	1	100	0.078	4	【VD-23Z5】
F-9	天井扇	低騒音形プラスチックボディ 200φ 375CMH×35Pa	1	100	0.042	4	【VD-20Z05】
AEX-1	全熱交換機換気扇	天井カセット形 90CMH×45Pa コントロールSW、指定色焼付塗装SUS製防風板付バンドキャップ共	1	100	0.045	1	【VL-100Z5】
BF-11	排風機	消音BOX付ラインファン 天吊防振ハンガー付 200φ×650CMH×80Pa	1	100	0.035	1	【SAL#200】 (1F男子WC排気用)
BF-13	排風機	消音BOX付ラインファン 天吊防振ハンガー付 200φ×650CMH×80Pa	1	100	0.035	1	【SAL#200】 (1F女子WC排気用)
BF-15	排風機	消音BOX付ラインファン 天吊防振ハンガー付 315φ×2,000CMH×110Pa	1	100	0.25	1	【SAL#315】 (2Fブドウ園排気用)
EH-1	電気パネルヒーター	壁掛形 SUS製パネル 暖房能力 860kcal/H サーモスタット内蔵型 サーモスタットいたずら防止カバー共	1	200	1.0	6	【NXS-1000】
EH-2	電気パネルヒーター	壁掛形 SUS製パネル 暖房能力 430kcal/H サーモスタット内蔵型 サーモスタットいたずら防止カバー共	1	200	0.5	1	【NXS-500】
EH-3	電気輻射暖房器	天井埋込形 防湿タイプ SUS製パネル 暖房能力 1,290kcal/H サーモスタット共	1	200	1.5	2	【BHU-1502, CT-64】



凡例	
記号	用途
	撤去
	改修範囲

Project Title 令和7年度成田公民館図書室等改修工事	Architect ナスカ+はりゅうウッドスタジオ設計共同体	1級建築士事務所 有限会社ナスカ 東京都知事登録第39348号 東京都新宿区戸山3-15-1日本駐車ビル4階 一級建築士 八木佐千子 第215039号	株式会社はりゅうウッドスタジオ 福島県知事登録第16 (007)0239号 福島県南会津郡南会津町針生字島井戸1186 一級建築士 斉藤光 第336277号 一級建築士 滑田崇志 第344323号	Date 2025年2月28日 金曜日 実施設計 Drawn by H. SAITO Checked by S. YAGI	Name of Drawing 撤去図 空調換気設備 1階平面図	scale A1 1/50 A3 1/100	Drawing no MR. 04
-------------------------------------	-----------------------------------	--	---	---	--	------------------------------	----------------------